はじめに

この度は1/144 完全変形　ハイゼンスレイ II をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本キットはフル３Dプリントパーツの組み立てキットとなり、従来のガレージキットとはやや構成が異なるものとなります。

３Dプリントパーツの組み立てに関してはポリ棒の軸打ちや、グリスアップ、すり合わせ調整といった特殊な工程も含まれます。組み立て説明、各工程の詳細はディーラーサポートページ(aarumodels.com)にて動画等も交えて解説させていただきます(2018年9月頃から順次公開）。twitterでも告知いたしますのでもうしばらくお待ち下さい。

ディーラー　AARU　ご連絡先

代表者：インコ先生

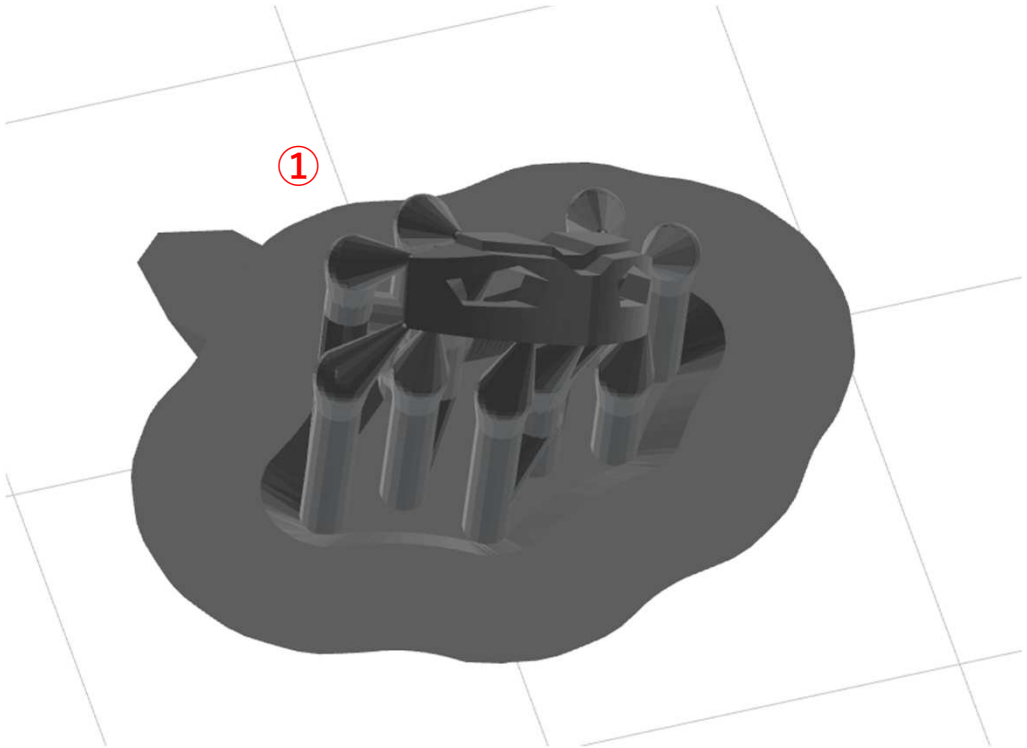
Twitter：@inkoteacher
Web：aarumodels.com
Mail：aaru.inko@gmail.com

目次

1. パーツリスト
2. 組み立て補足説明
3. コアトップの組み立て
    - 胴体の組み立て
    - ブースター(トップ)の組み立て
    - 腕部の組み立て
    - ドラムフレーム(トップ)の組み立て
    - 頭部の組み立て
4. シールドブースターの組み立て
5. ボトムベースの組み立て
    - ドラムフレーム(ボトム)の組み立て
    - テールの組み立て
    - リアスカートの組み立て
    - フロントスカートの組み立て
    - 股間ブロックの組み立て
    - 脚部の組み立て
6. 最終組立

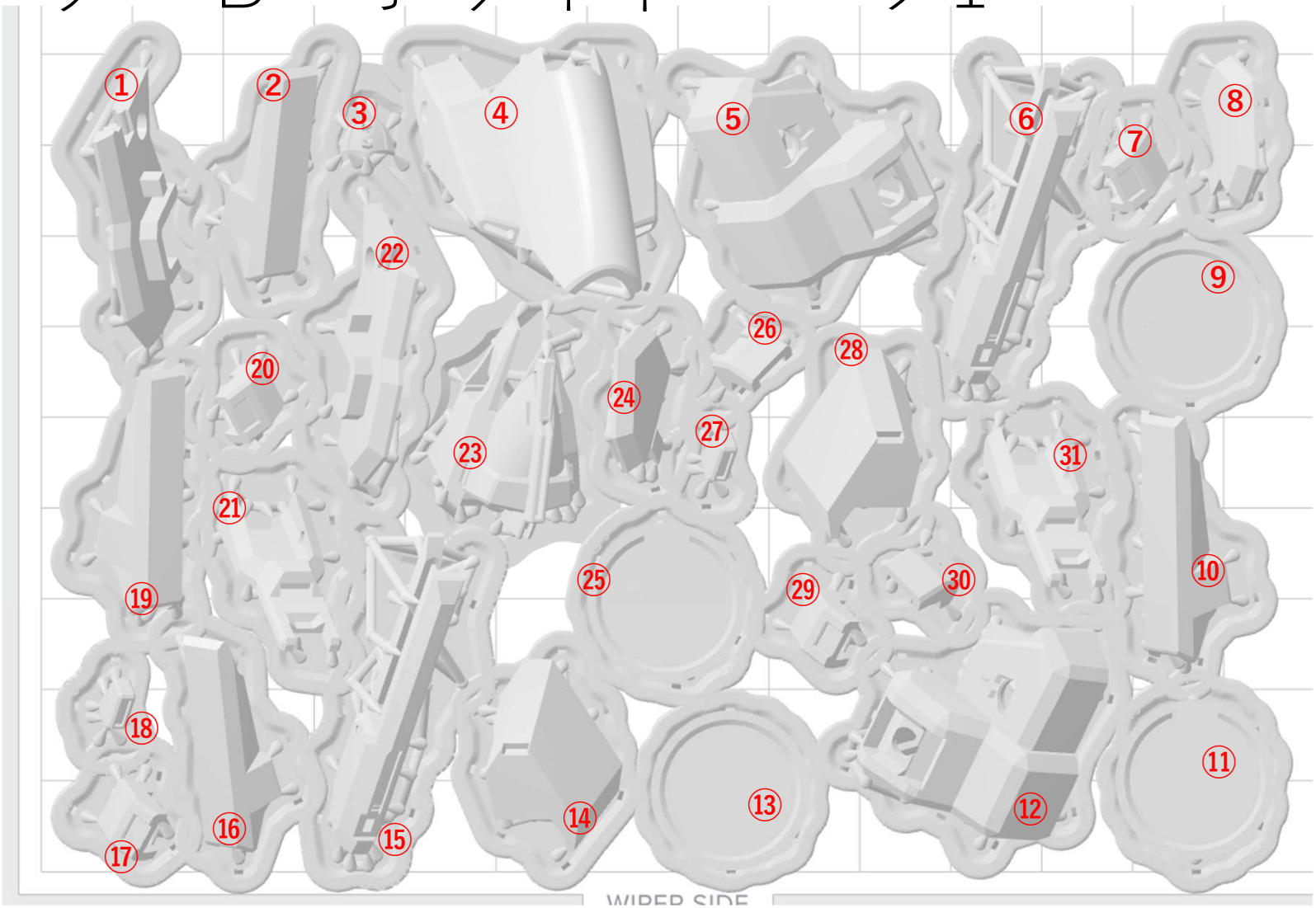
パーツリスト

ランナーA　ブラックパーツ



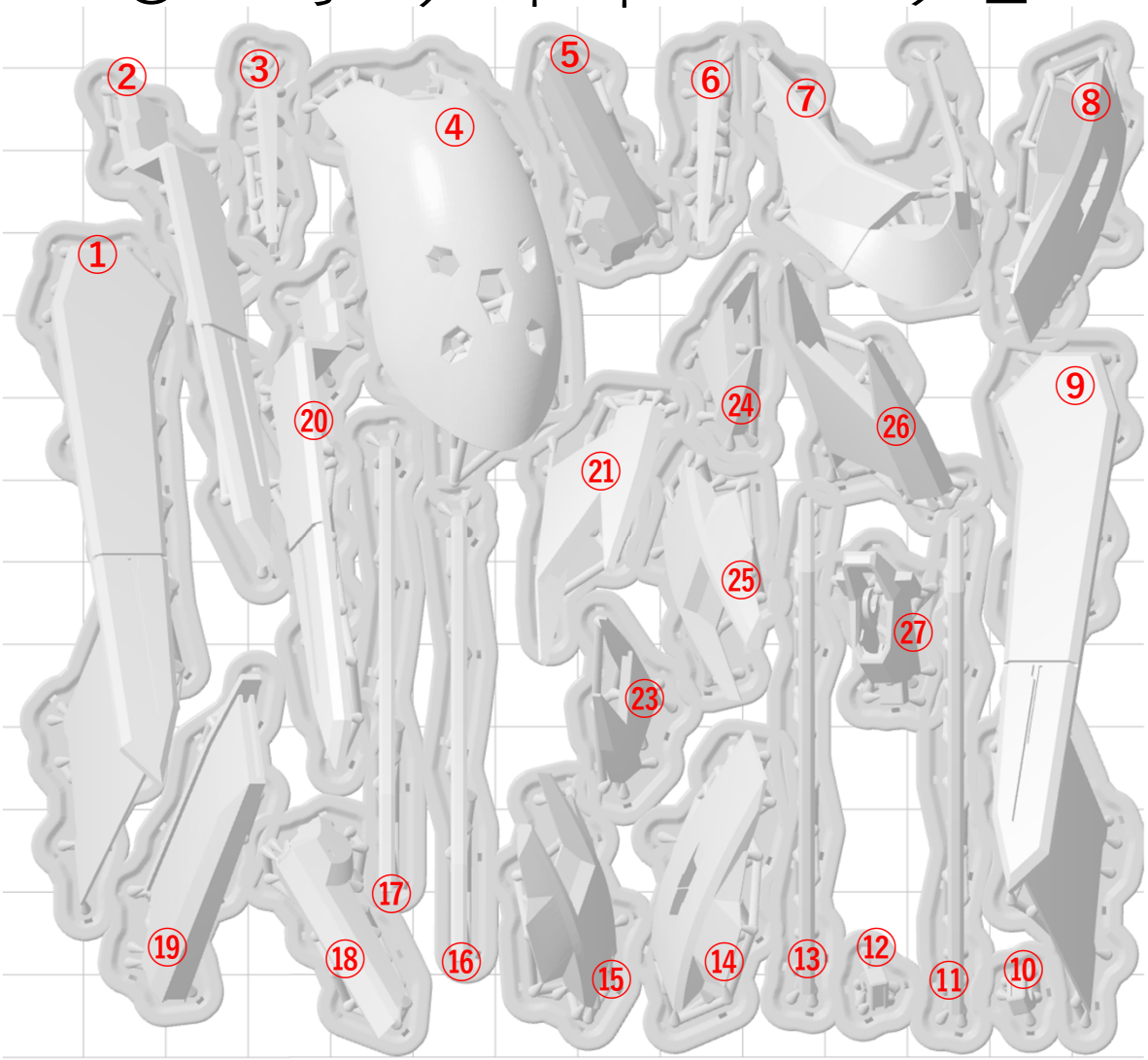
1パーツ

ランナーB　ホワイトパーツ1



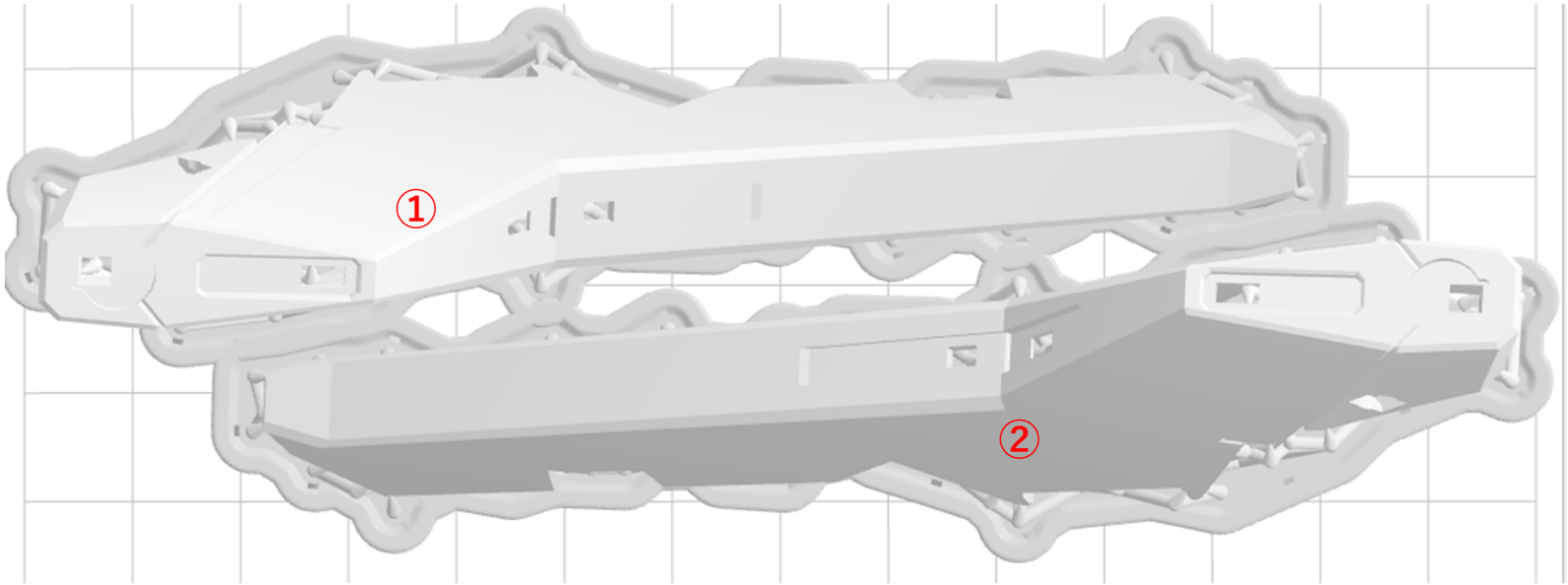
31パーツ

ランナーC　ホワイトパーツ2



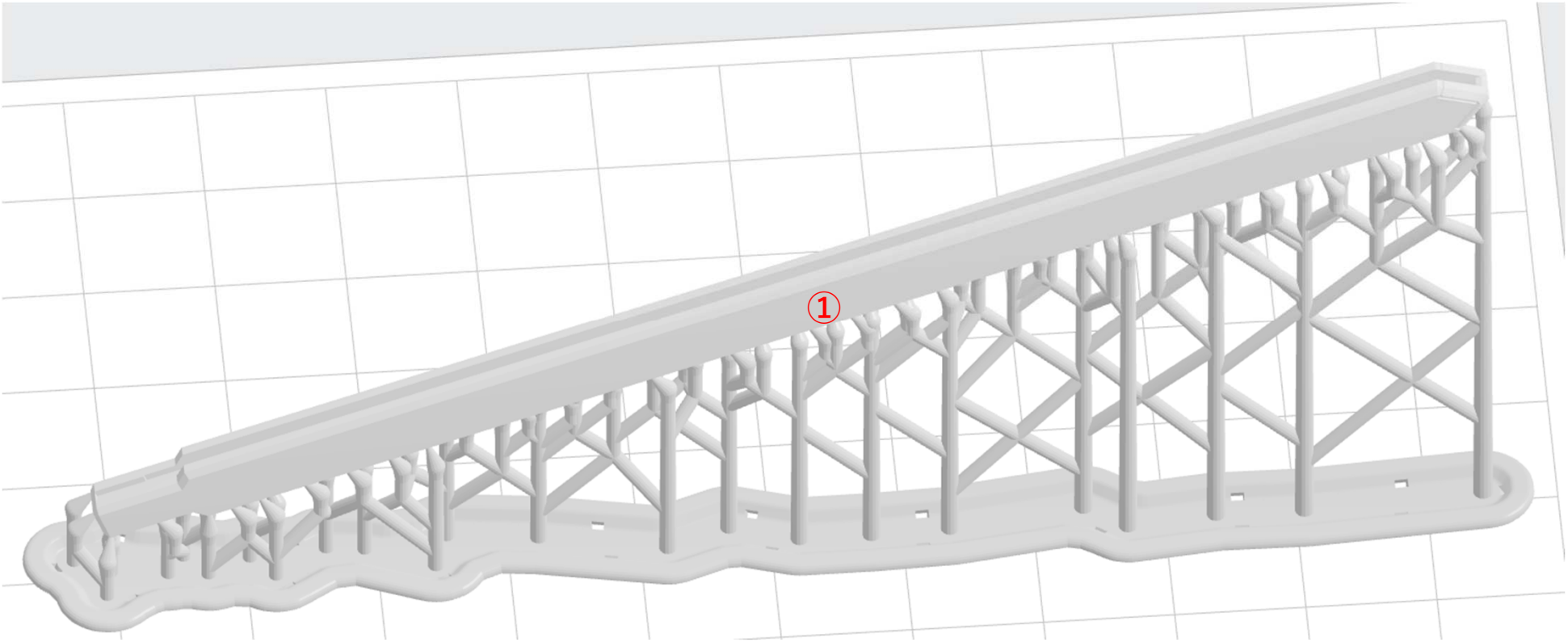
27パーツ

ランナーD　ホワイトパーツ3



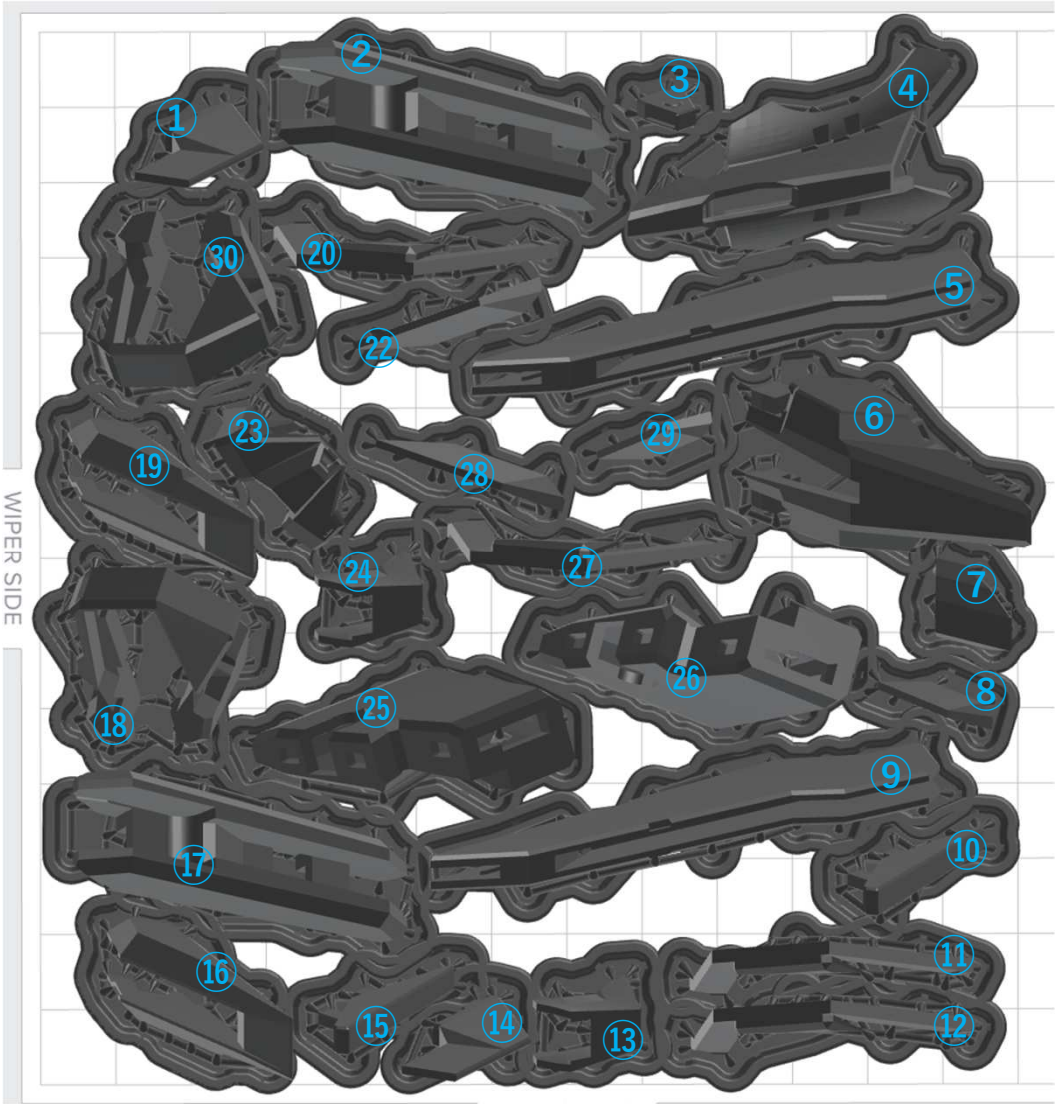
2パーツ

ランナーE　ホワイトパーツ4



1パーツ

ランナーF　ダークネイビーパーツ

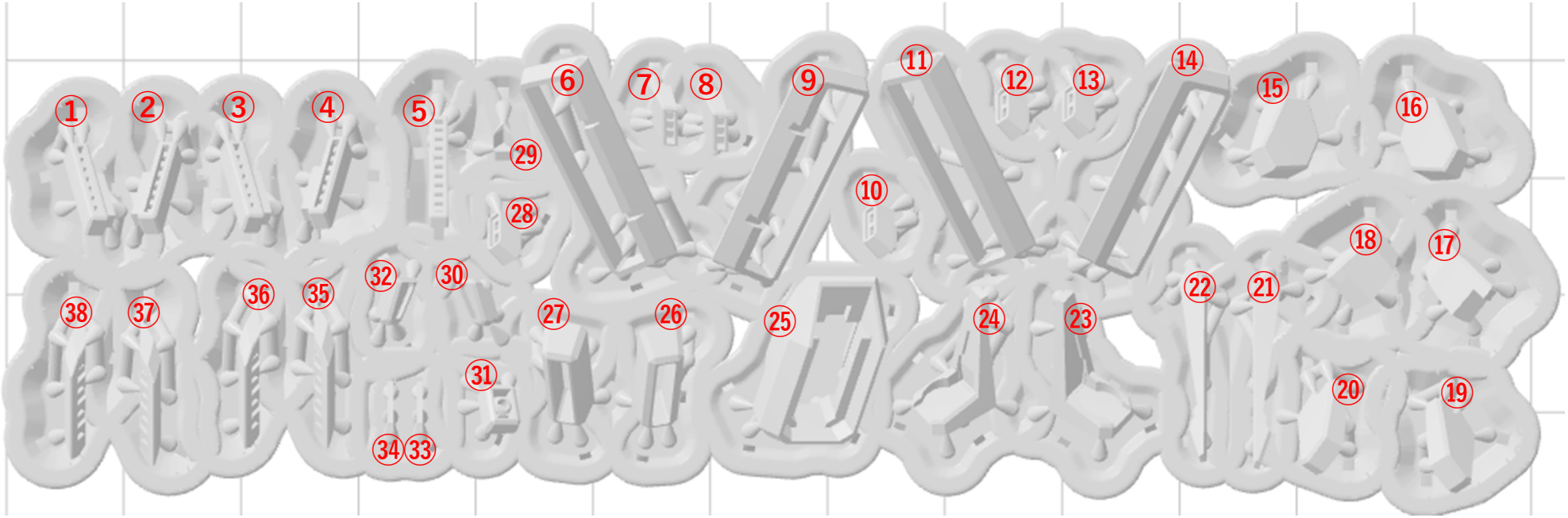


29パーツ

ランナーG　クリアグリーンパーツ

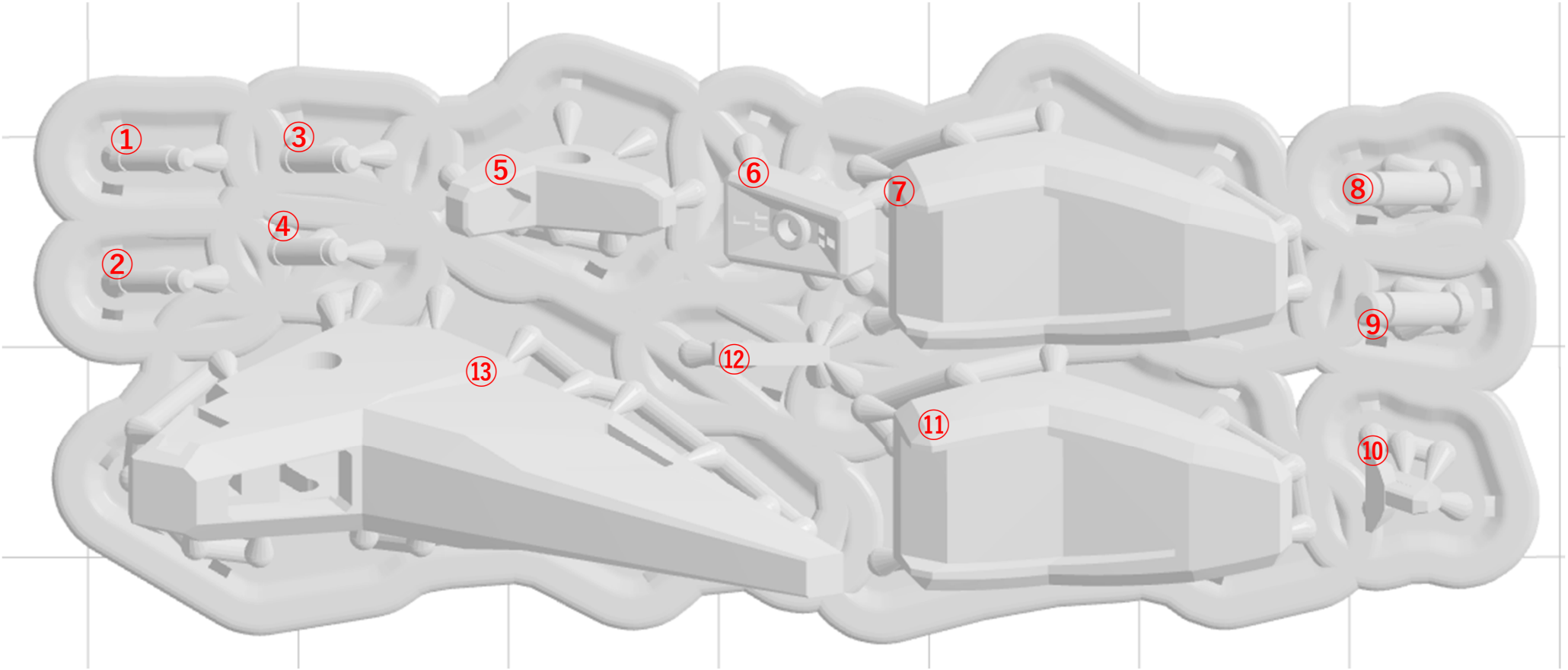
7パーツ

ランナーH　イエローパーツ



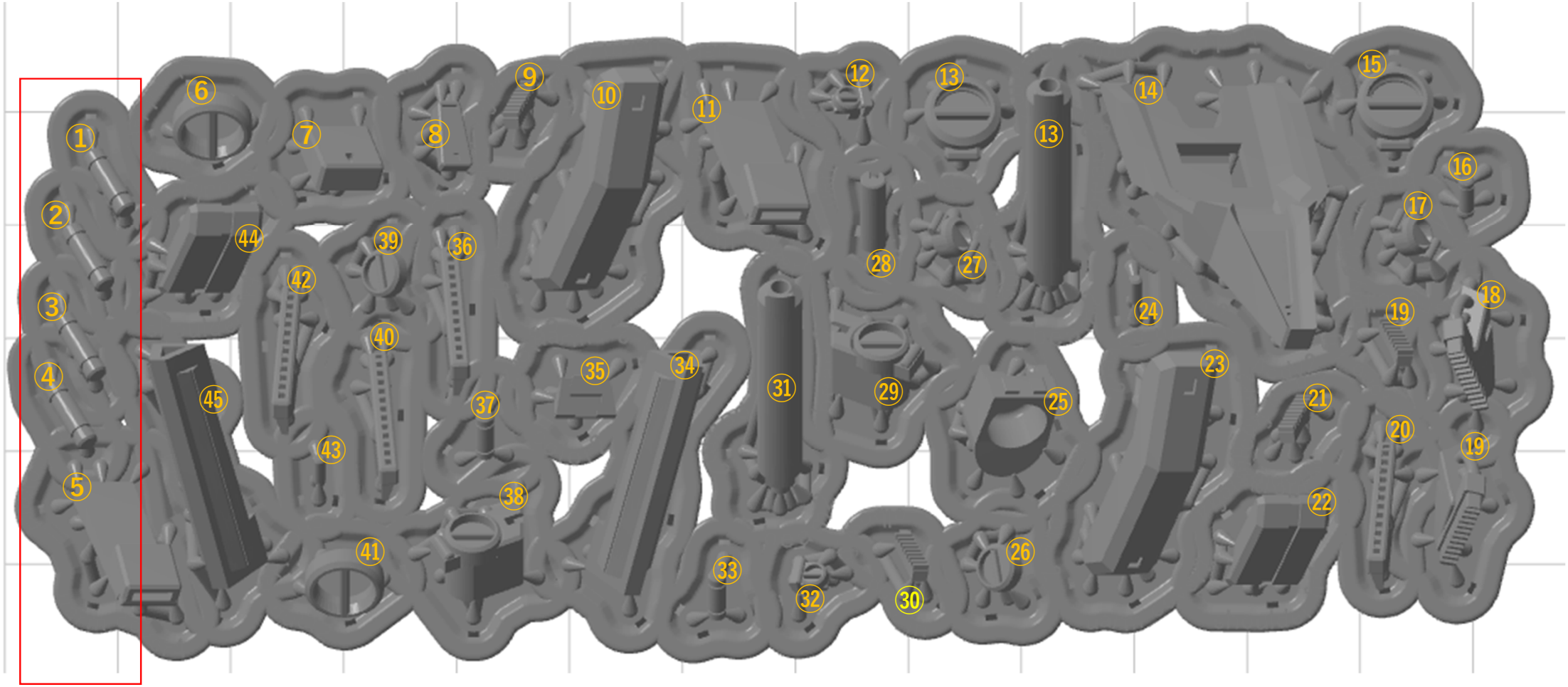
38パーツ

ランナーI　レッドパーツ



13パーツ

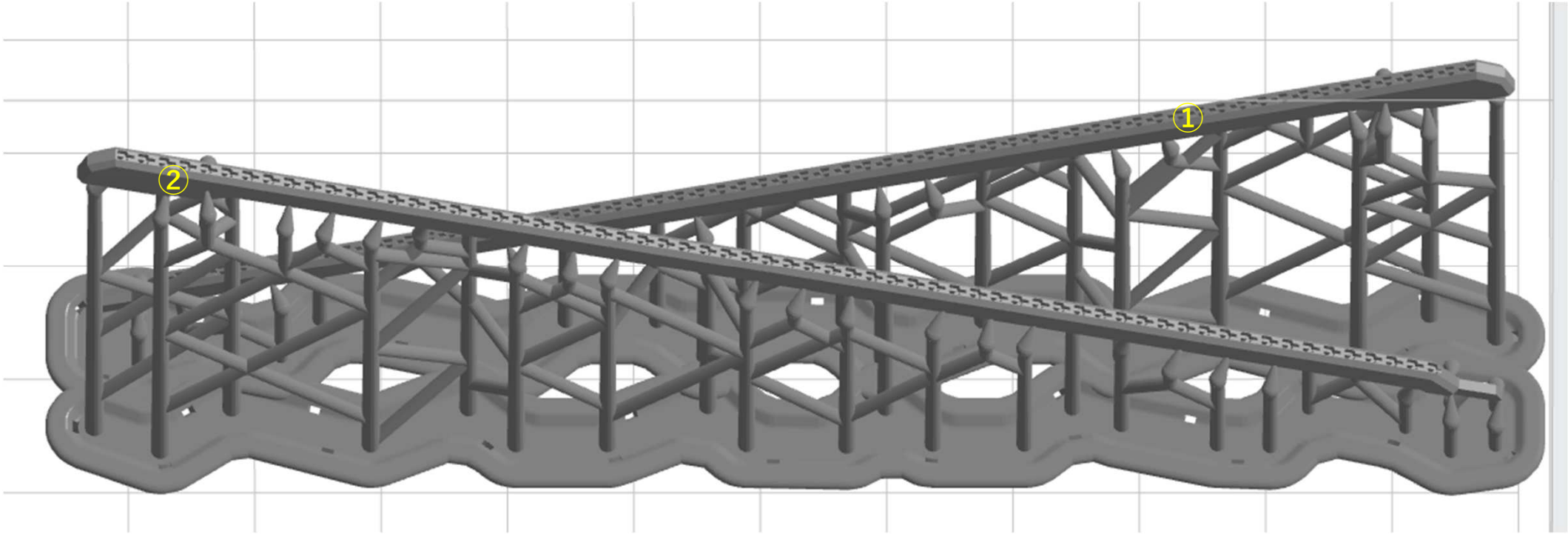
ランナーJ　グレーパーツ1



※①～⑤は分割されている場合があります。

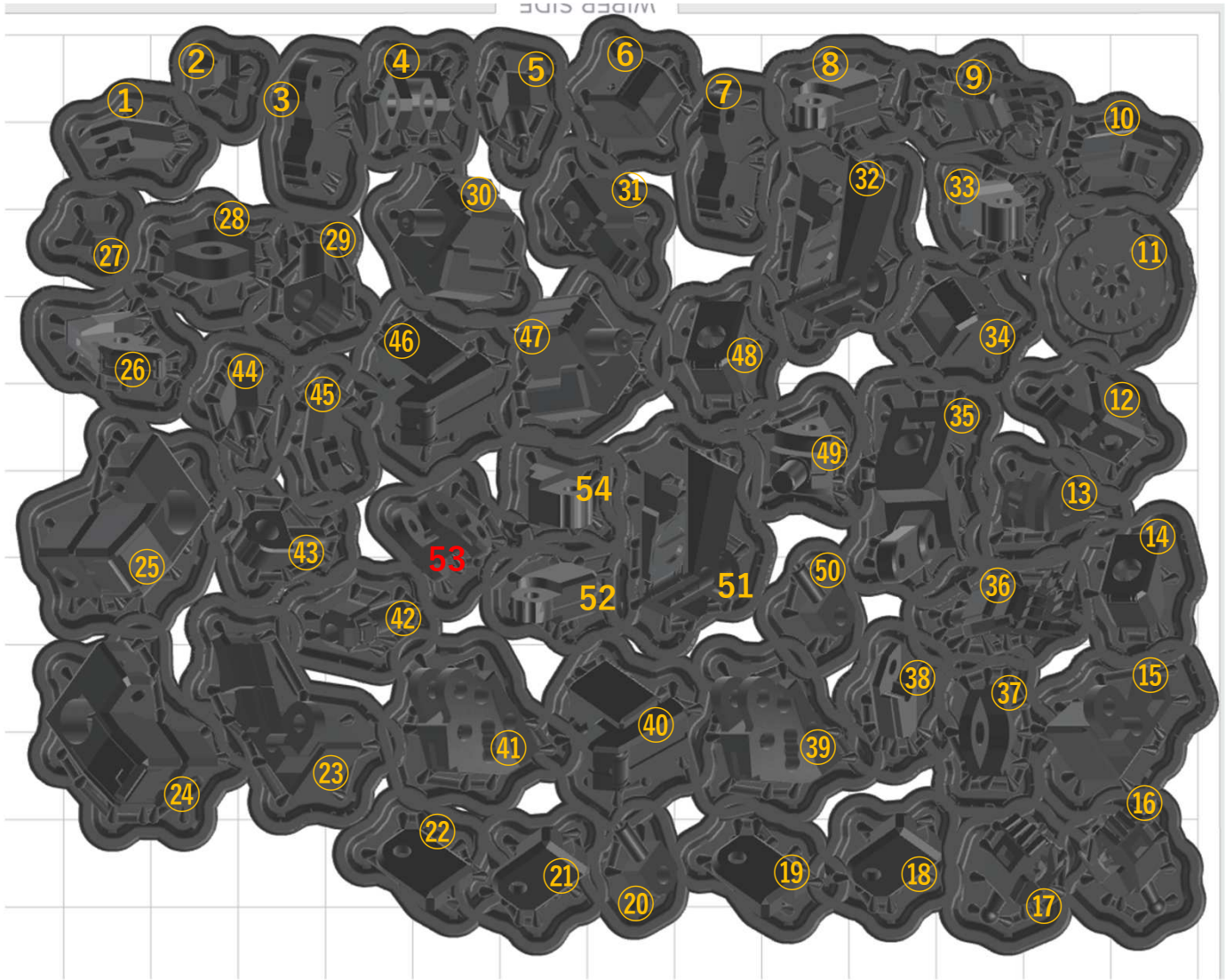
45パーツ

ランナーK　グレーパーツ2



2パーツ

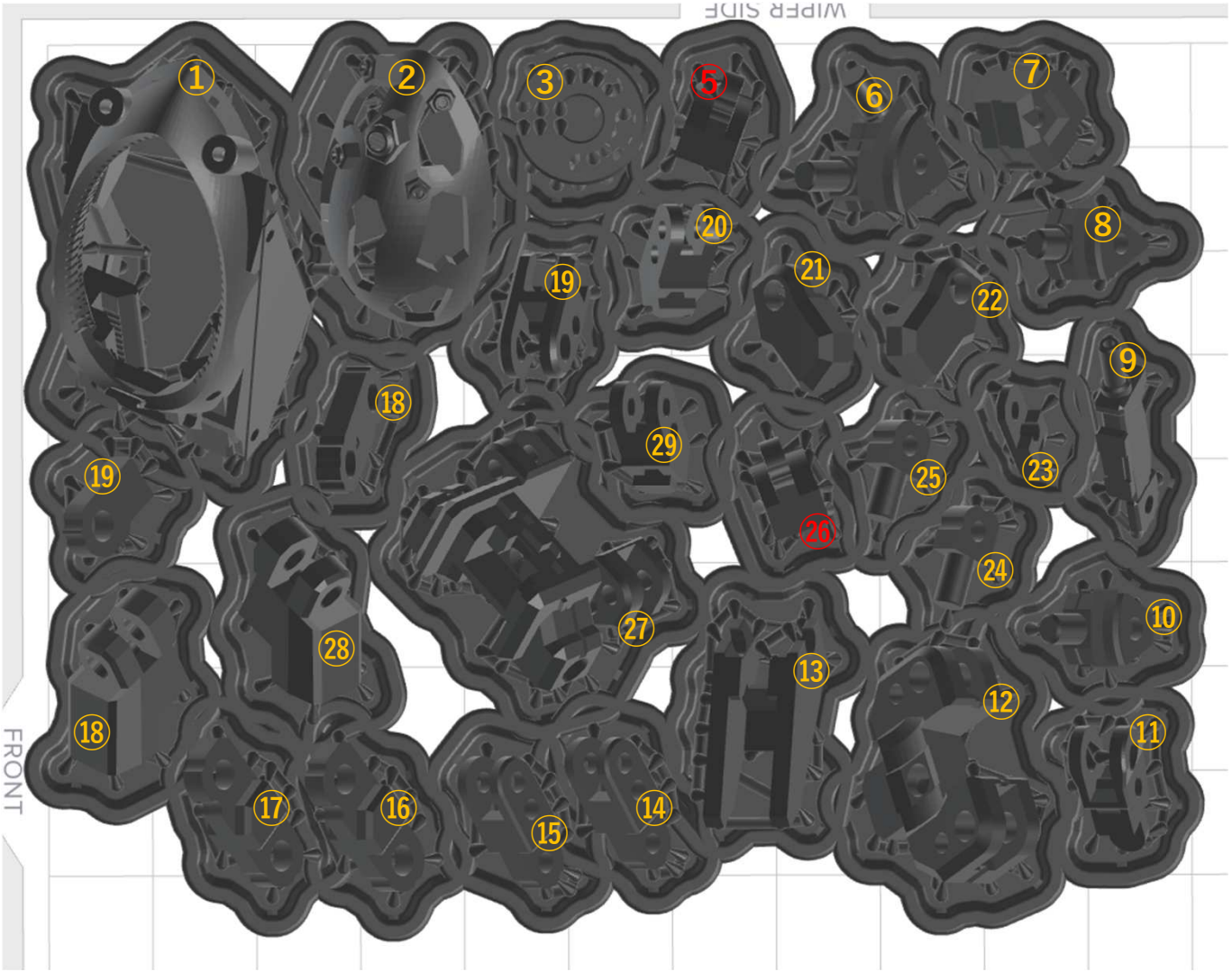
ランナーL　フレームパーツ1

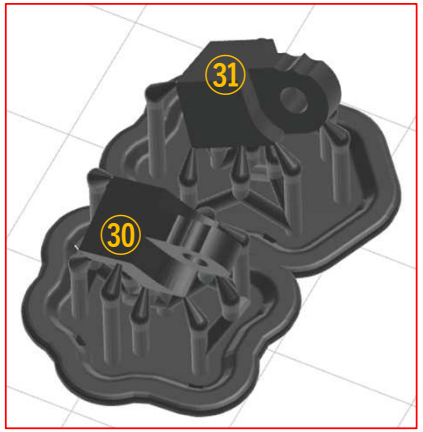


※53は不使用です。
こちらのパーツに差し替えてください。

55パーツ

ランナーM　フレームパーツ2

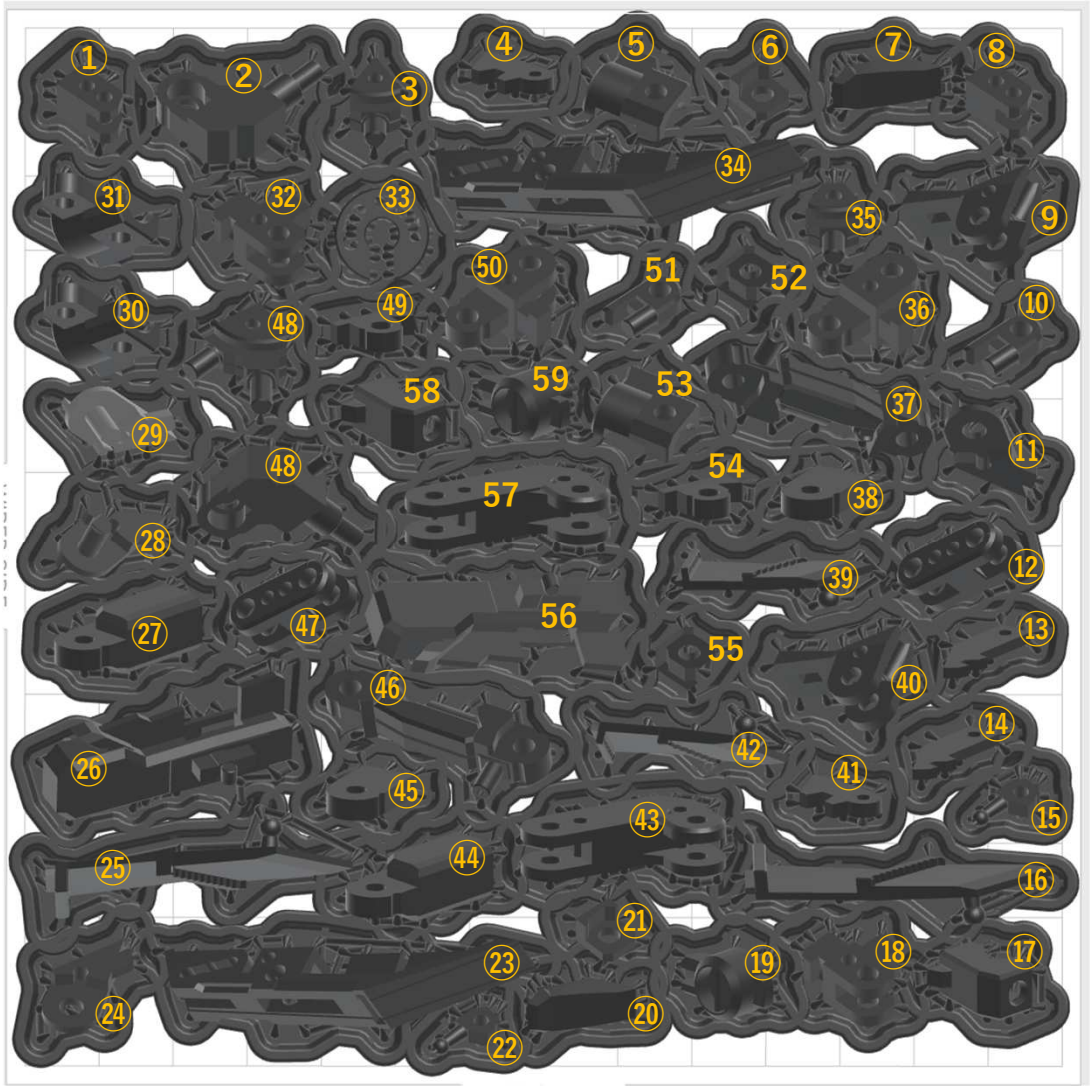




※⑤、㉖は不使用です。
こちらのパーツに差し替えてください。

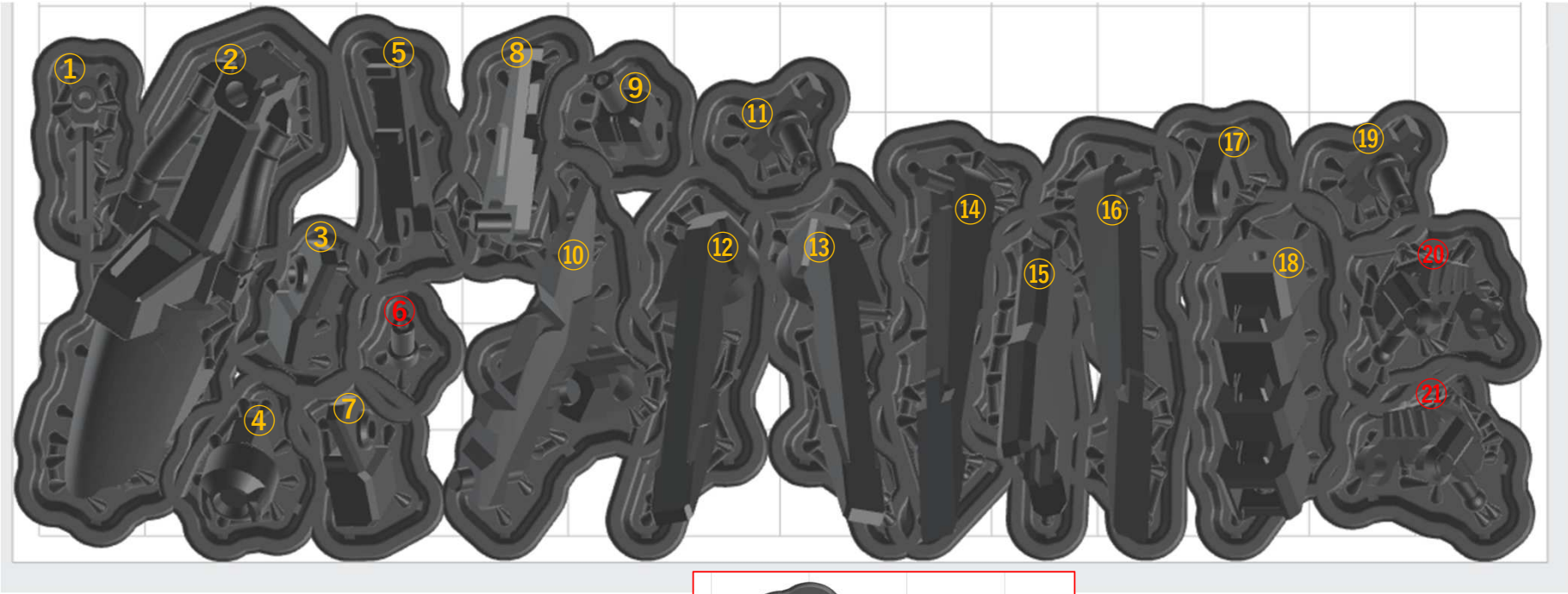
31パーツ

ランナーN　フレームパーツ3



59パーツ

ランナー0　フレームパーツ4



※⑥、⑳、㉑は不使用です。
⑳、㉑はこちらのパーツに差し替えてください。

23パーツ

組み立て補足説明

組み立て補足　基本編

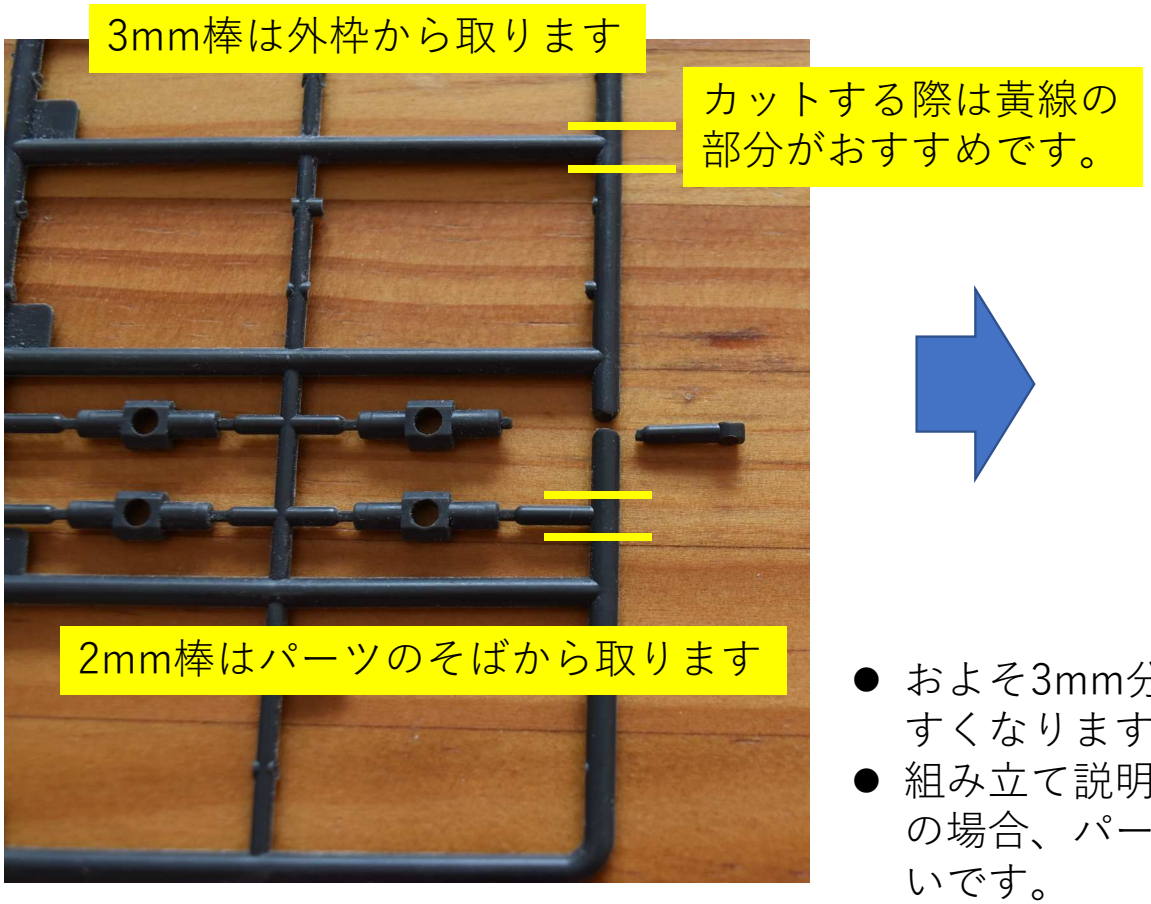
- 下記ページを最初にご確認ください。組み立てる上で必要なものが紹介されています。

  http://aarumodels.com/?p=952

- また、組立工程の基礎情報が動画で解説されています。

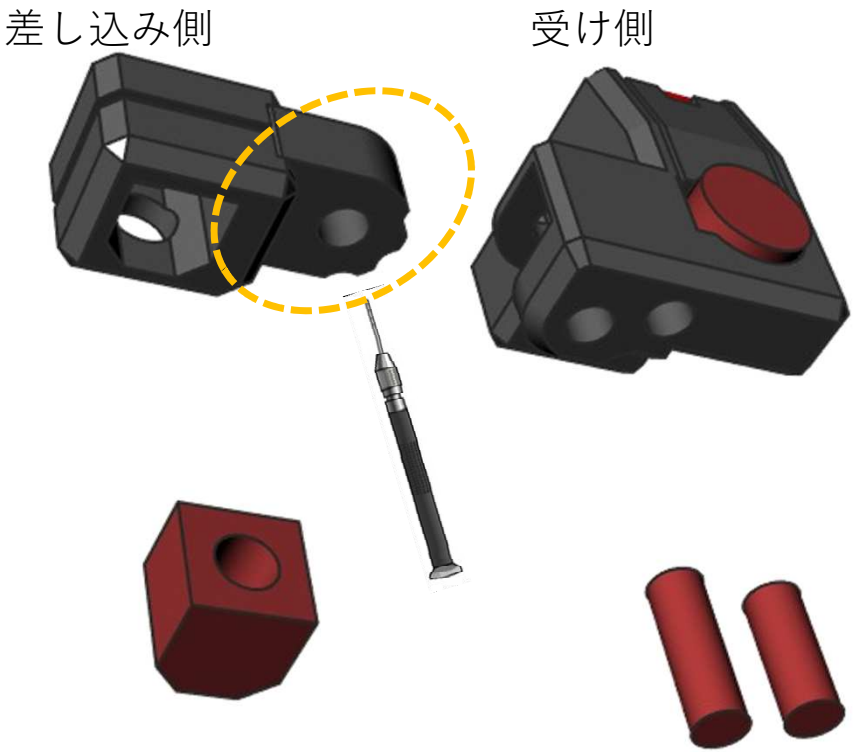
  http://aarumodels.com/?p=717

ポリ棒の加工について



- およそ3mm分、差し込み用のピッチが稼げるので挿入しやすくなります。
- 組み立て説明ではおよその長さを記載していますが、殆どの場合、パーツへ挿入後、現物合わせでカットする方が良いです。

ポリ棒の軸打ちについて



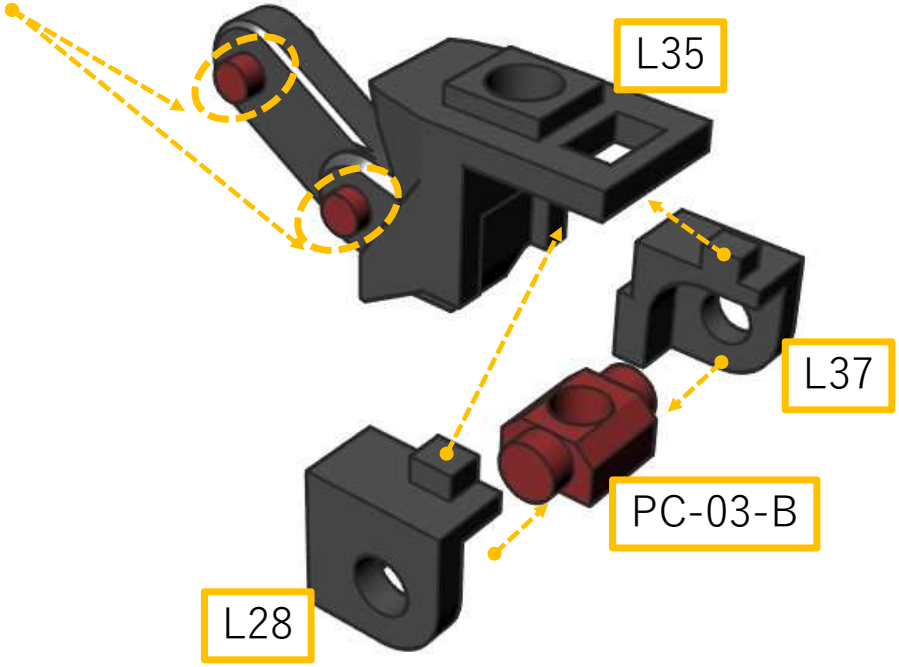
- 軸打ちする際にポリ棒が差し込みにくい場合、ドリルでクリアランス調整する必要があります。特に左図のように中に差し込み側のパーツの厚みがある(2mm以上)場合、難易度が上がります。

- 調整には2mm、3mmドリルを使用しますが、いきなり受け側、差し込み側両方をドリルで削るのではなく、まずは差し込み側だけを調整するようにしてください。

コアトップの組み立て

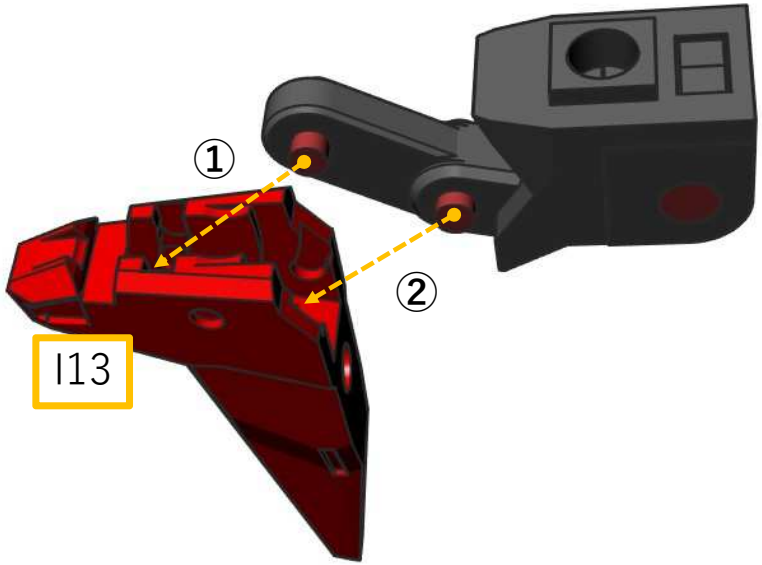
胴体1

①2mmポリ棒をL35に挿入し5mm長にカット(現物合わせ)



②L37とL28でPC-03-Bを挟み込み、L35に接着

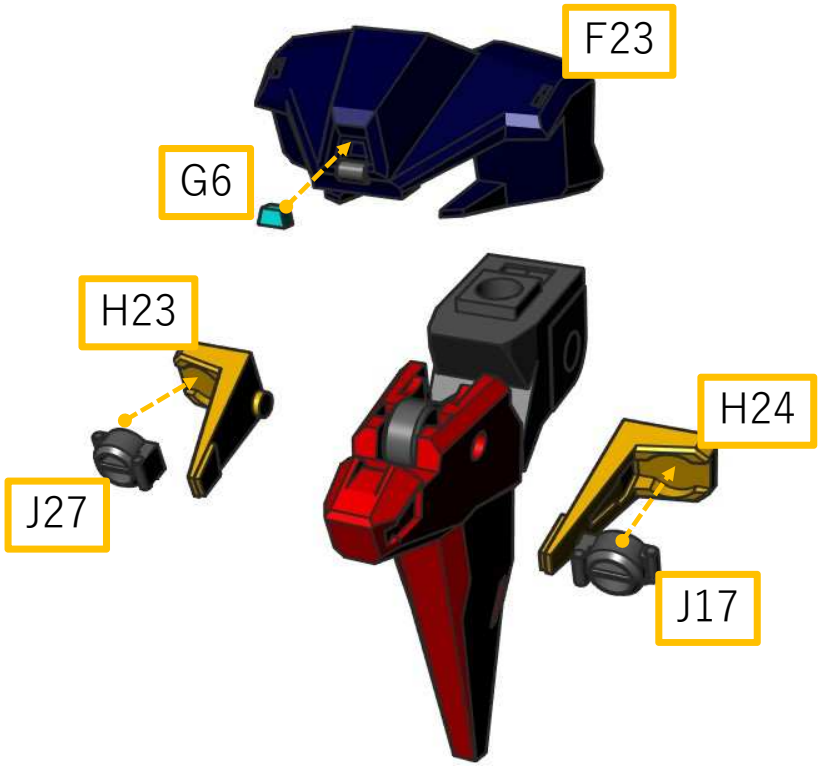
③ポリ棒をI13の溝に沿って①、②の順に挿入

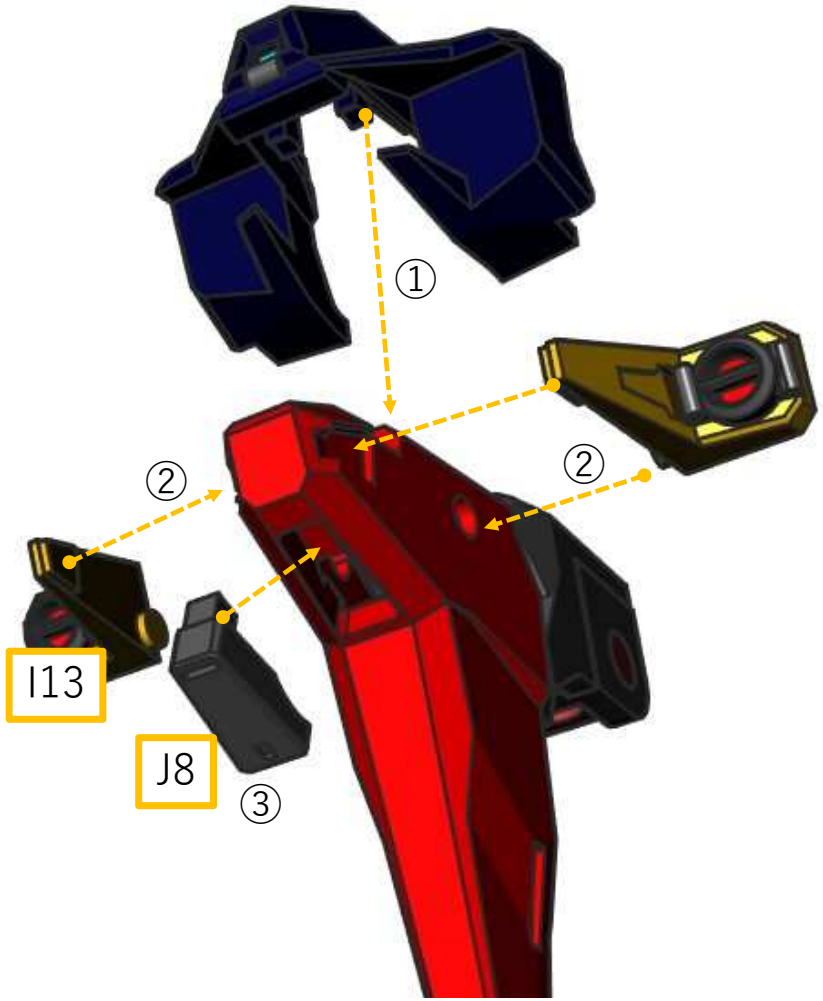


胴体2

②各パーツを①、②、③の順に接着※①と③を
接着する際、可動フレームに注意！！

①各パーツを事前に接着





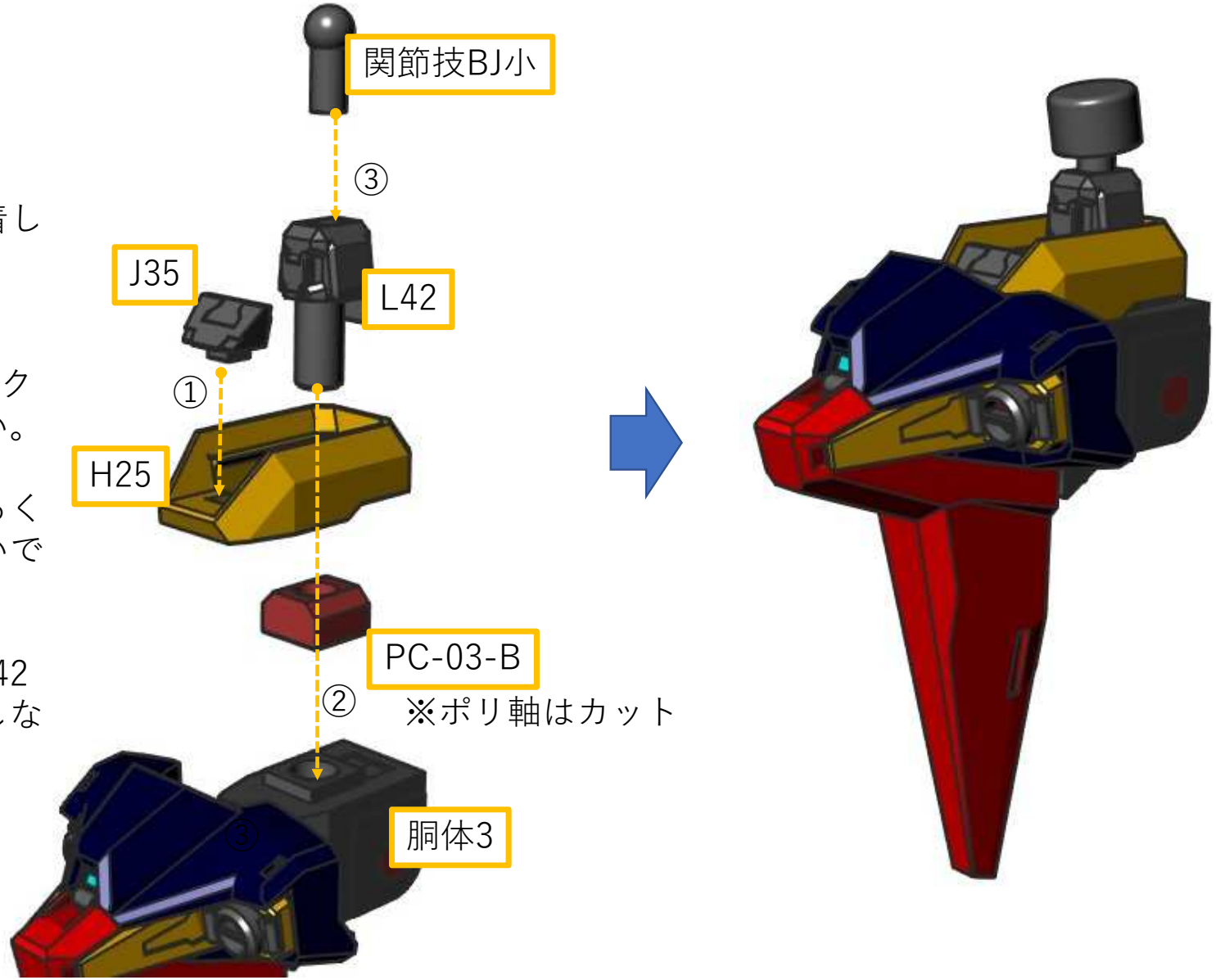
胴体3

①各パーツを①～③の順に接着します。

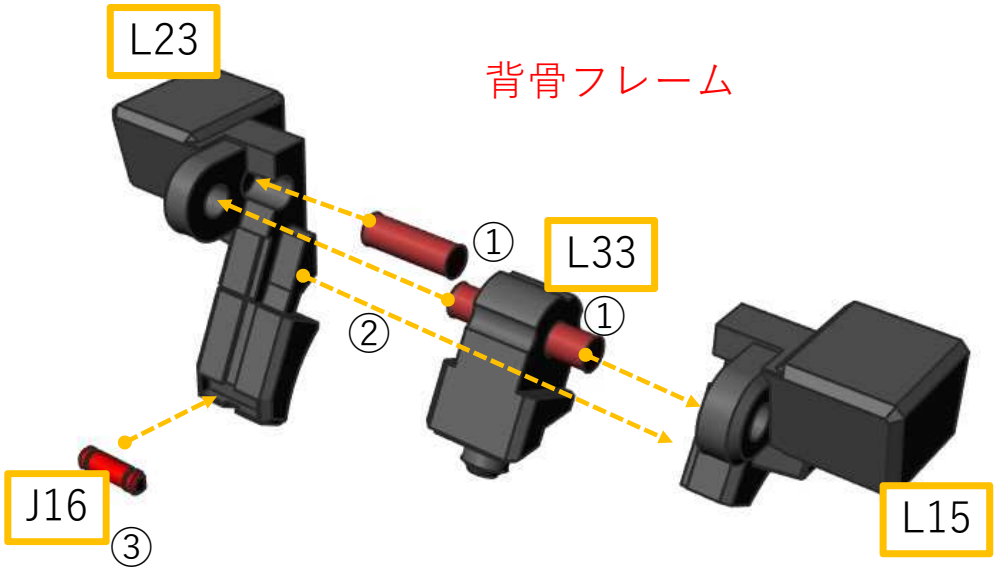
※L42を胴体3に接着する際は、あらかじめL42を挿入してみてクリアランスを確認してください。

何回か挿入すると摩耗してゆるくなるので少し余裕があるくらいでで接着してください。

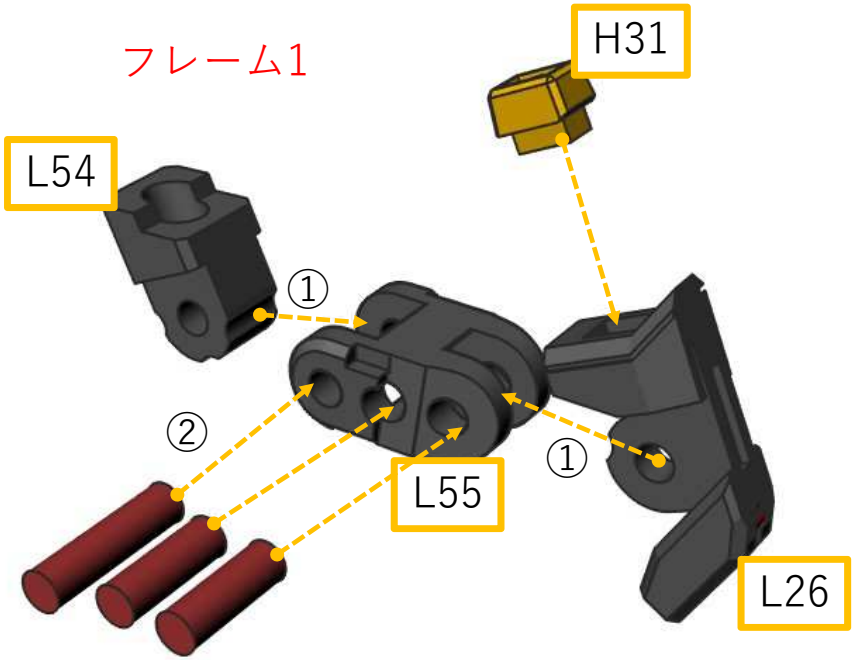
また、H25はポリスライドでL42によって挟み込みます。接着しないので注意してください。



ブースター(トップ)1



①L33、L23に2mmポリ棒を挿入します。(約6mm,9mm長)
②L33をL15とL23で挟み込んで接着します。
③J16をL23に接着します。

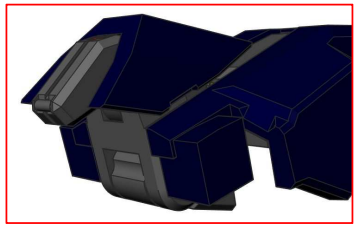


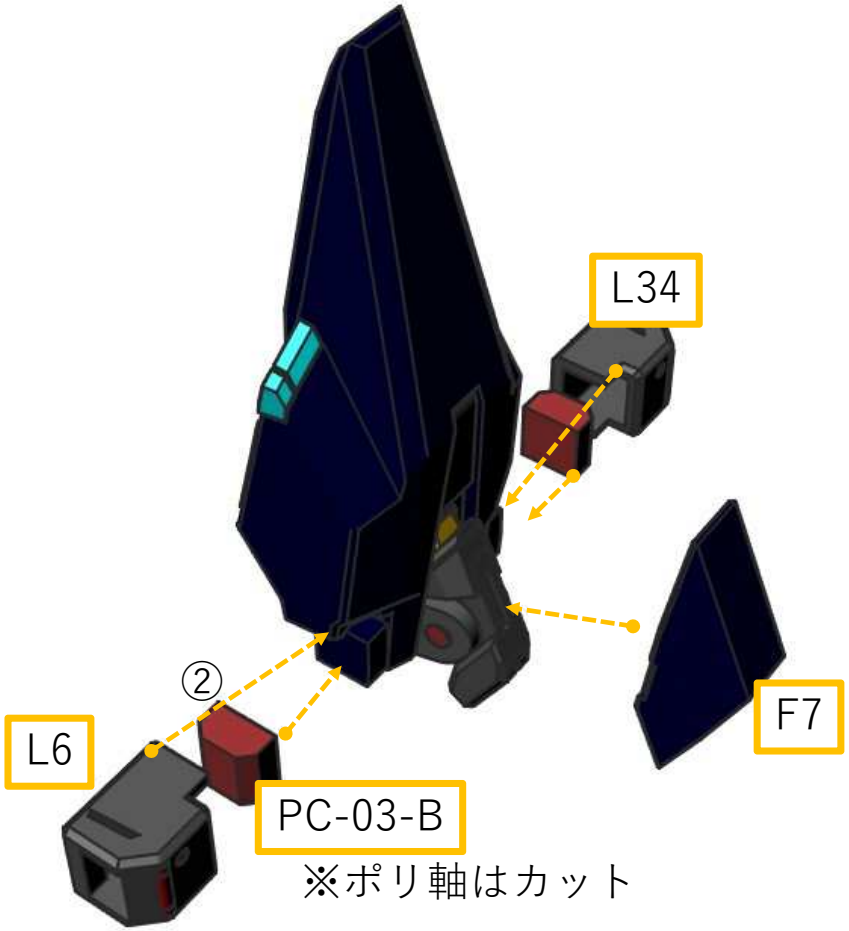
①L54、L26をL55に挿入します。
②L55に2mmポリ棒を挿入します(約8mm,6mm,6mm長)。
③H31をL26に接着します。

ブースター(トップ)2

各パーツを接着します。

※フレーム1は側面のくぼみをF6の突起に合わせ、可動パーツに気をつけて接着してください。右図のように底面がツライチになります。



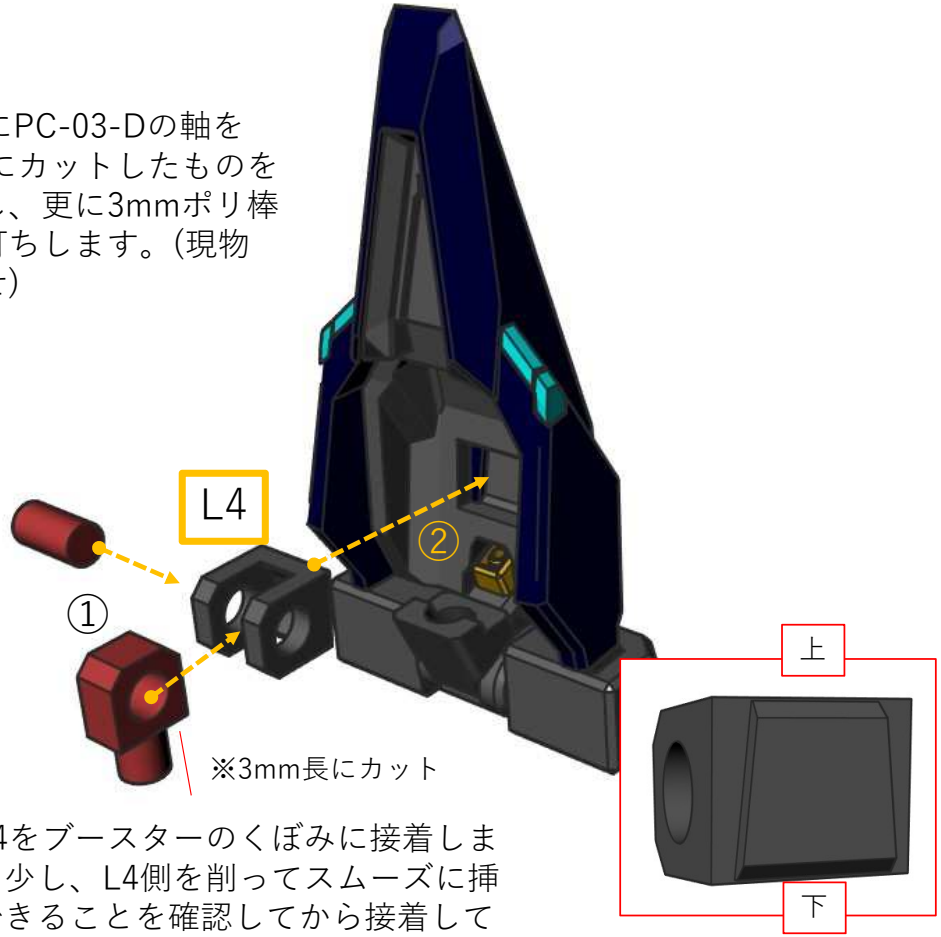


※ポリ軸はカット

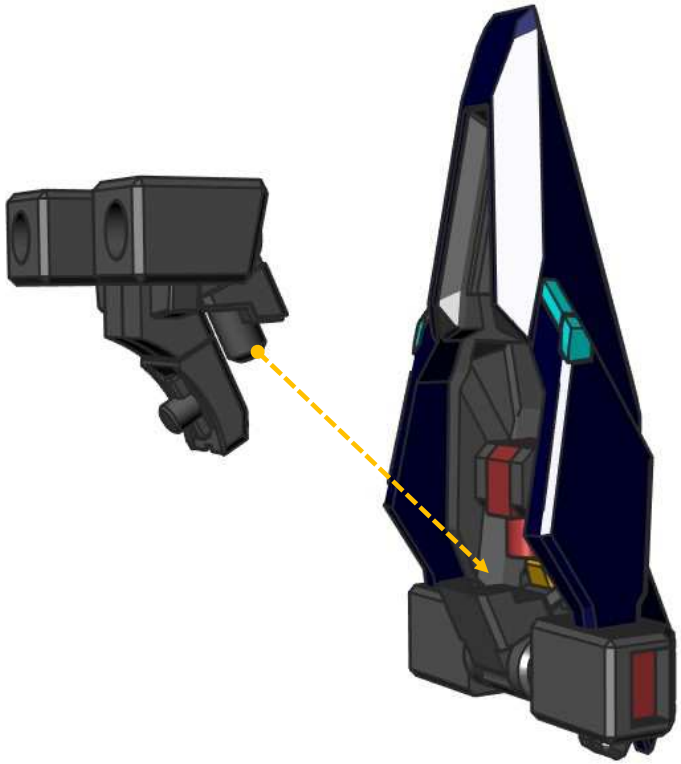
①L54、L26をL55に挿入します。
②L55にポリ棒を挿入します(約8mm,6mm,6mm長)。
③H31をL26に接着します。

ブースター(トップ)3

①L4にPC-03-Dの軸を3mmにカットしたものを挿入し、更に3mmポリ棒で軸打ちします。(現物合わせ)

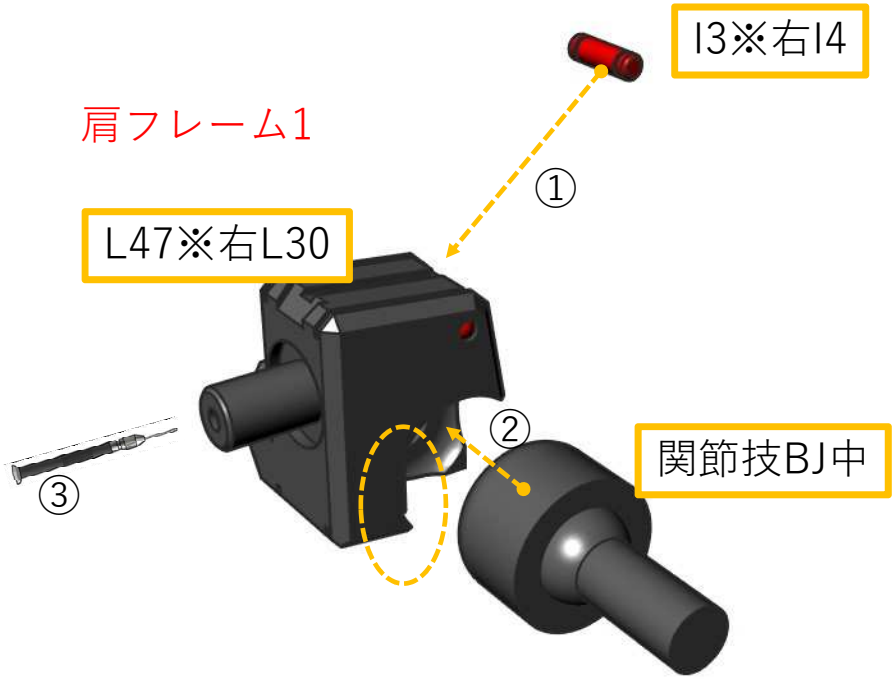


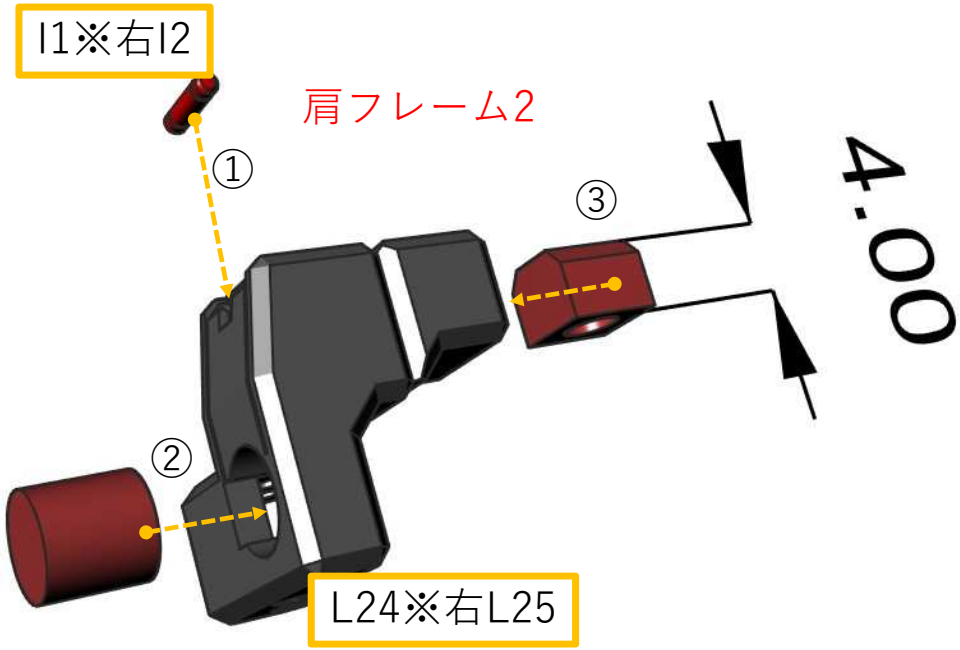
①L4をブースターのくぼみに接着します。少し、L4側を削ってスムーズに挿入できることを確認してから接着してください。また右図で上下を確認してください。



背骨フレームをブースターに接着します。可動部分まで接着しないよう、気をつけてください。

左腕部1　※右腕も対称で作ります。

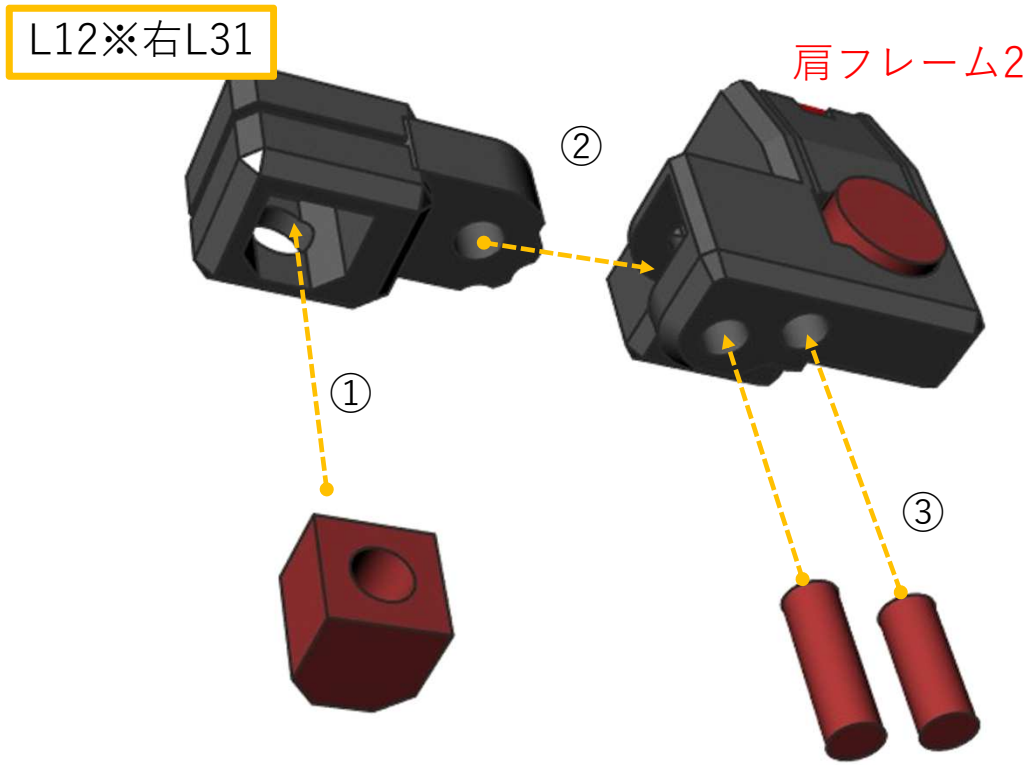




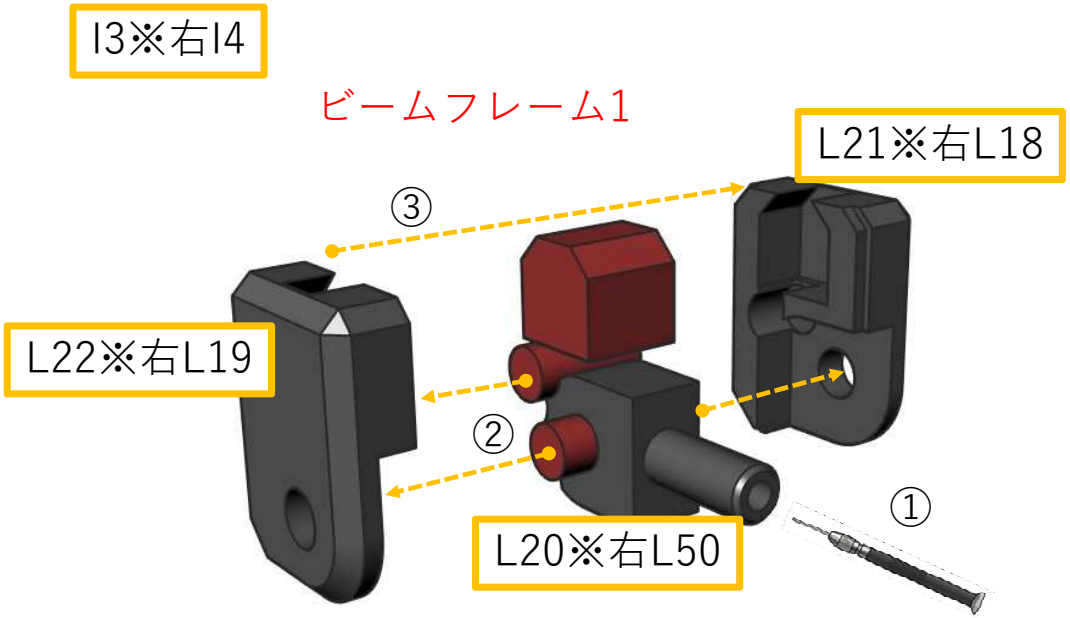
①I1をL47に接着します。
②関節技BJ中の溝とL47側の突起を合わせながら接着します。
③1.1mmドリルで穴をトレースし、1mm真鍮線をインサート接着します。

①I3をL24に接着します。
②PC-03-Cの軸を片方の軸だけわずかに残してカットし、L24に挿入します。
③PC-03-Aの底面を１ｍｍカット、軸も両方カットしてL24に挿入します。

左腕部2　※右腕も対称で作ります。

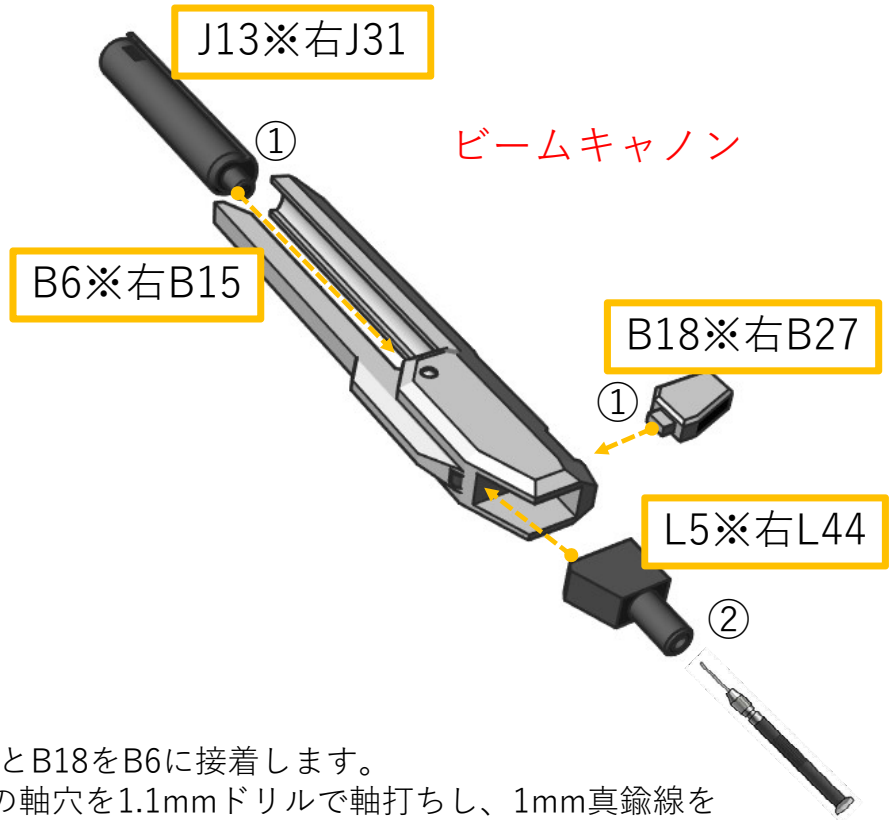


①L12にPC-02-Aの両軸をカットしたものを挿入します。
②L12を肩フレーム2に挿入します。
③2mmポリ棒を軸打ちします(現物合わせ)。

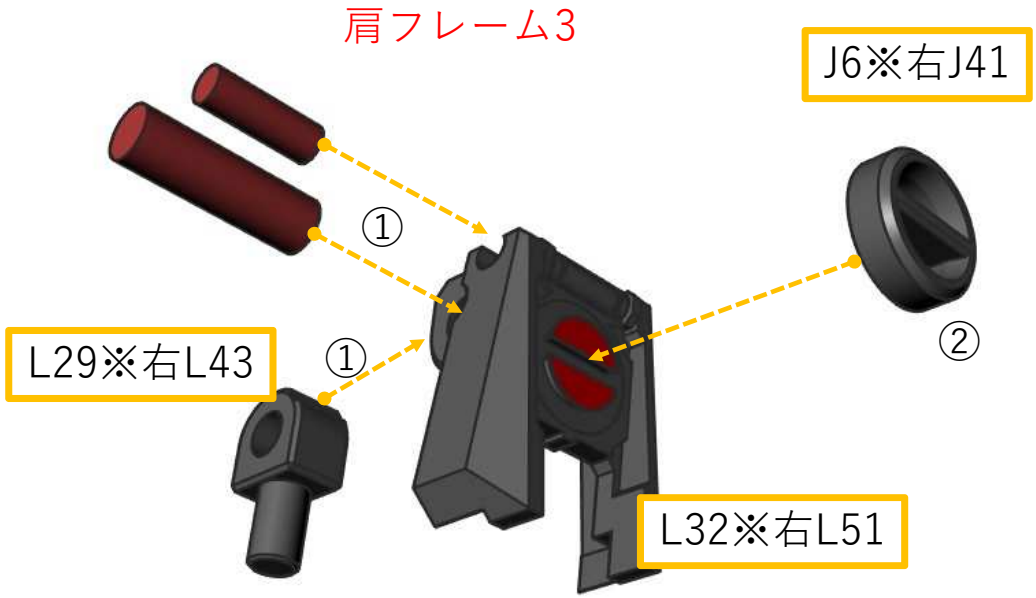


①L20の軸穴を1.1mmピンバイスでトレースし、1mm真鍮線をインサート接着します。
②L20に約6mm長の2mmポリ棒を挿入し、クリック用に4mm長、PC-02-Aの両軸をカットしたものを図の位置にセットします。
③各パーツをL21とL22挟み込みつつ、接着します。

左腕部3　※右腕も対称で作ります。

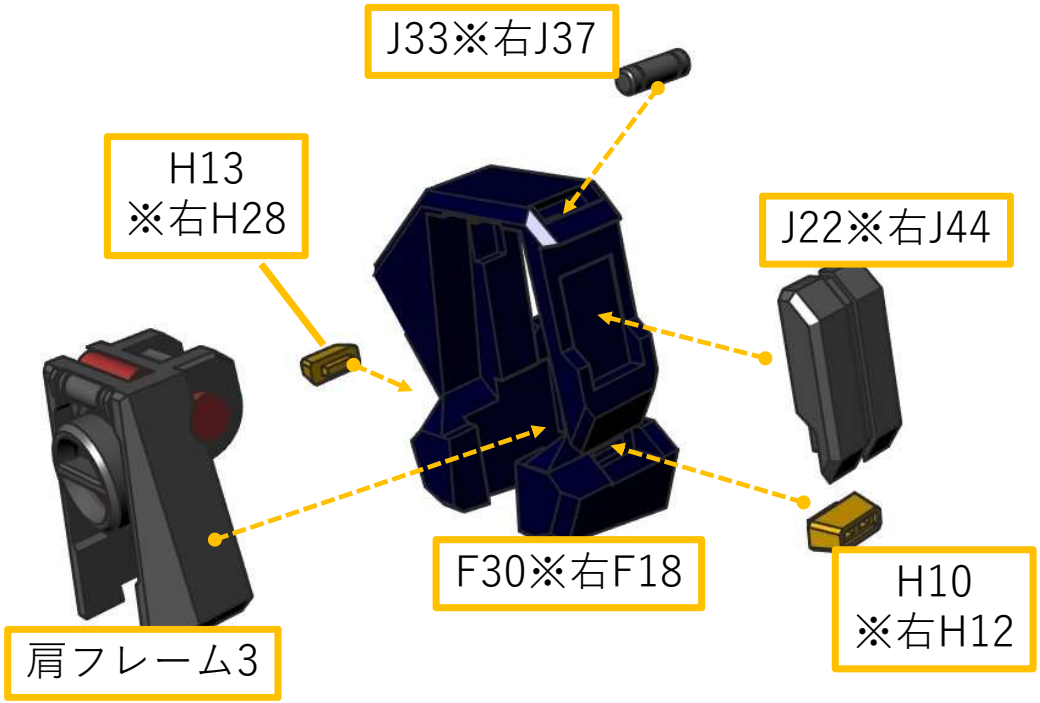


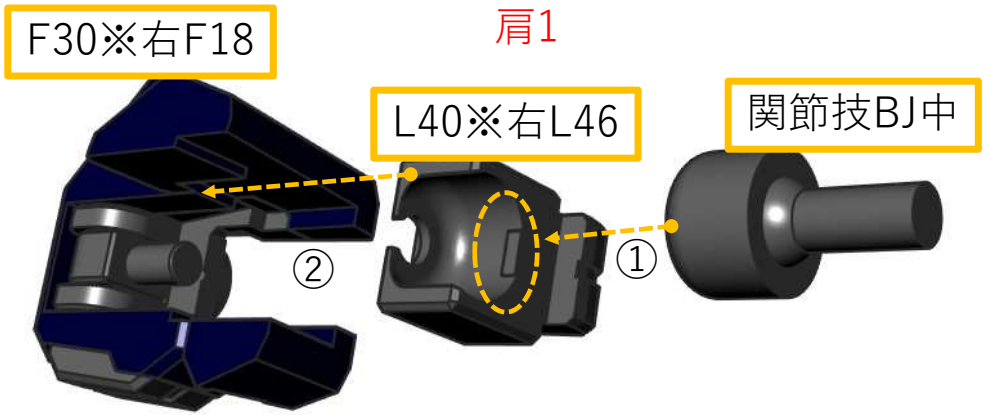
①J13とB18をB6に接着します。
②L5の軸穴を1.1mmドリルで軸打ちし、1mm真鍮線をインサート接着し、さらにB6に接着します。



①L29をL32にセットし、2mmポリ棒、3mmポリ棒を軸打ちします(現物合わせ)。
②J6をL32に接着します。

左腕部4　※右腕も対称で作ります。

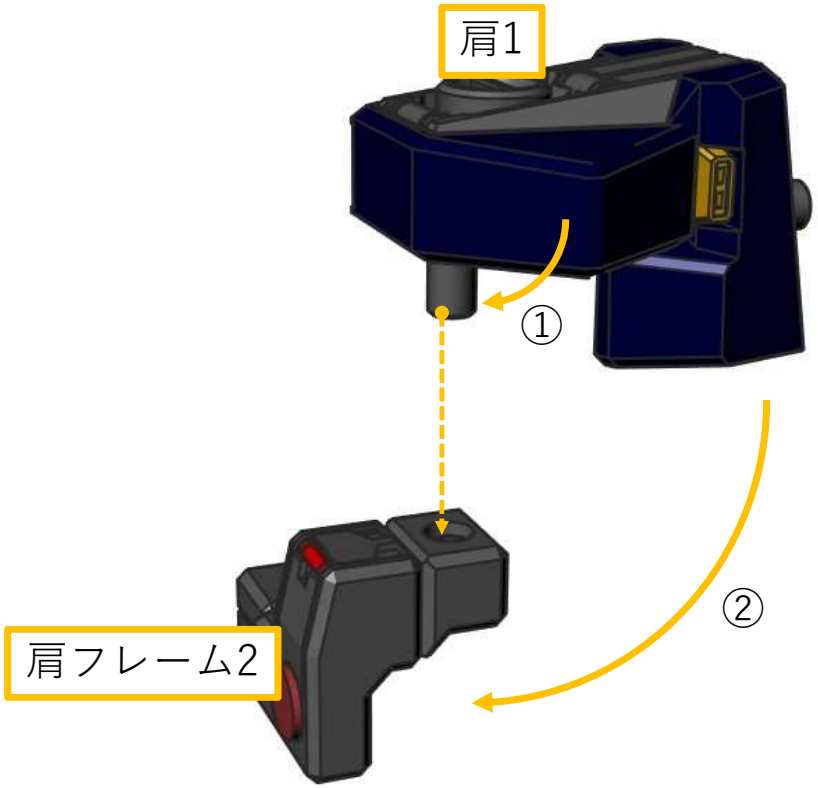




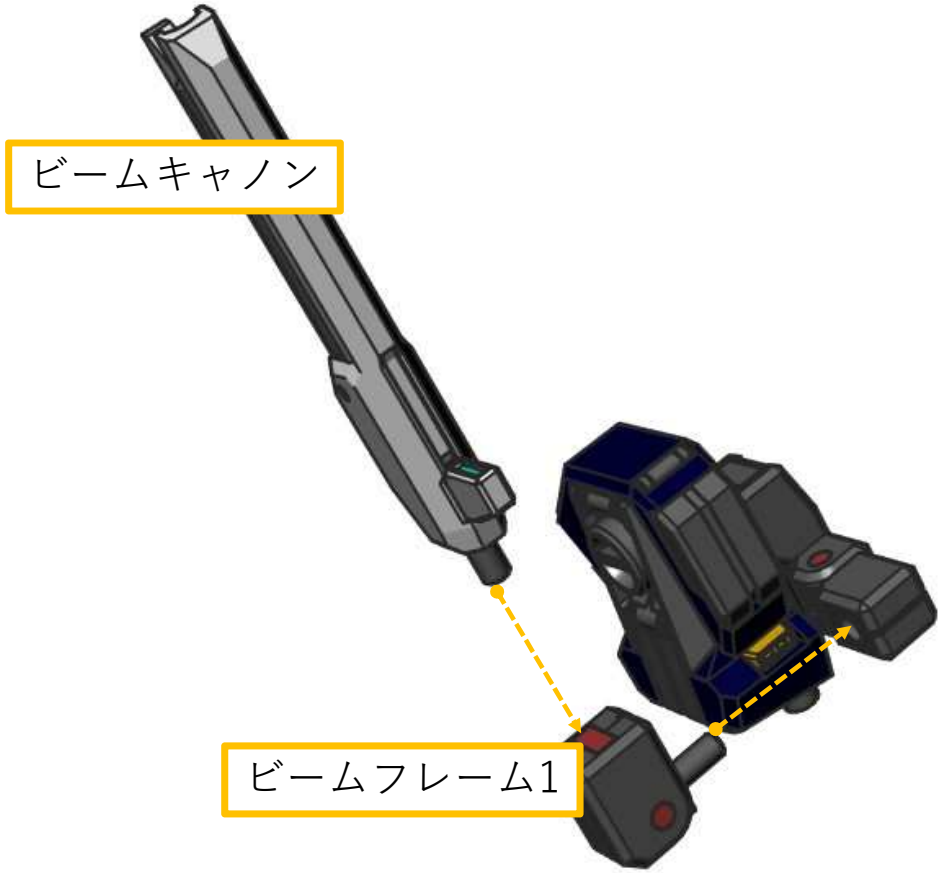
各パーツをF30に接着します。

①関節技BJ中の窪みをL40の突起に合わせて接着します。
②L40をF30と肩フレーム3に接着します。

左腕部5　※右腕も対称で作ります。



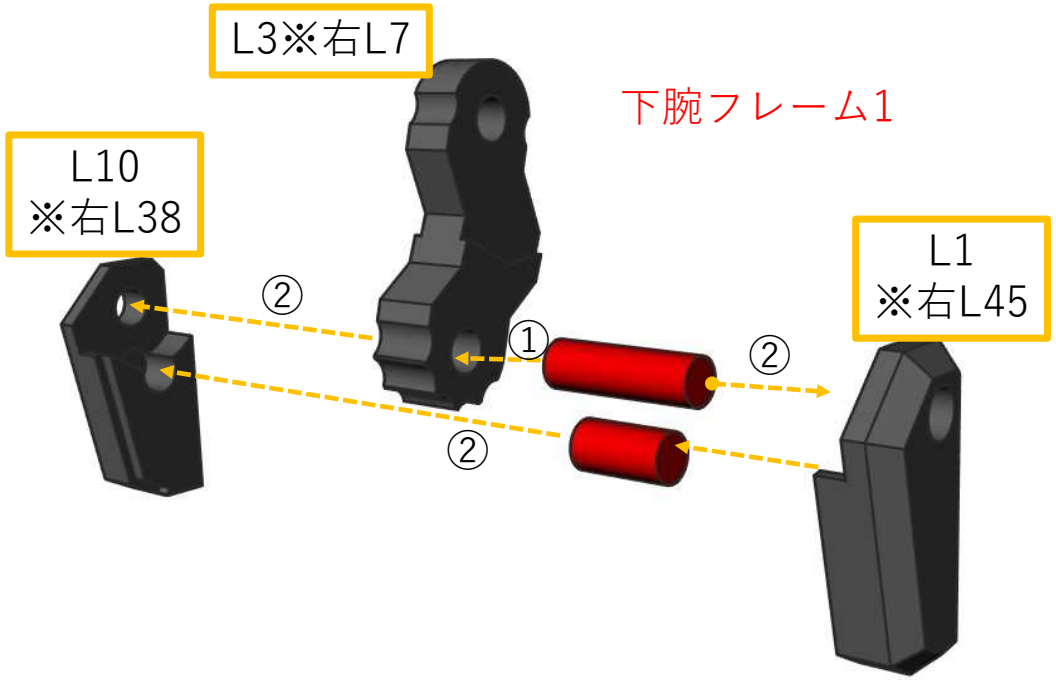
①肩1のジョイントを90°回転させ、肩フレーム2に挿入します。
②肩１のジョイントを90°戻します。

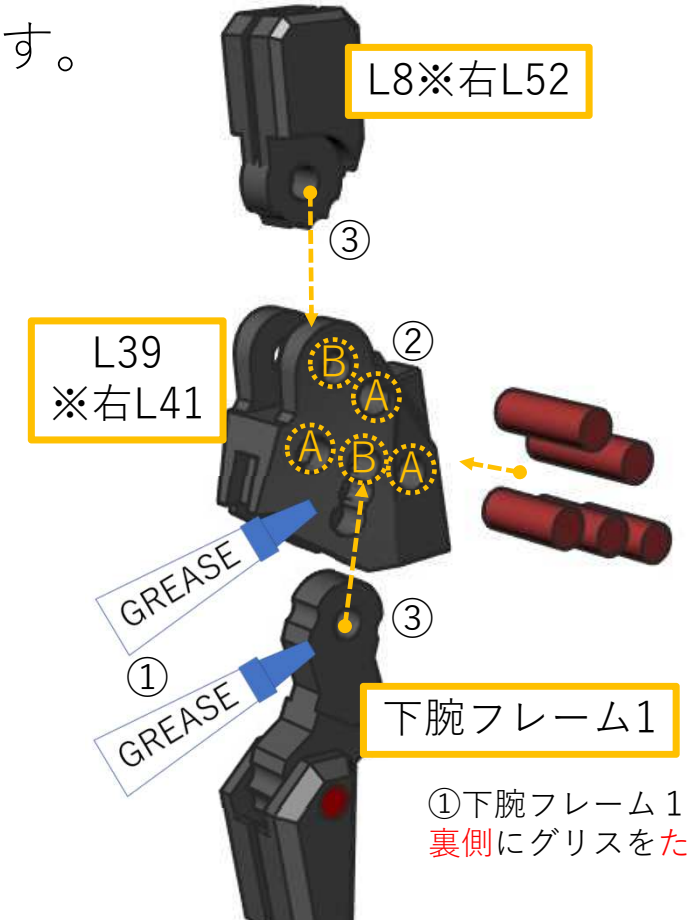


各パーツを上図のように挿入します。

左腕部6

※右腕も対称で作ります。



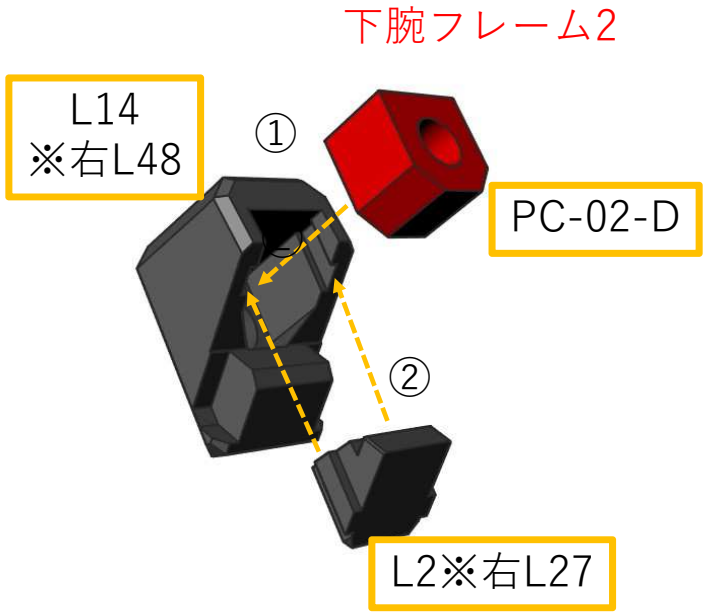


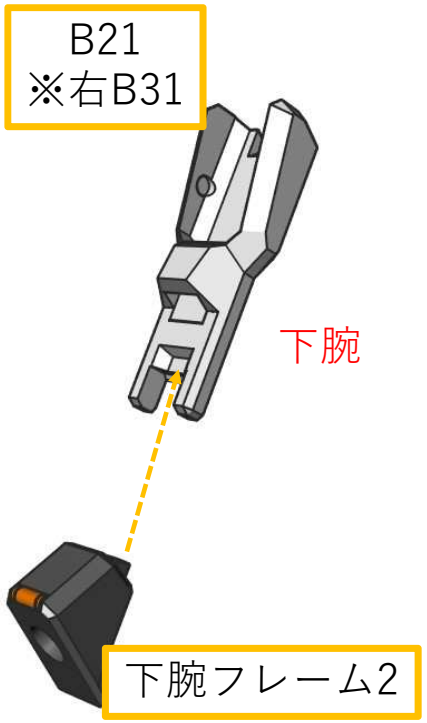
①下腕フレーム１とL39のBの穴全体、裏側にグリスをたっぷり塗ります。

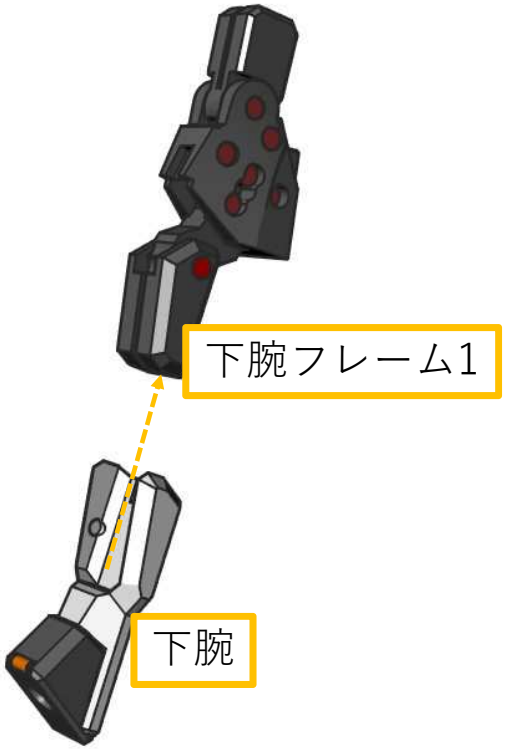
①L3に2mmポリ棒(7mm長)を現物合わせで挿入します。
②L3と2mmポリ棒(4mm長)をL10とL1で挟み込んで接着します。

②上図L39のAの穴に2mmポリ棒を現物合わせで挿入します。
③下腕フレーム1とL8をL39のBの穴位置にセットし、 2mmポリ棒を現物合わせで挿入します。下腕フレーム１はスライドクリックです。ある程度スムーズに動くまで追加でグリスアップしてください。

左腕部7　※右腕も対称で作ります。







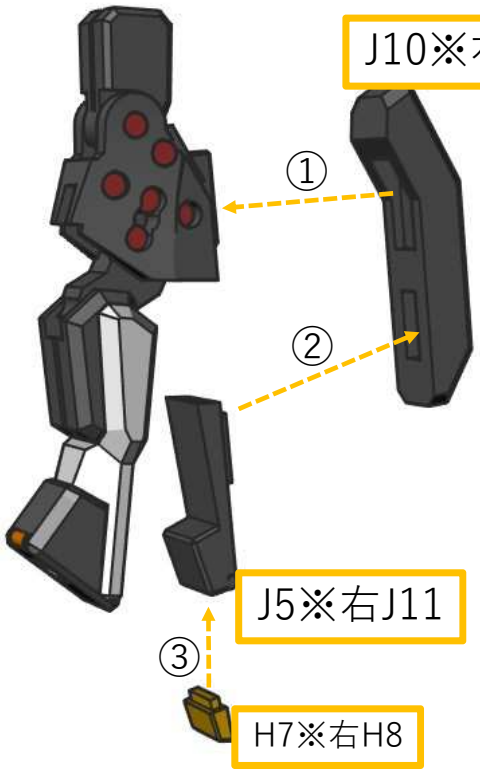
①PC-02-Dの軸をカットし、L14に挿入します。
②L2をL14に接着します。

B21に下腕フレーム2を接着します。

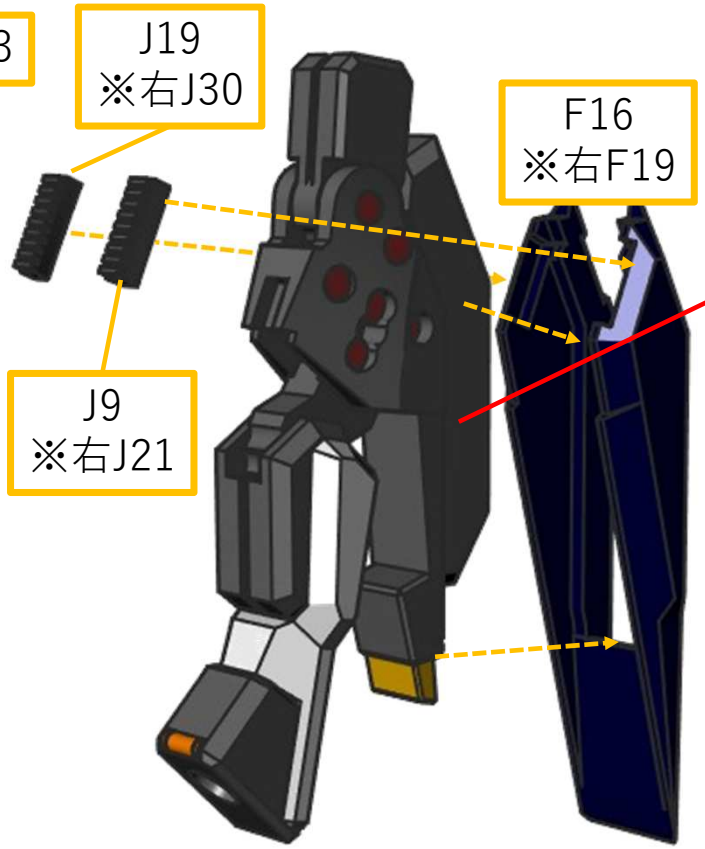
下腕フレーム1に下腕を接着します。

左腕部8

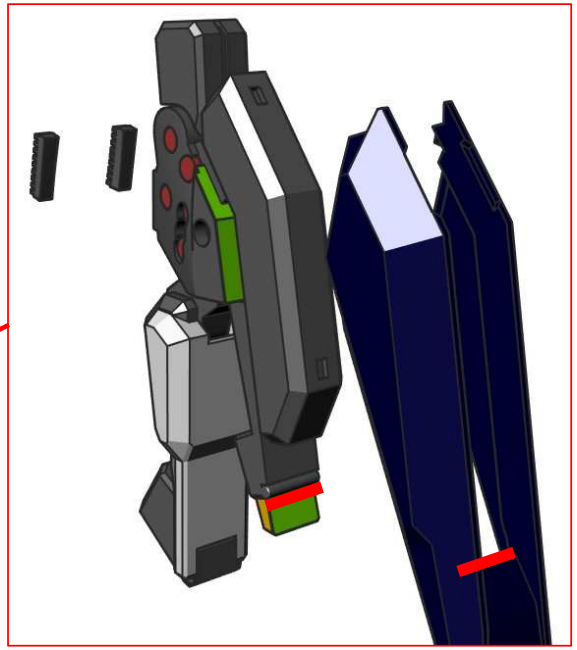
※右腕も対称で作ります。



①～③の順に各パーツを接着します。

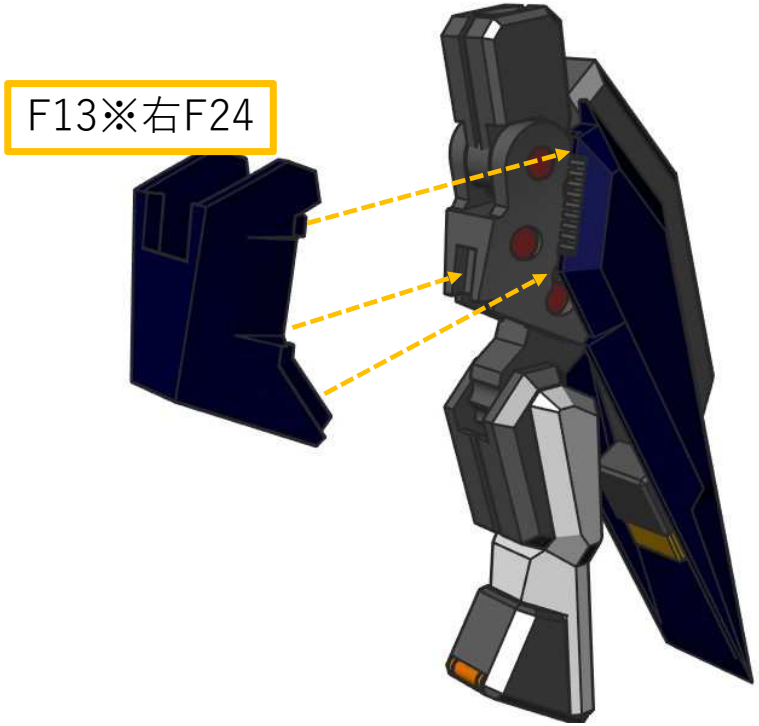


各パーツを接着します。

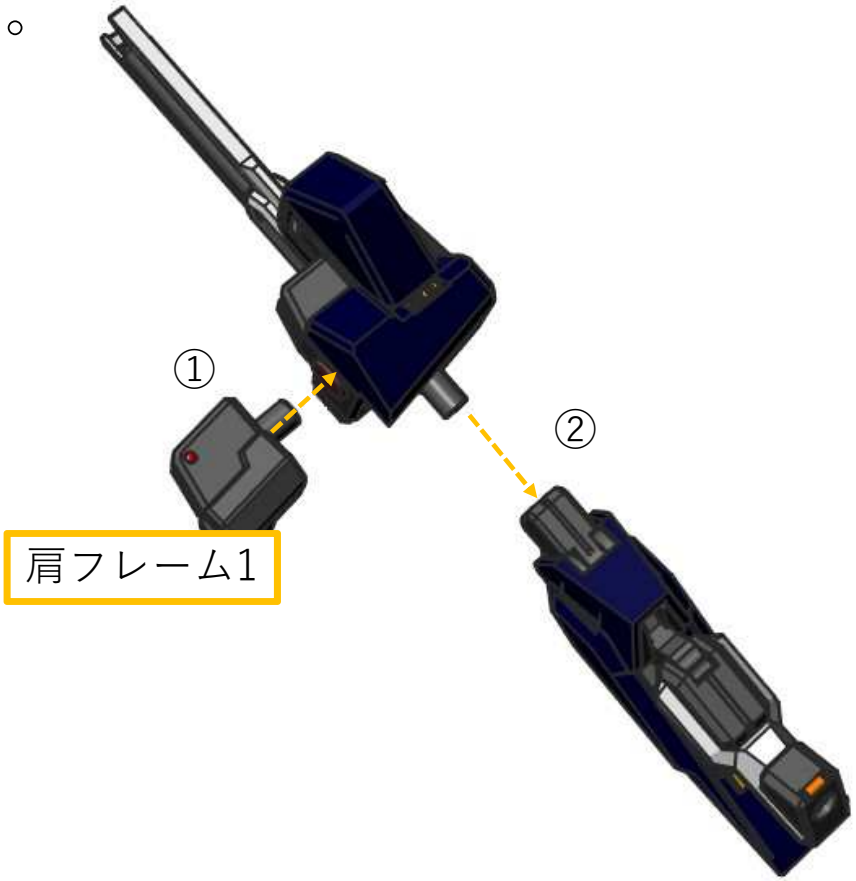


※上図の緑色の部分に瞬着を塗布して接着します。
また、赤線のF16のキワとH7のキワを合わせてください。

左腕部9　※右腕も対称で作ります。

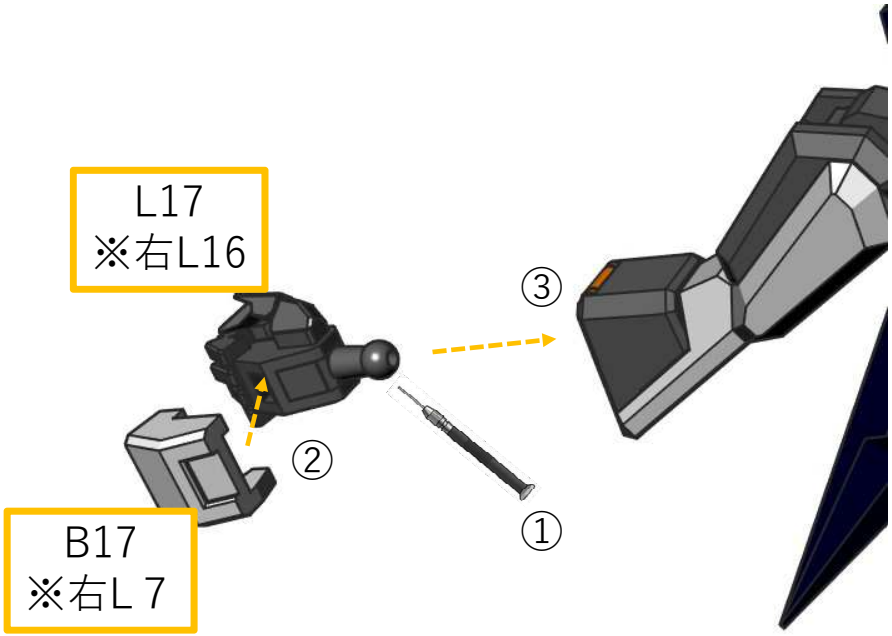


F13の塗りしろを袖に差し込みつつフレームの溝に合わせて接着します。

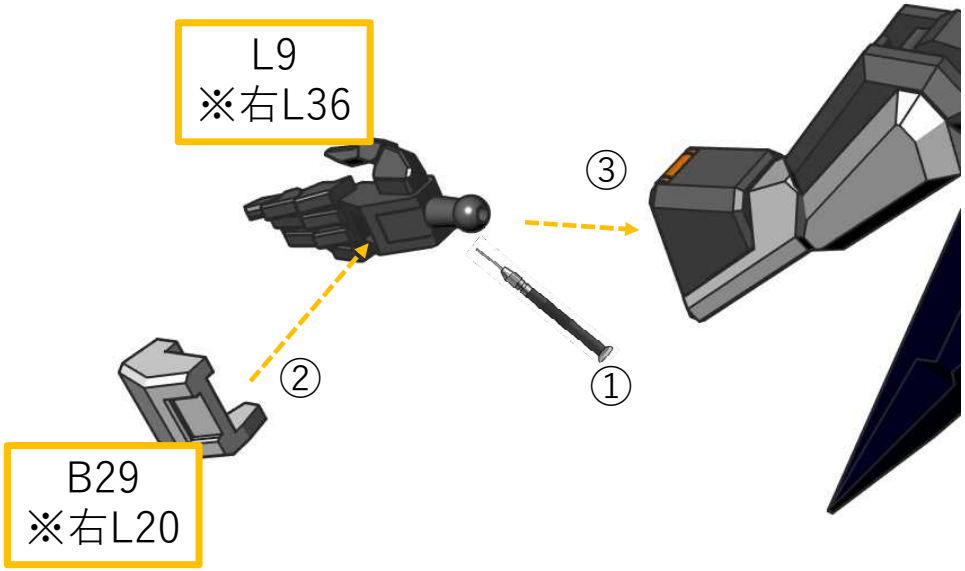


①肩側の3mmポリに挿入します。
②関節技BJ中の軸を上腕に接着します。※あらかじめ何回か抜き差ししてみて、奥まで十分差し込めることを確認してから接着してください。

左腕部10　※右腕も対称で作ります。

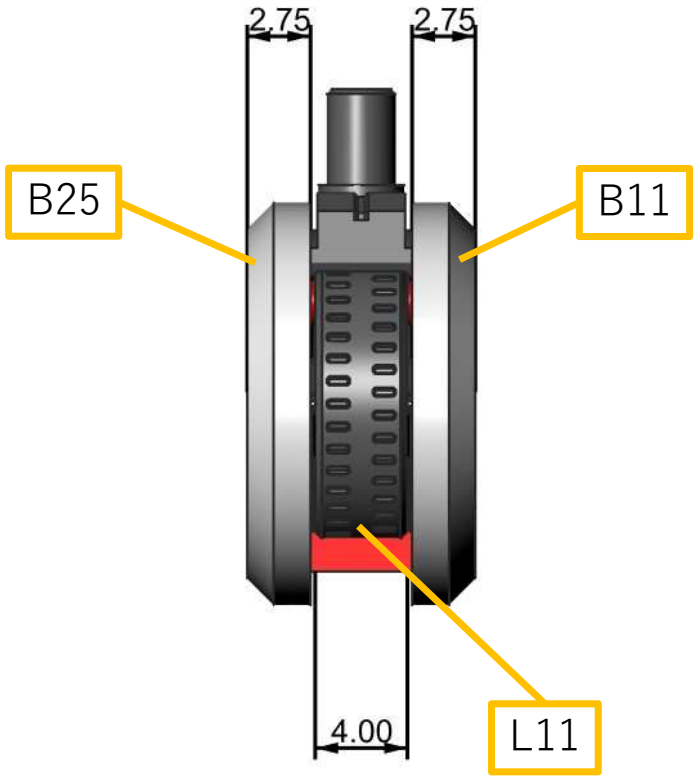


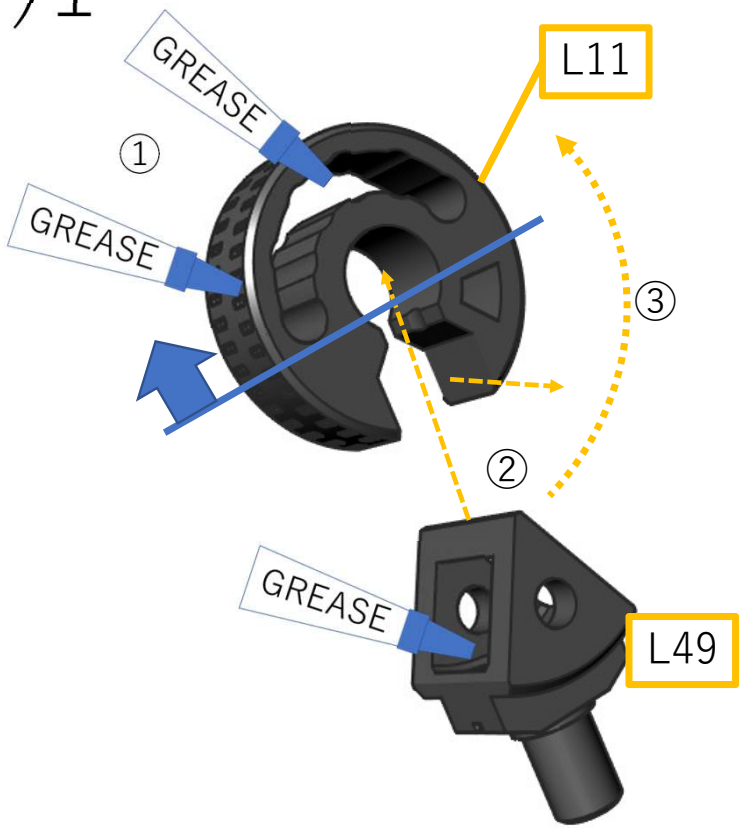
①1.1mmドリルでL17の軸穴をトレースし、1mm真鍮線を
インサート接着します。
②B17をL17に接着します。
③下腕に挿入します。



①1.1mmドリルでL9の軸穴をトレースし、1mm真鍮線を
インサート接着します。
②B29をL9に接着します。
③下腕に挿入します。

ドラムフレーム(トップ)1

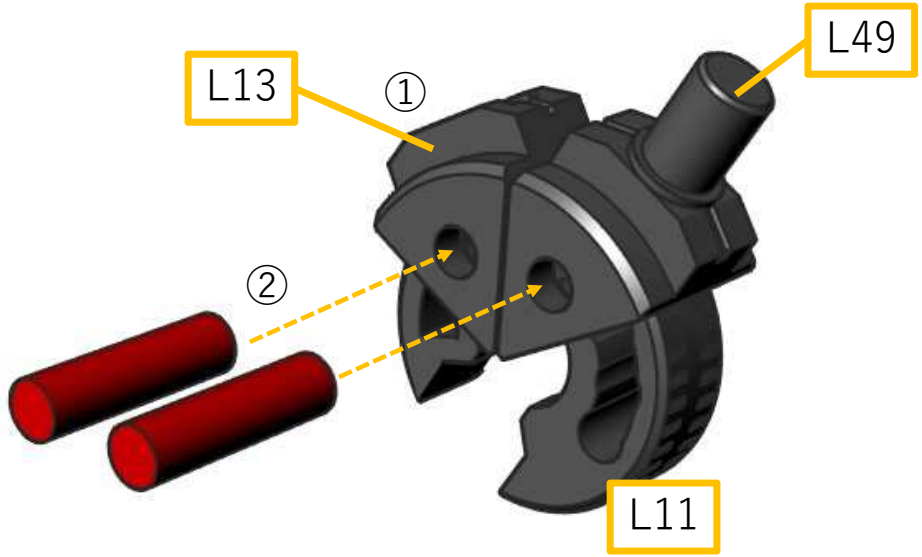


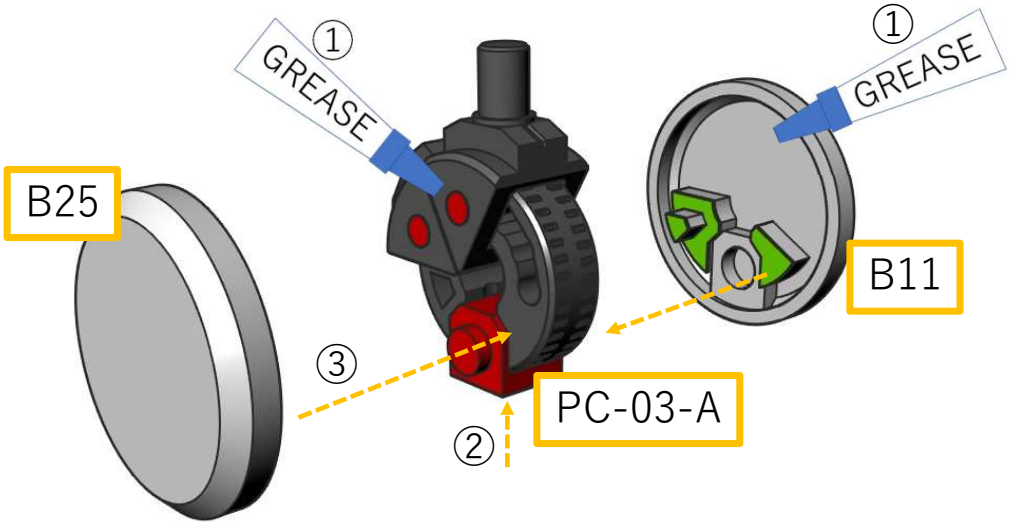


事前準備として、L17、B25、B11はサポート材がついている面を平行に回しながらペーパーで削り、上記厚さになるように整面してください。

①L11の青線より上の部分にこれでもかとグリスを塗りたくります。
②L49の裏面にもグリスを塗布し、まずL11の中心方向に差し込みます。**※L11の向きに注意してください。**
③続いて、L11の円形に沿ってL49をくぐらせながらスライドさせます。

ドラムフレーム(トップ)2

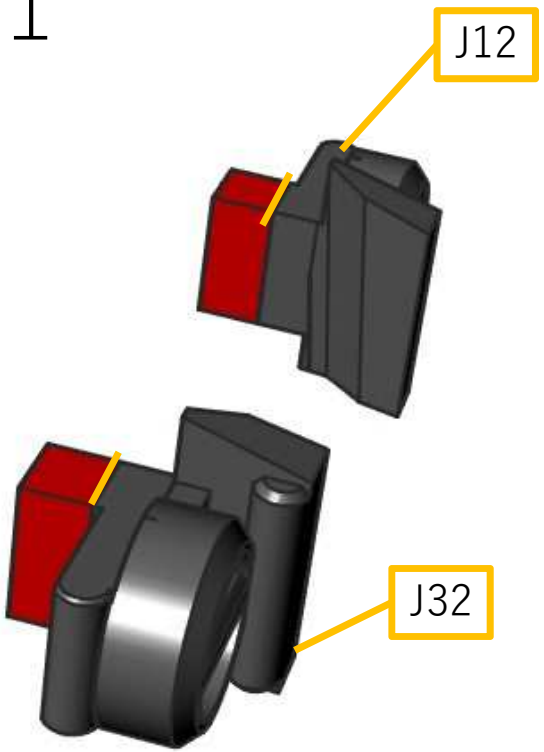




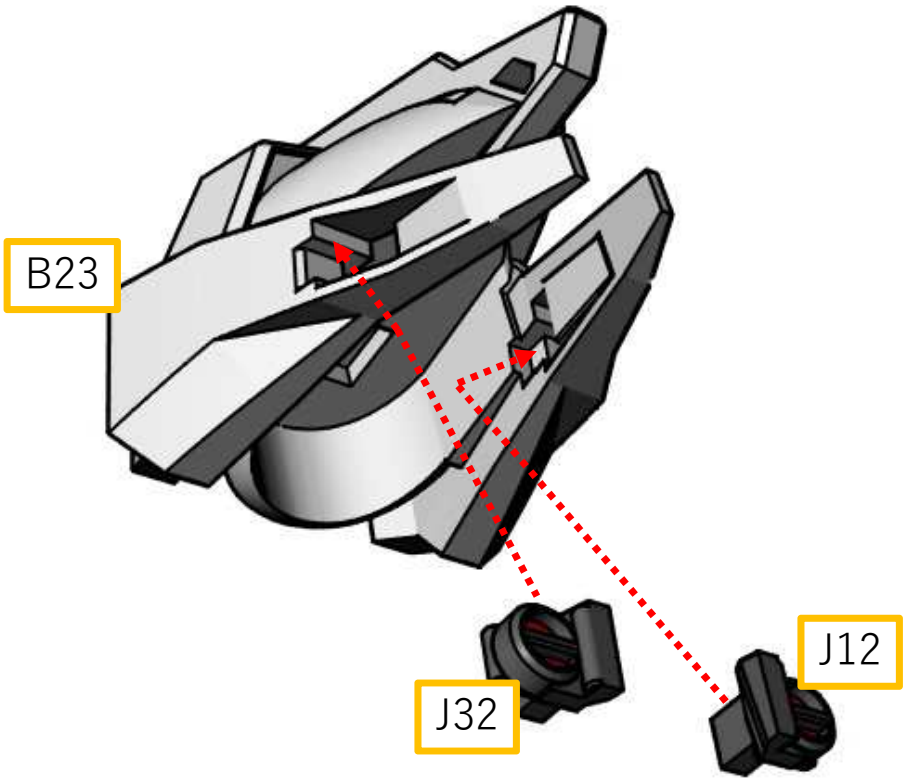
①前項と同じ要領でL13をL11に挿入します。※L11の向きに注意！！
②2mmポリ棒をL49、L13に挿入し、L11を貫通させます。**※ここでL49、L13がスムーズに動くことを確認してください。必要に応じてグリスアップしてください。**

①ジョイントの側面部分、B11、B25の裏面にグリスを塗布します。
②PC-03-Aの軸を1mmだけ残してカットし、上図の位置に合わせます。
③B11とB25でドラムコアを挟み込みます。**まずは未接着ではめ込んでみて、スムーズに動くことを確認した後、裏面の緑色の部分に瞬着を塗布し、接着します。**

頭部1

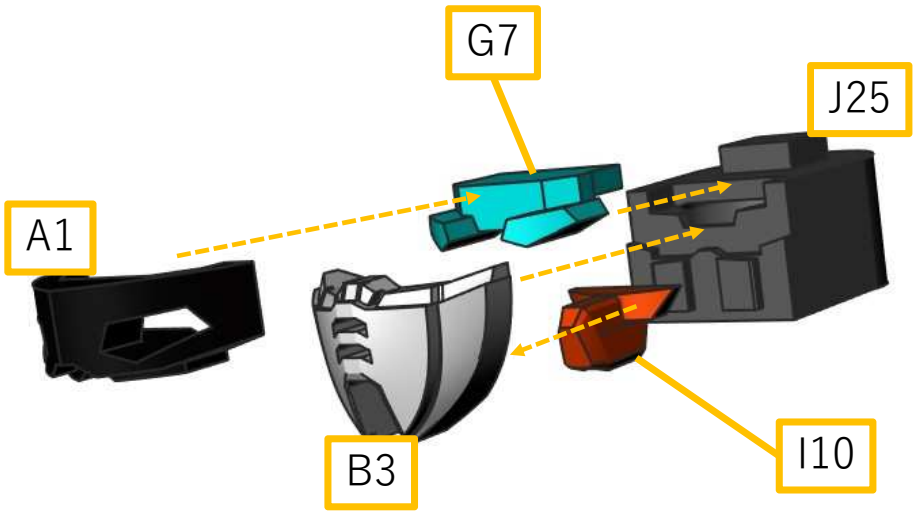


J12とJ32の赤色部分をデザインナイフやペーパー等で削ってください。

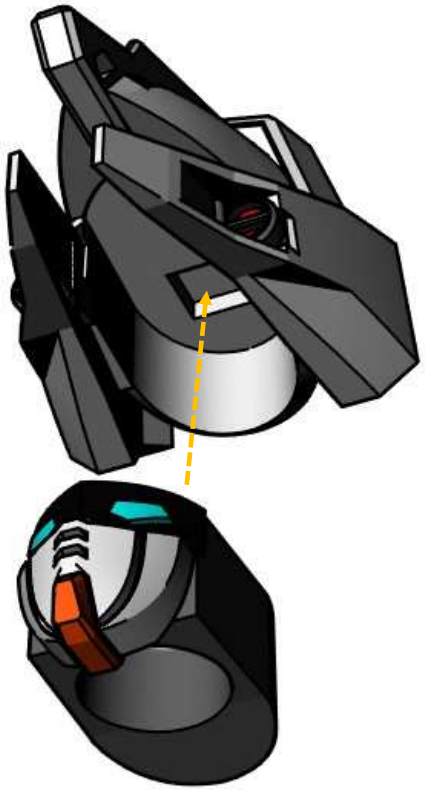


①J12、J32をB23の下からくぐらせて接着します。**※ここはクリアランスがシビアなので塗装前にスムーズに着脱できるよう、調整しておいてください。**

頭部2

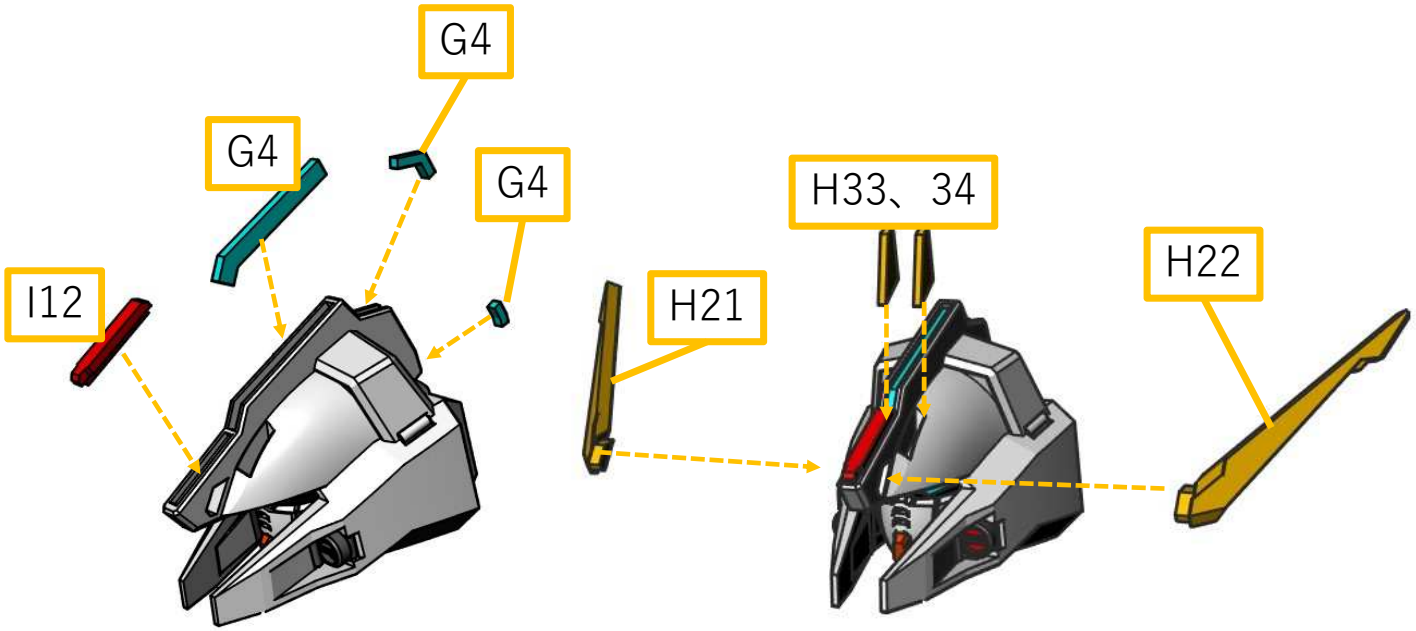


各パーツを接着します。



頭部の内部の窪みにJ25の突起を合わせて接着します。

頭部3

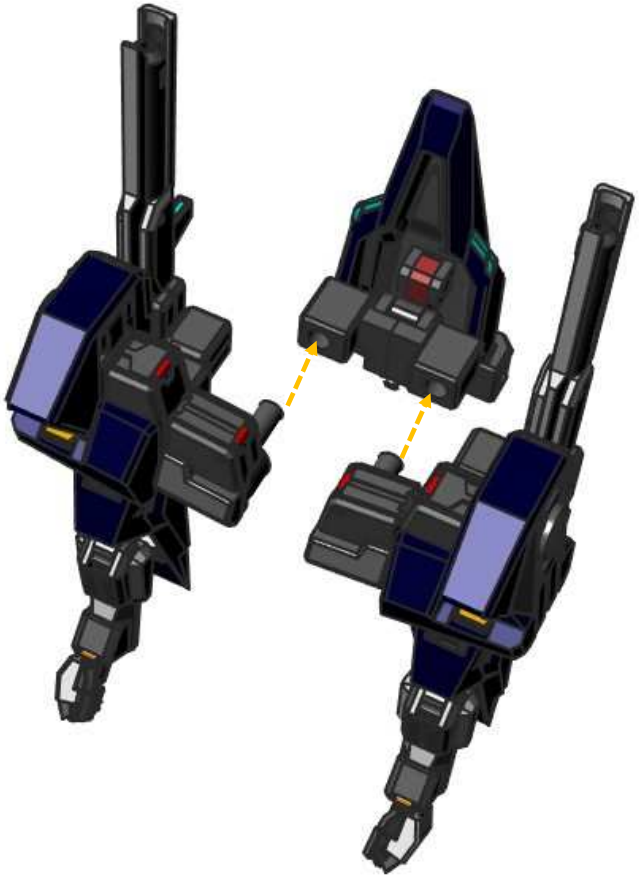


各パーツを接着します。**※すべて非常に小さく、繊細なパーツなので細心の注意を払って作業してください。**

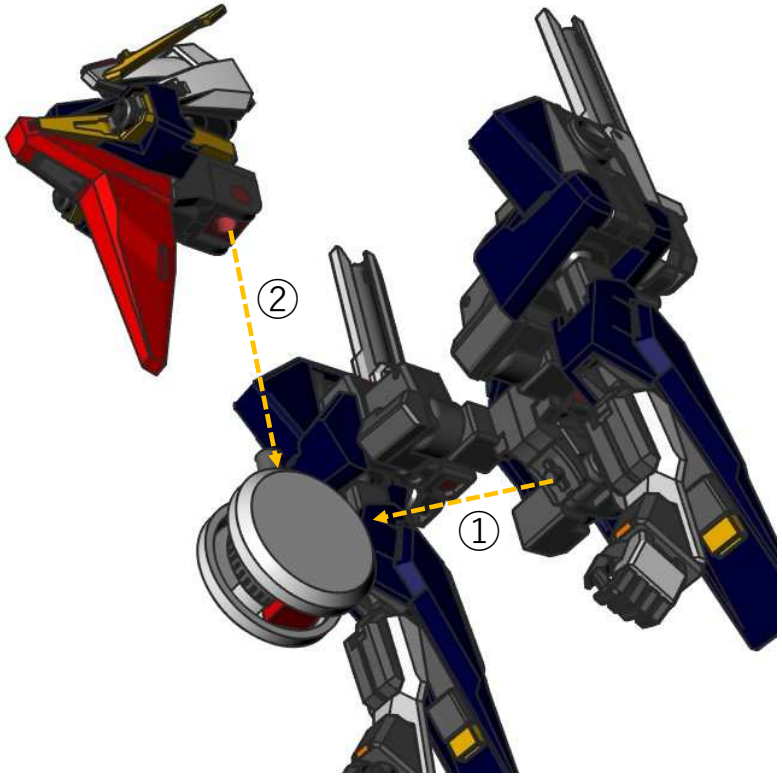
※特にH33、H34はパーツを切り離す際に、飛んでしまわないよう、抑えながら作業すること、仮に飛んでしまってもすぐに見つけられるように作業スペースを整理しておくことを推奨します。

襟側の関節技BJ小を頭部に接着します。

コアトップ



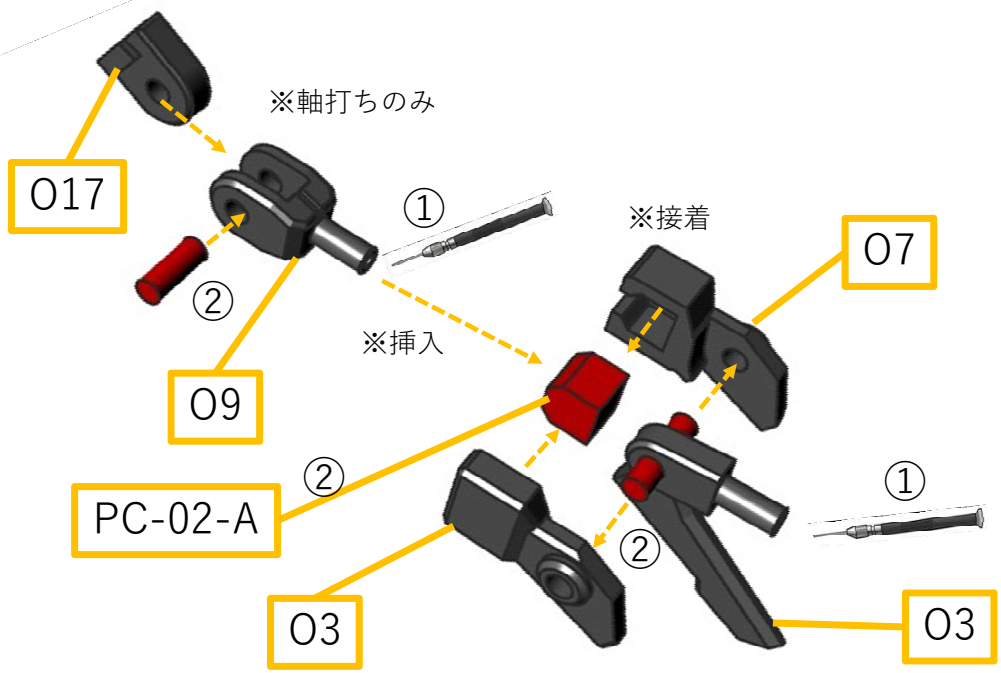
腕部の関節技BJ中の軸をブースター側背骨フレームに接着します。奥まで挿入しきってください

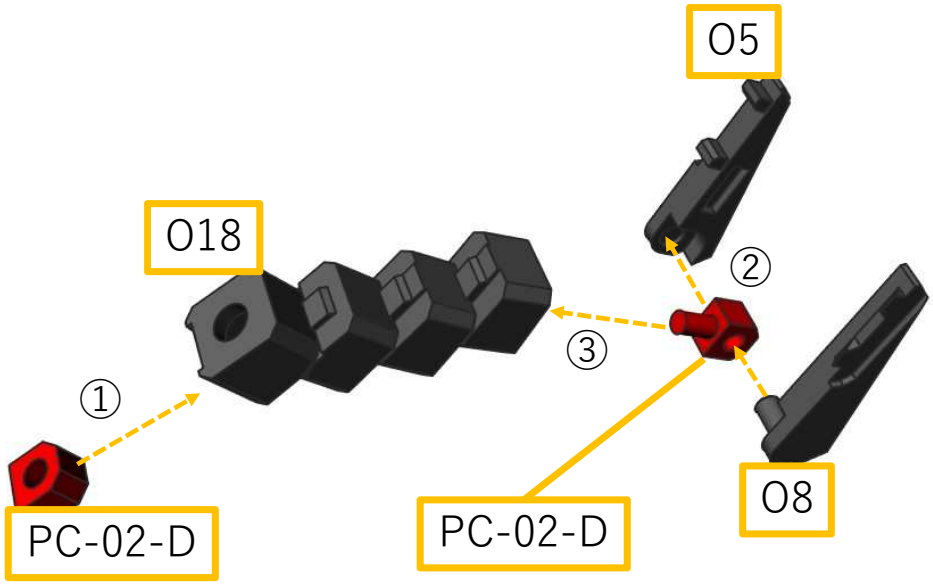


①ブースター側背骨フレームの突起をドラムフレームのジョイントに挿入して接着します。**※接着する前にクリアランスを事前に確認してください。**
②ボディ側PCをドラムフレームのジョイントに挿入します。

シールドブースターの組み立て

シールドブースター1

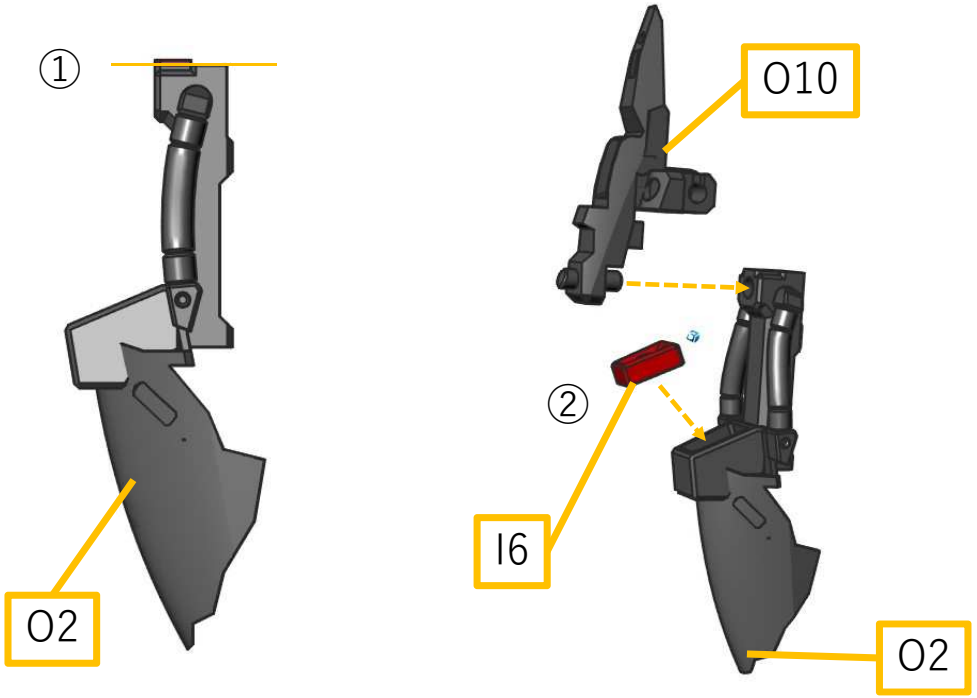




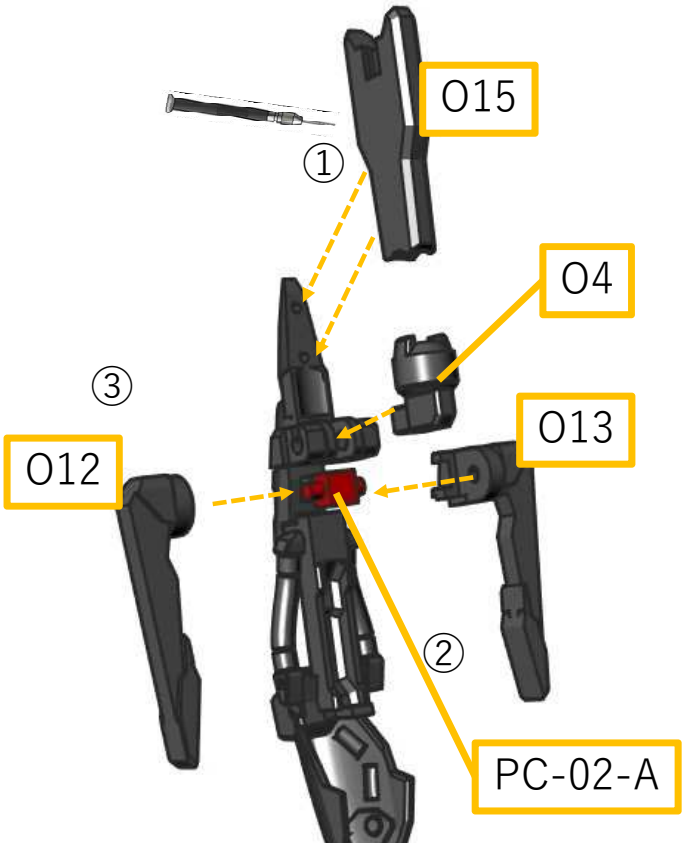
①1.1mmドリルで軸穴をトレースし、1mm真鍮線をインサート接着します。
②2mmポリ棒を軸打ち(長さは現物合わせ)しながら、各パーツを上図のように組み立てます。**※PC-02-Aは軸をすべてカットします。**

①PC-02-Dの軸をカットしたものをO18に挿入します。
②PC-02-Dの軸を2mmほどカットしたものをO5、O8で挟み込んで接着します。
③O18側の穴がゆるい場合、瞬着で調整しつつ、PC-02-Dを挿入します。

シールドブースター2

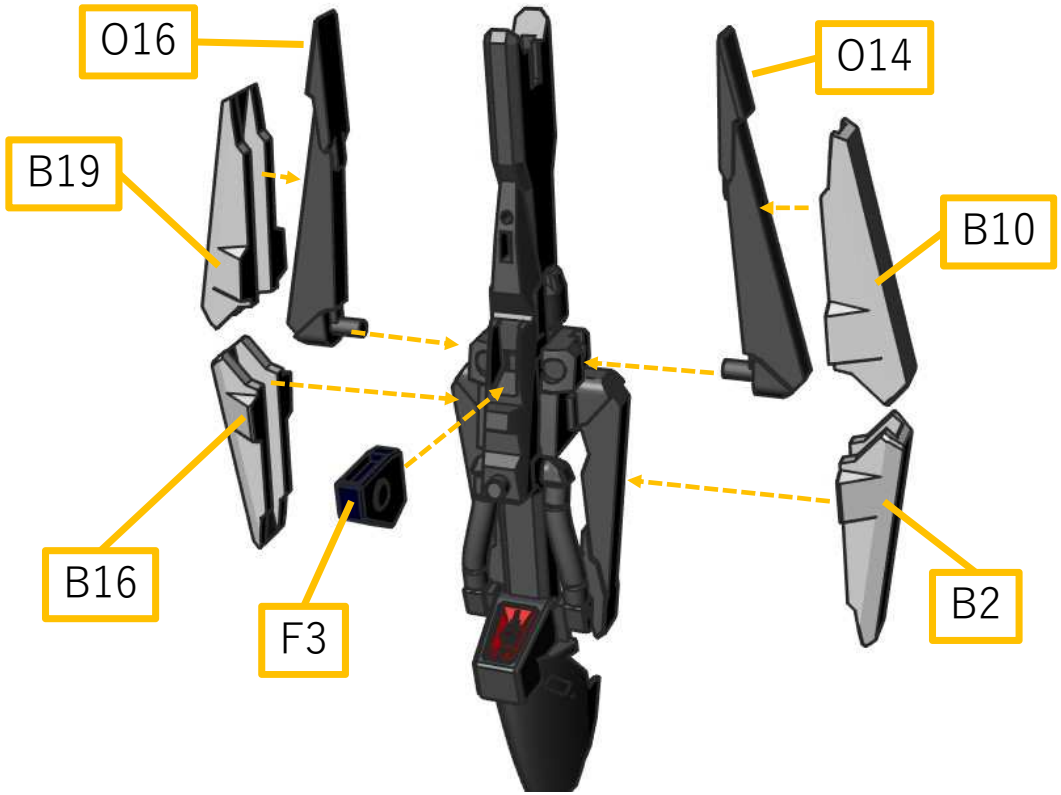


①黄色線から上の赤い部分をペーパーやデザインナイフでカットしてください。
②上図のように各パーツを接着します。

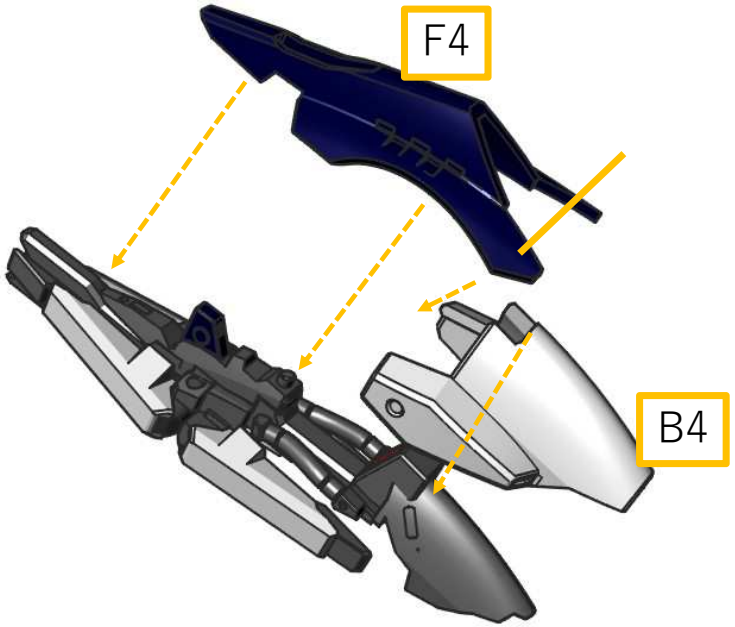


①O15(図の裏面)の穴を1.1mmドリルでトレースし、1mm真鍮線を2mmほど頭が出るようにインサート接着します。
②PC-02-Aの軸を2mmほど残してカットします。
③上図のように各パーツを接着します。
※O12,13,15は歪んでいる場合があります。その場合、熱矯正で修正してください。歪みが大きい場合、何回か矯正を繰り返してください(1～2時間おき)。

シールドブースター3

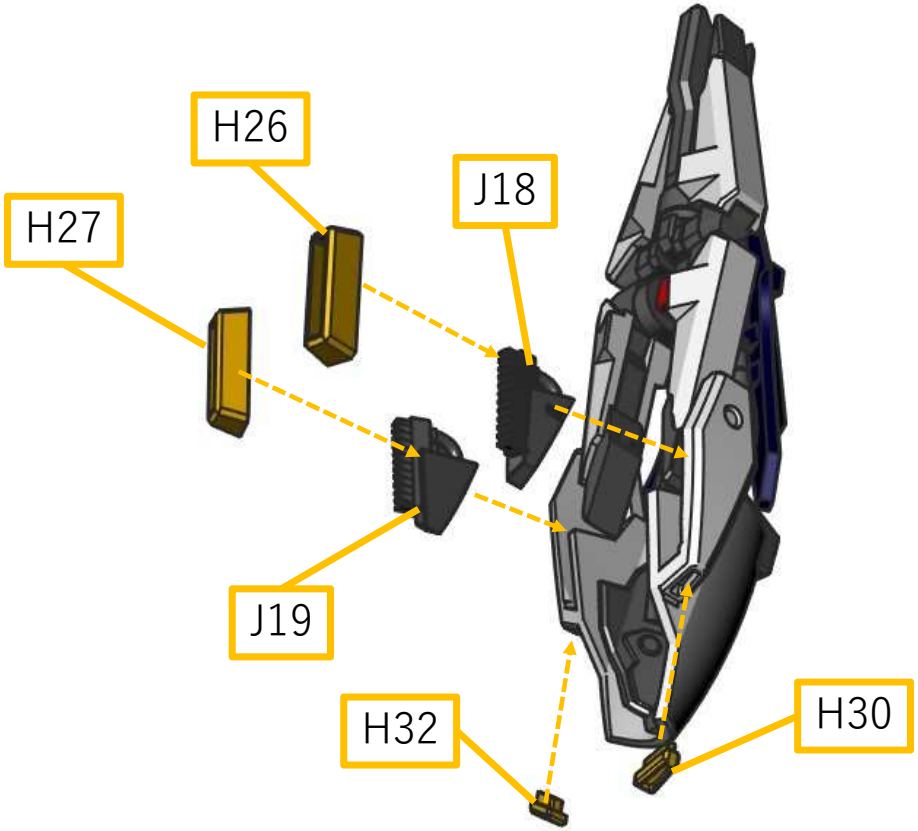


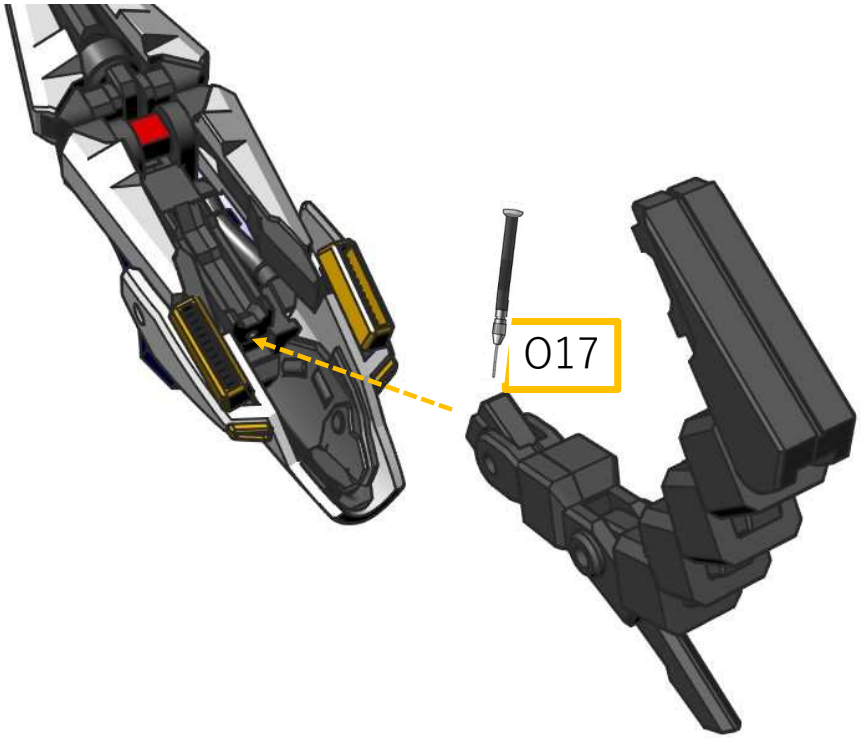
上図のように各パーツを接着します。



上図のように各パーツを接着します。

シールドブースター4

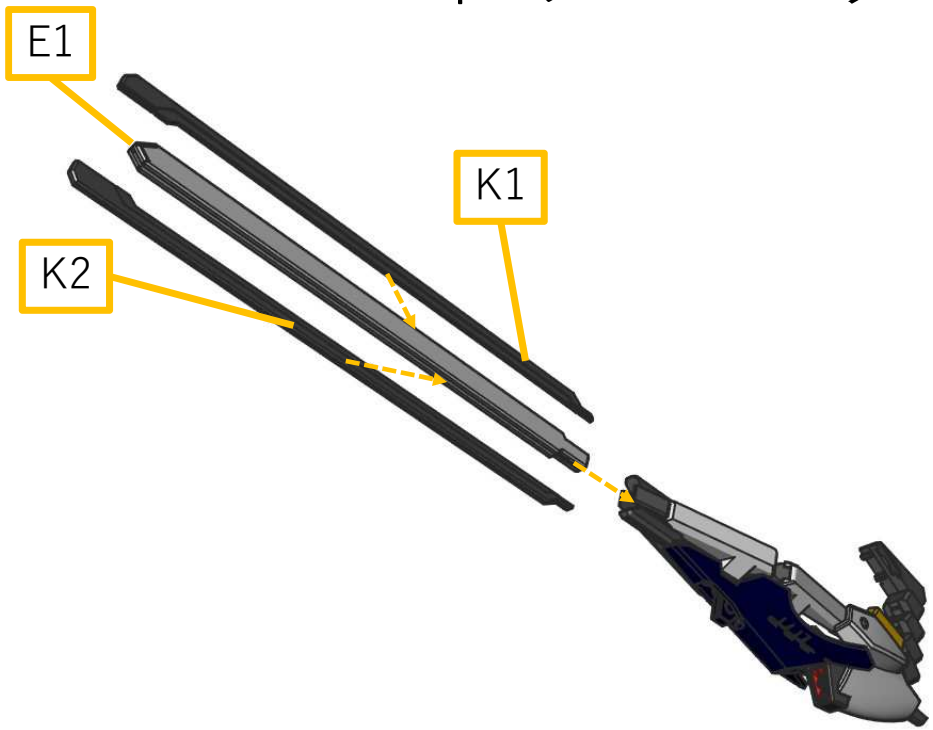


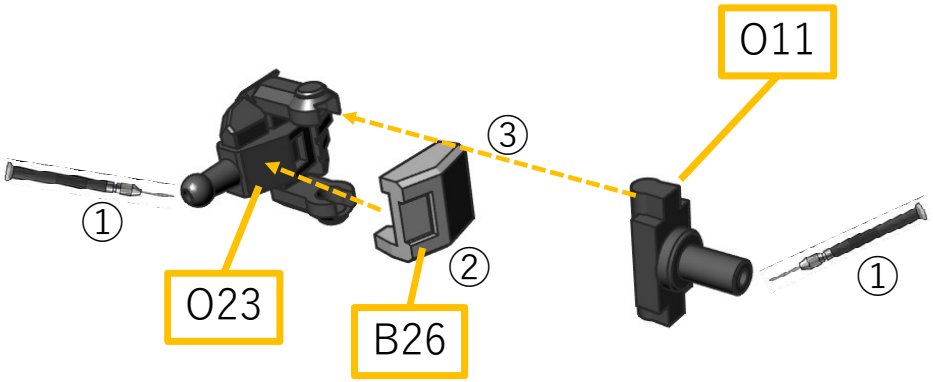


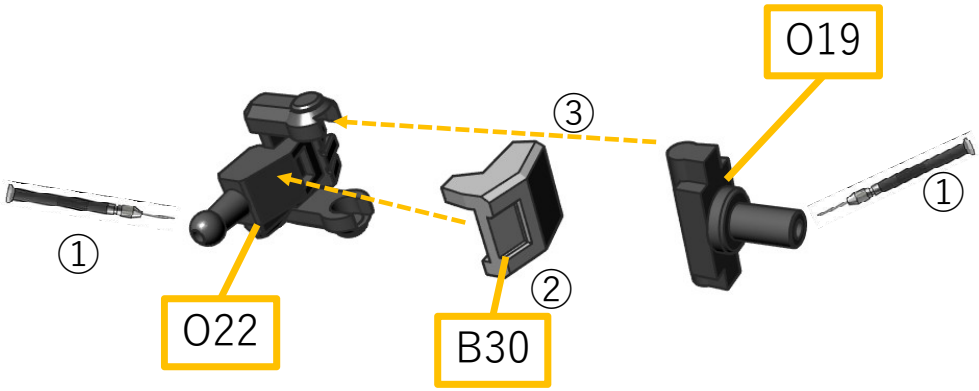
上図のように各パーツを接着します。**※H30とH32はクリアランスがシビアなのでダボを少しデザインナイフ等で削ってスムーズに接着できるように予め調整してください。**

①O17の軸穴を1.1mmドリルでトレースし、1mm真鍮線が2mmほど頭が出るようにインサート接着します。
②上図のように各パーツを接着します。※ボディ側も必要に応じて軸穴を調整してください。

シールドブースター5





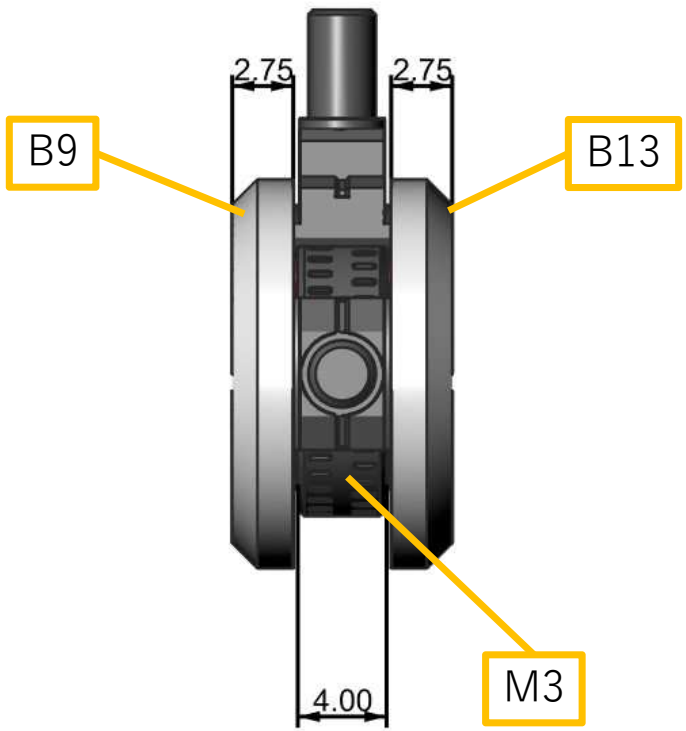


上図のように各パーツを接着します。**※E1、K1、K2は歪んでいる場合があります。その場合、熱矯正で修正してください。歪みが大きい場合、何回か矯正を繰り返してください(1～2時間おき)。**

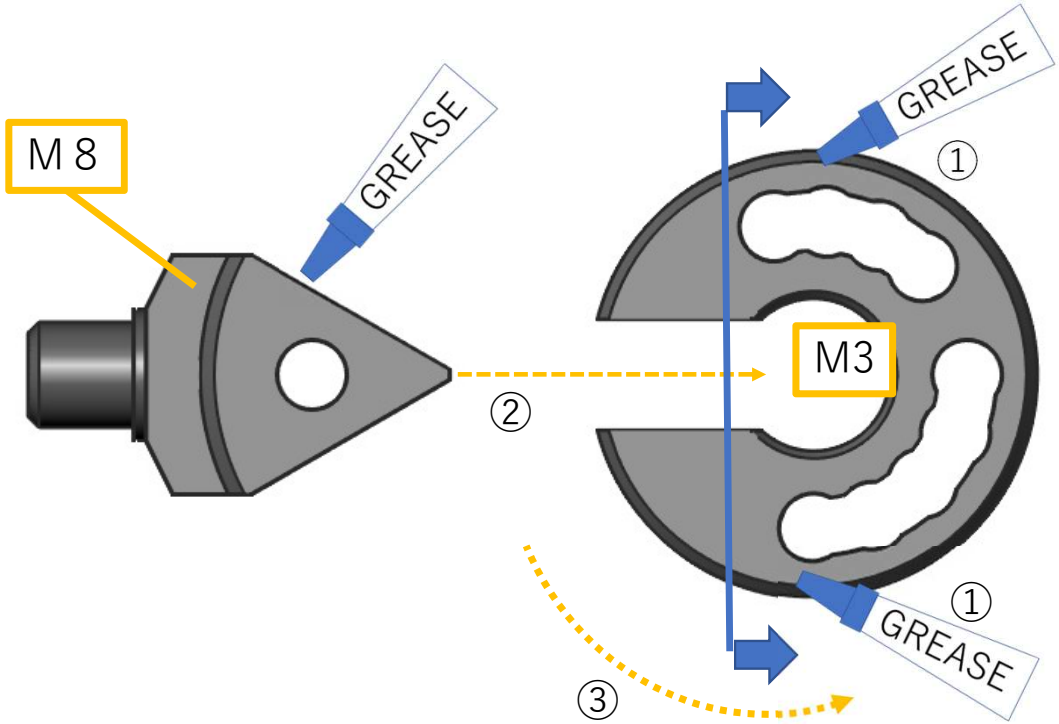
①O11,19,23,22の軸穴を1.1mmドリルでトレースし、1mm真鍮線をインサート接着します。
②、③の順に各パーツを接着します。

コアボトムの組み立て

ドラムフレーム(ボトム)1

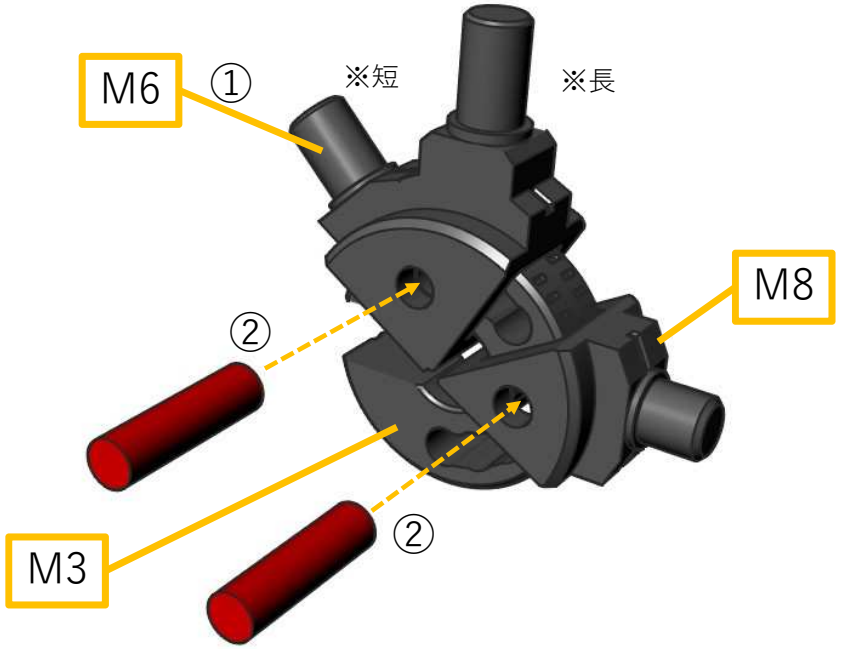


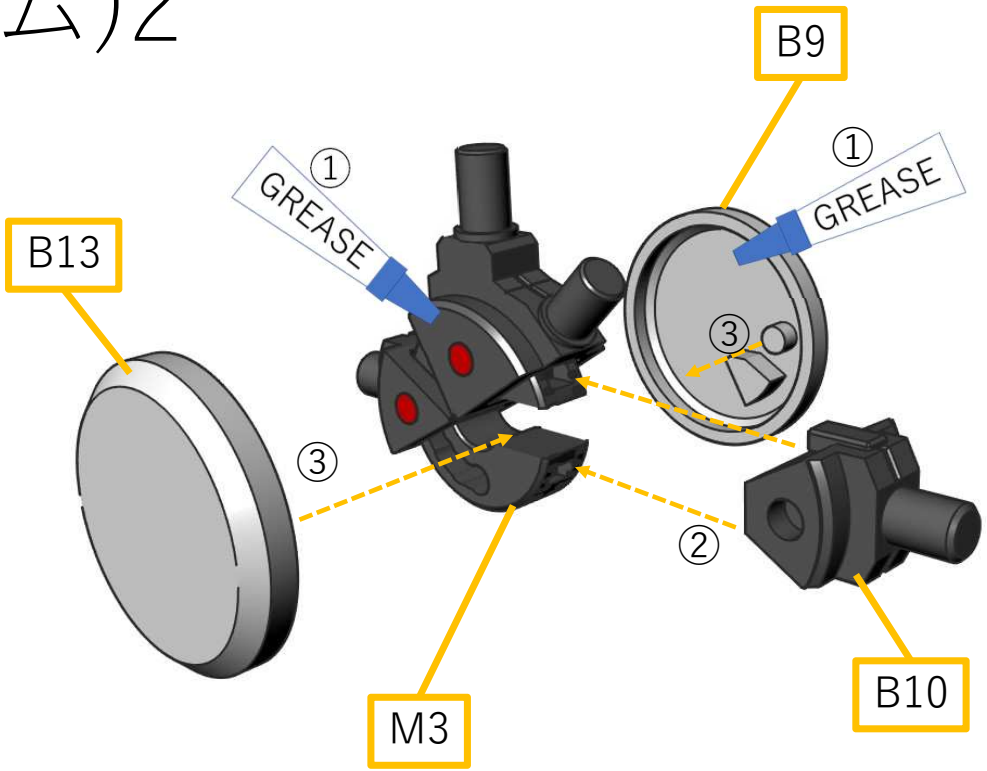
事前準備として、M3、B9、B13はサポート材がついている面を平行に回しながらペーパーで削り、上記厚さになるように整面してください。



①M3の青線より右の部分にこれでもかとグリスを塗りたくります。
②M10の裏面にもグリスを塗布し、まずM3の中心方向に差し込みます。**※M3の向きに注意してください。**
③続いて、M3の円形に沿ってM10をくぐらせながらスライドさせます。

ドラムフレーム(ボトム)2

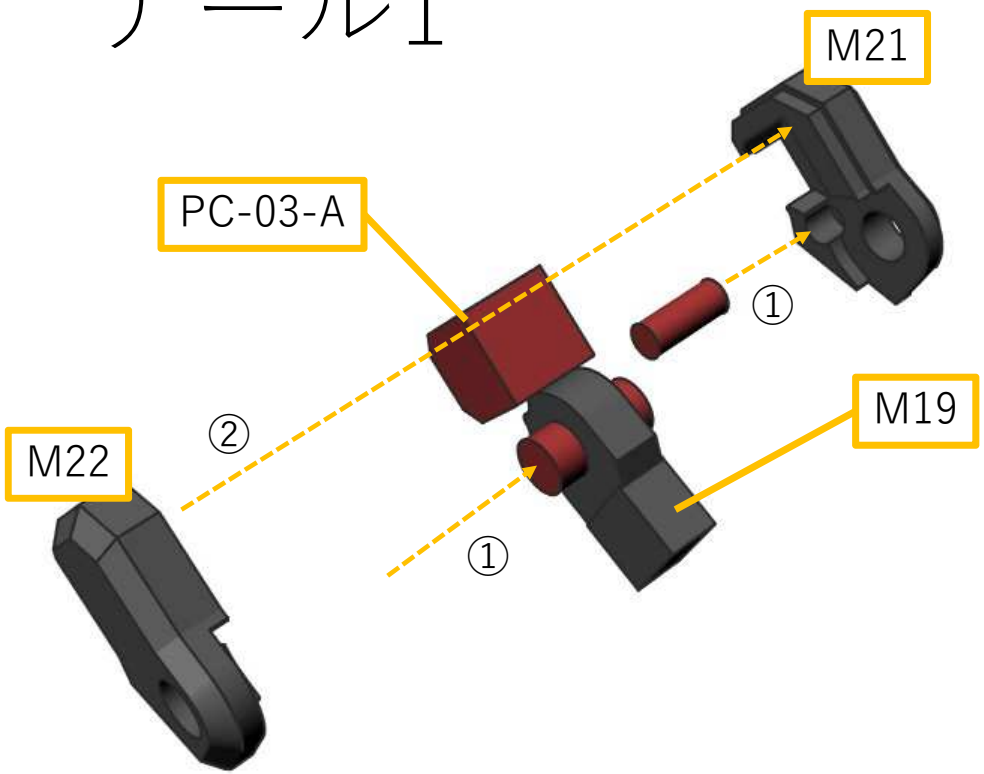


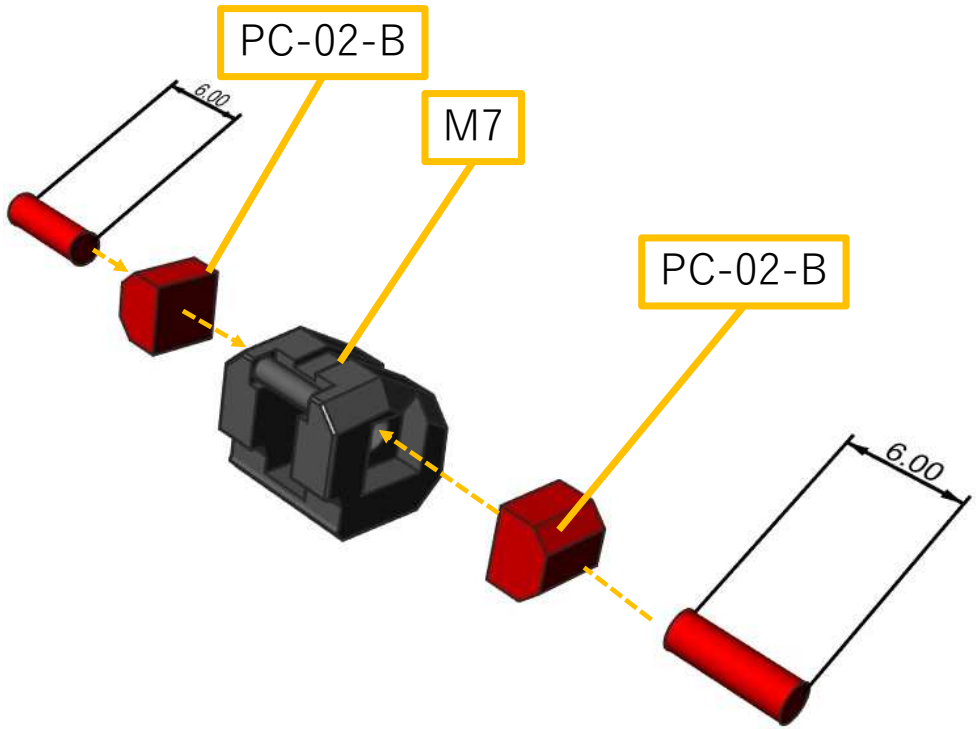


①前項と同じ要領でM6をM3に挿入します。※M3とM6の向きに注意！！
②2mmポリ棒をM6、M8に挿入し、M3を貫通させます。**※ここでM6、M10がスムーズに動くことを確認してください。必要に応じてグリスアップしてください。**

①ジョイントの側面部分、B9、B13の裏面にグリスを塗布します。
②B10のダボをM3の上図の位置に合わせます。
③B9とB13でドラムコアを挟み込みます。**まずは未接着ではめ込んでみて、スムーズに動くことを確認した後、各パーツを接着します。**

テール1

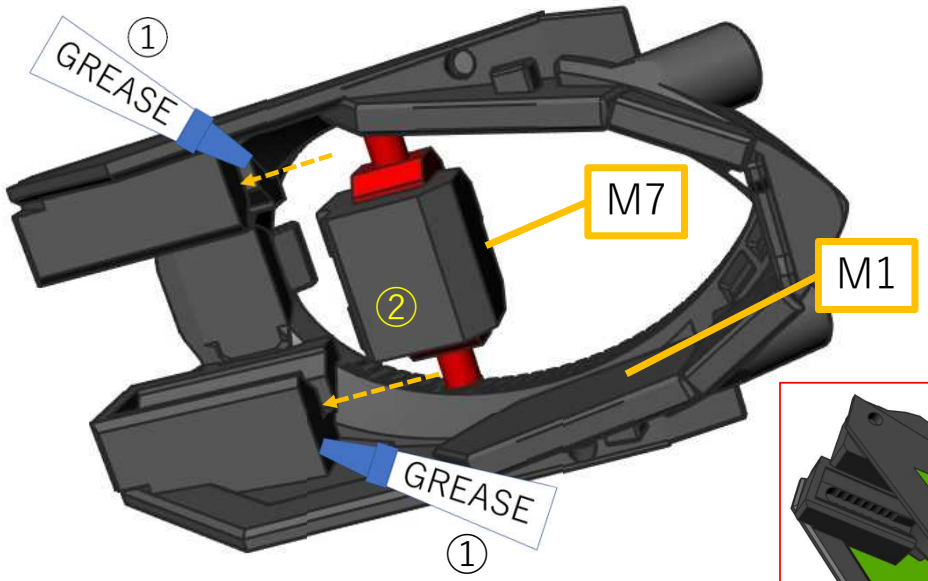




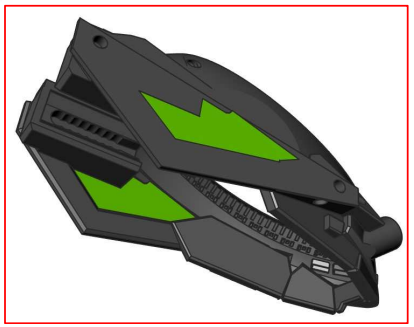
①M19に3mmポリ棒、M21に2mmポリ棒を挿入します。
②M19とPC-03-AをM21とM22で挟み込んで接着します。
※M19の向きに注意！

2mmポリ棒を6mmにカットし、PC-02-B(軸をカット)を貫通させてM7に挿入します。

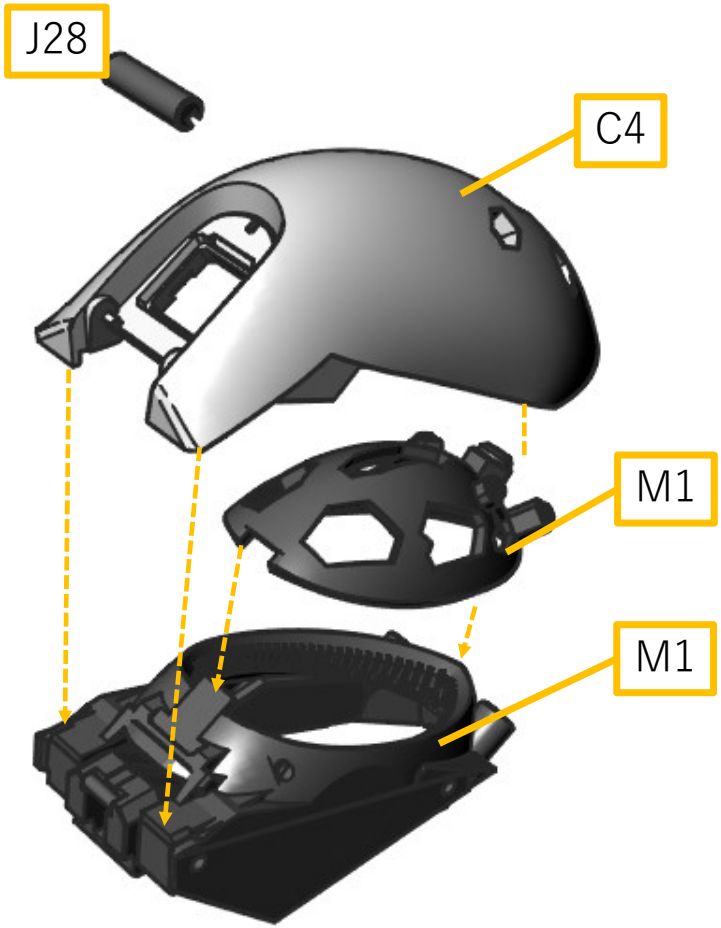
テール2



①M1のスライドレール部にグリスをたっぷり塗布します。
②M7をM1に挿入します。**※スムーズに可動することを確認してください。必要に応じてグリスを追加してください。**

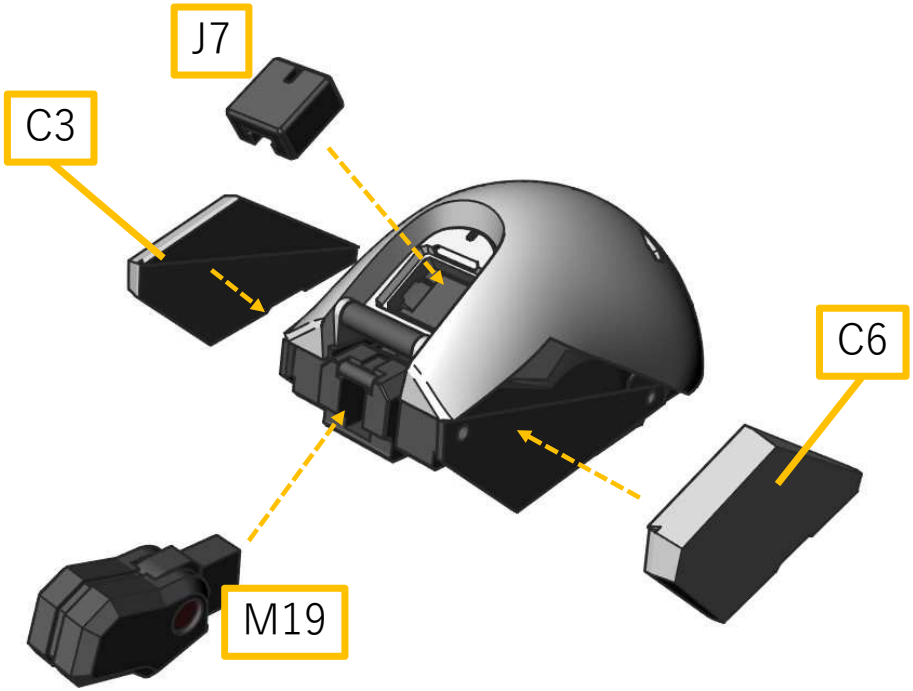


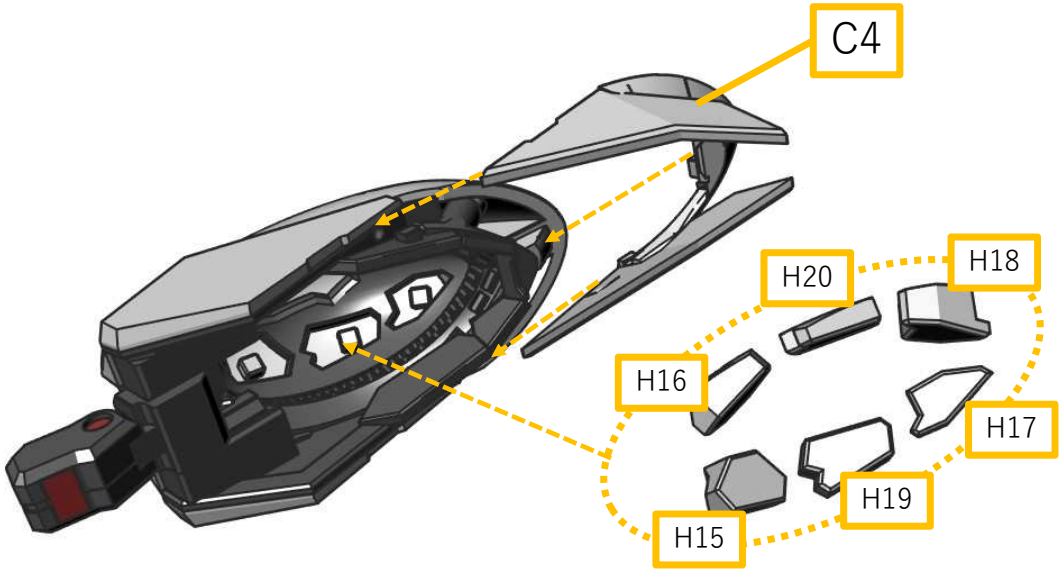
※M１の緑色部分は非常に薄いので割れている場合があります。その場合、デザインナイフで切り抜いてください。（簡単に加工できます）



各パーツを上図のように接着します

テール3

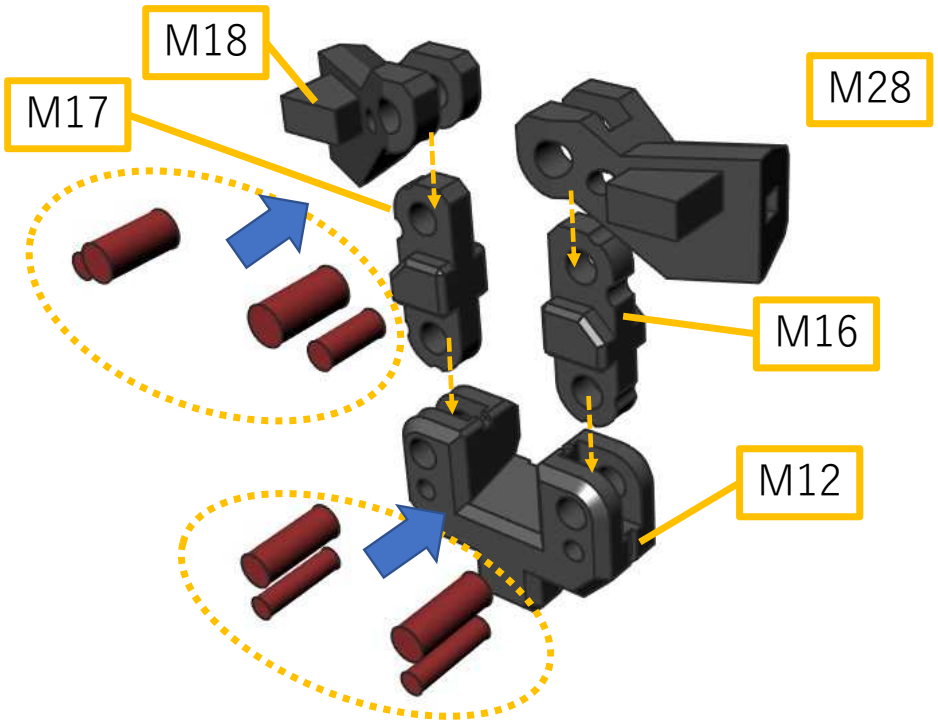




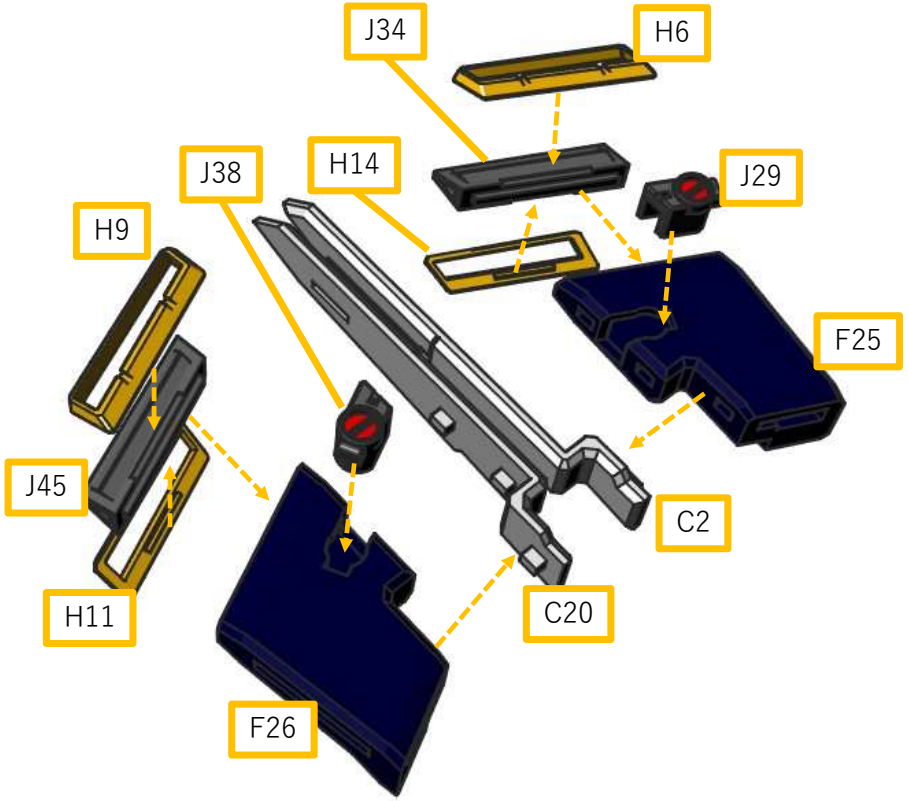
各パーツを上図のように接着します。**※M19は何回か抜き差ししてスームズに挿入できるように調整してください。**

各パーツを上図のように接着、挿入します。**※H16～20は接着剤不要です。**

リアスカート1

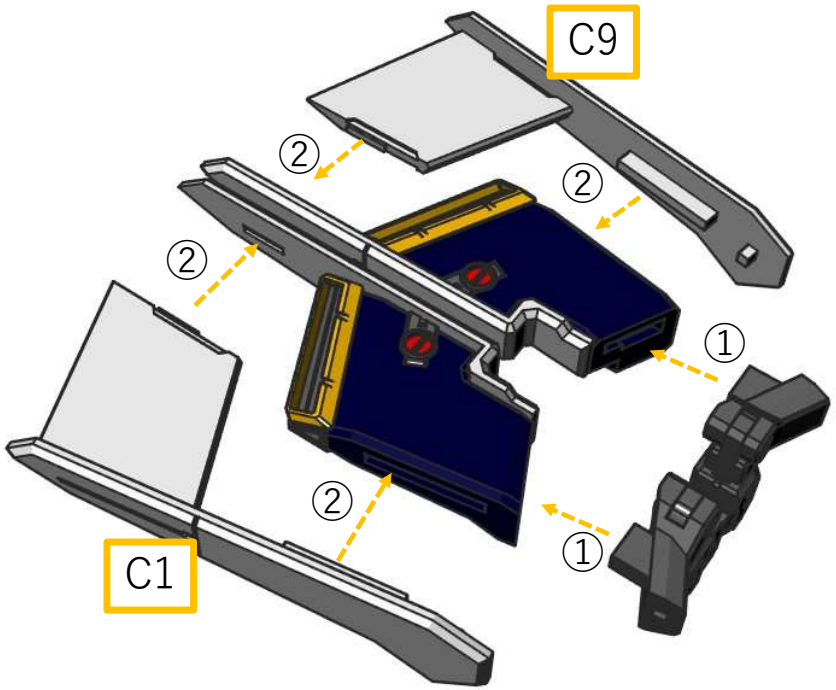


各パーツを上図のように組み合わせて2mm,3mmポリ棒を挿入します(現物合わせ)。※2mmポリを先に挿入してください。

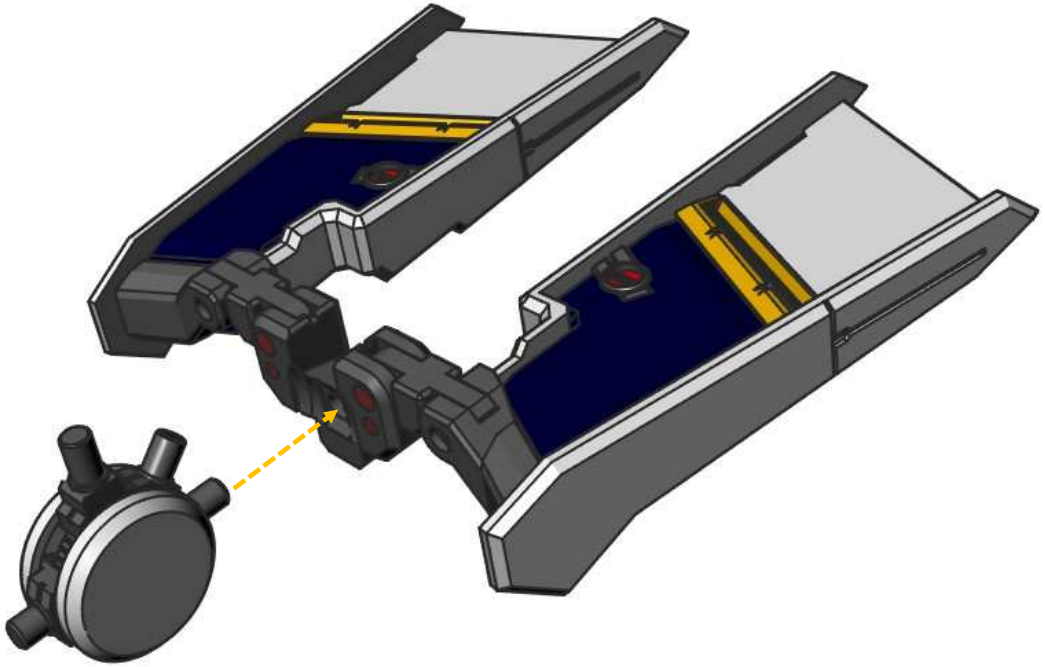


各パーツを上図のように接着、挿入します。

リアスカート2



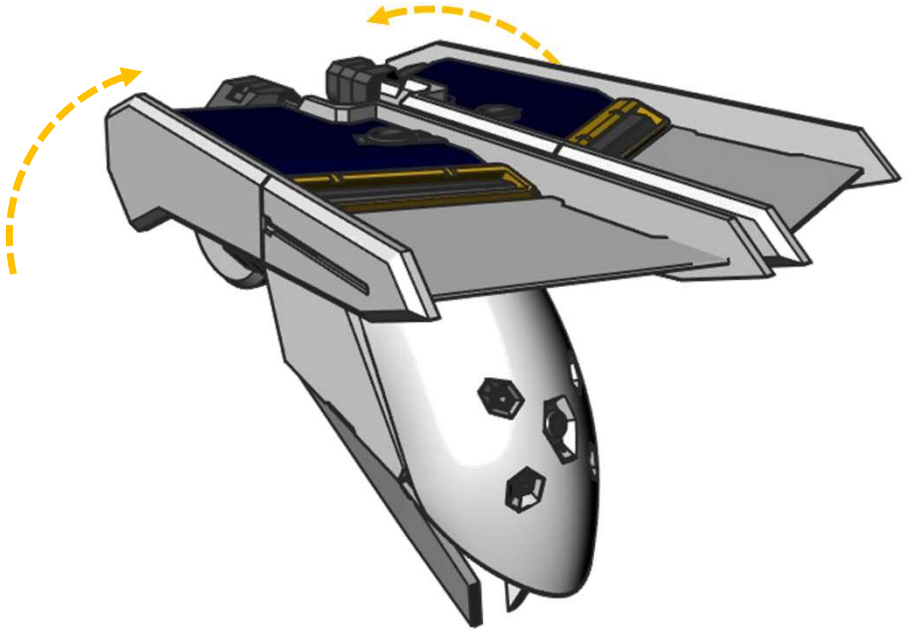
各パーツを上図のように組み合わせて①、②の順に接着します。



ドラムフレームを上図のように接着します。

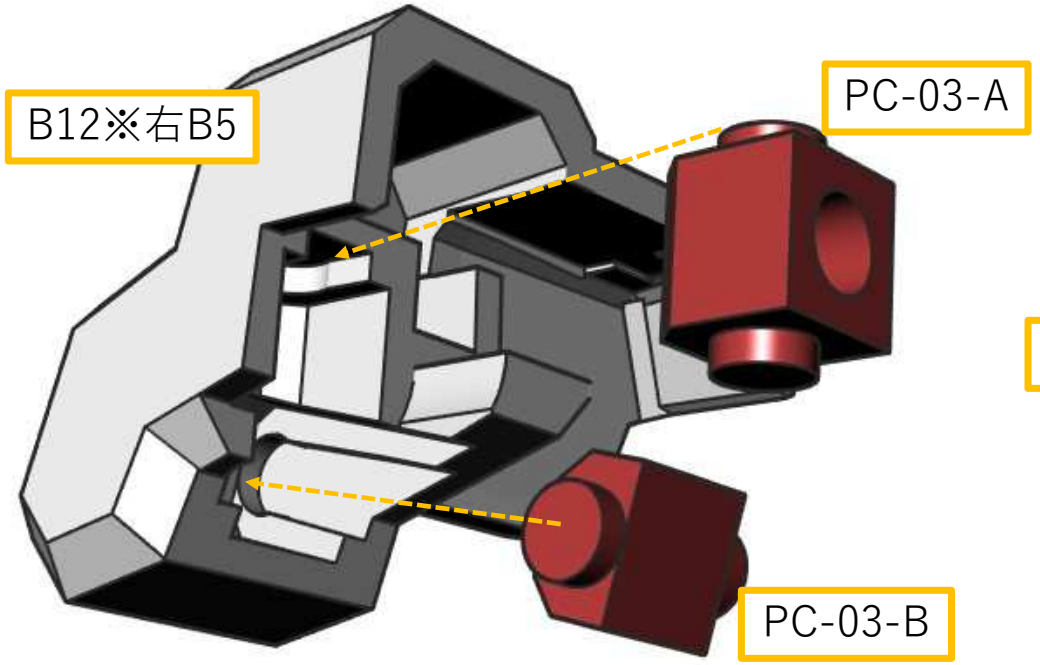
リアスカート3

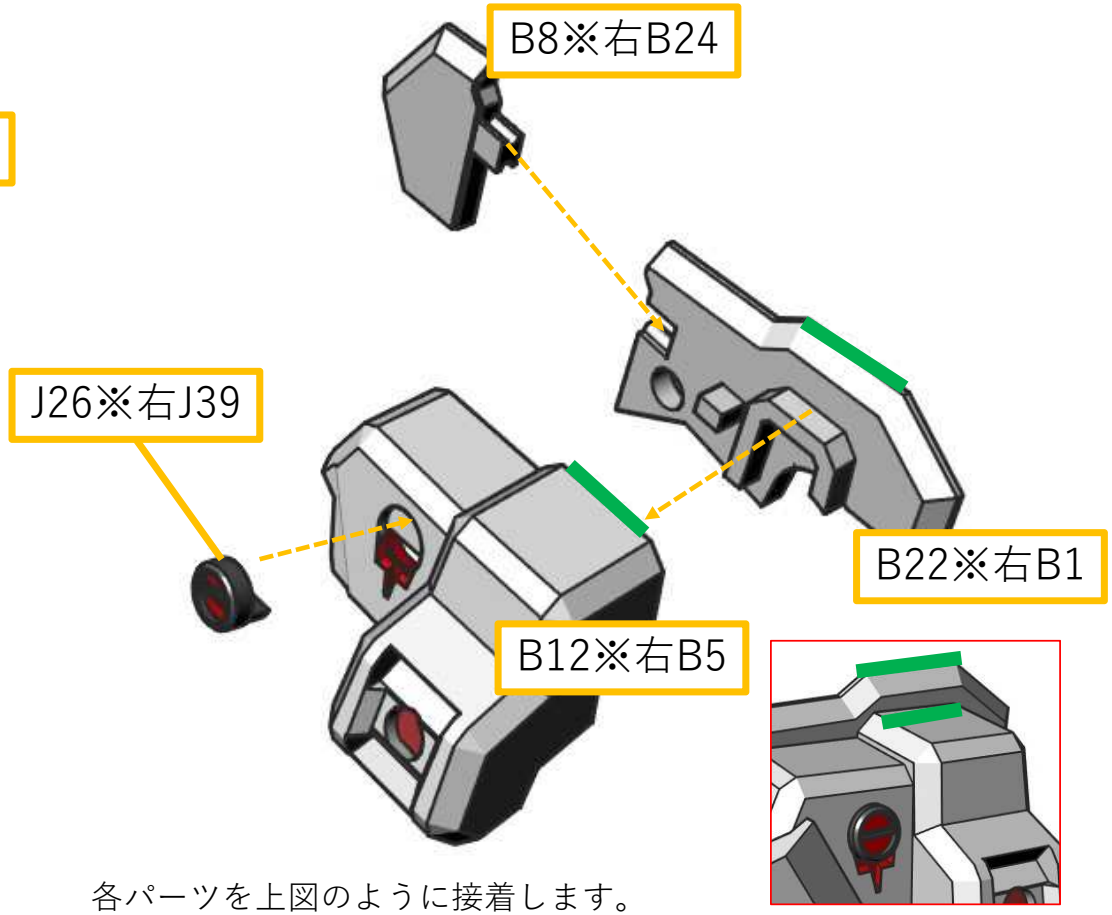
テールブースターをドラムフレームに挿入します。



スカートのクランクを可動させて、テールの上方に跳ね上げます。

フロントスカート左1 ※右側も対称で作ります。

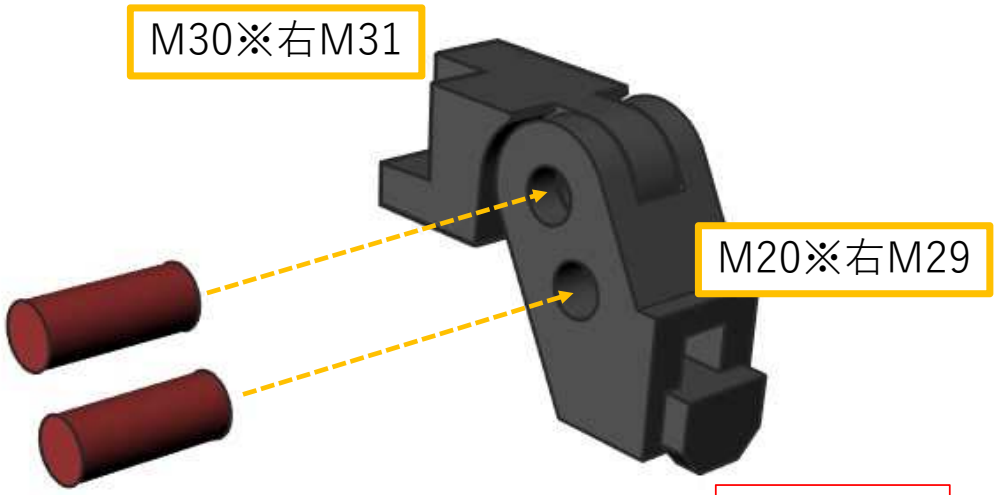




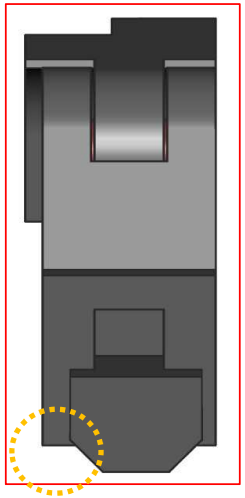
PC-03-A、PC-03-Bの軸を1mm程残して、上図のように挿入します。**※軸部分をアルテコ等の瞬着パテで固定してはずれないようにしてください。**

各パーツを上図のように接着します。
※B12とB22の緑線部分が平行になるように気をつけてください。

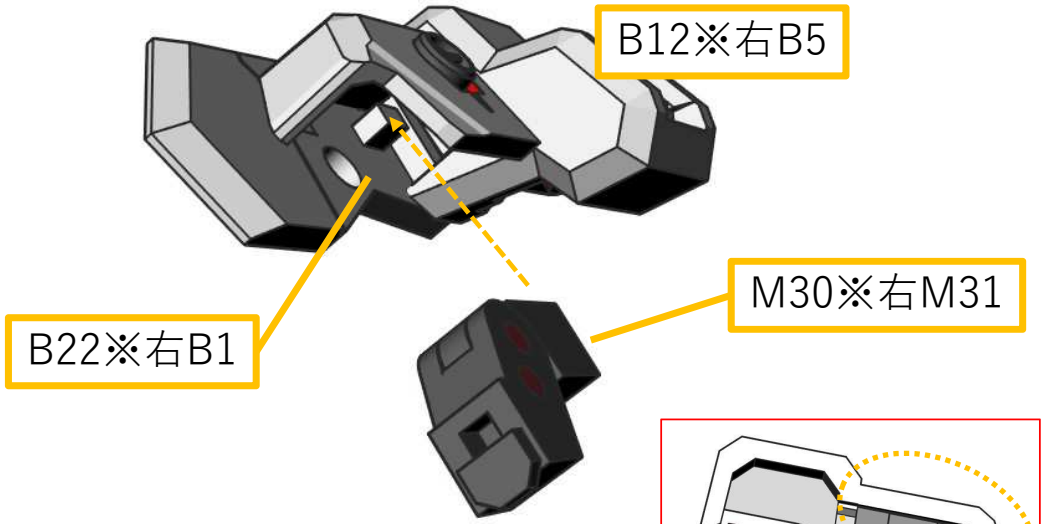
フロントスカート左2 ※右側も対称で作ります。



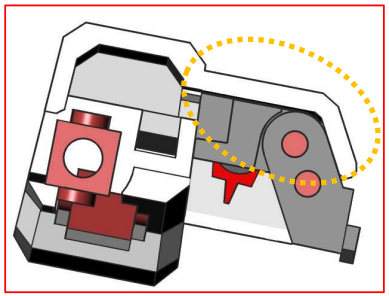
M20とM30を上図のように組み合わせて2mmポリ棒を挿入します。**※M20の向きを確認してください。**



※内側が広い

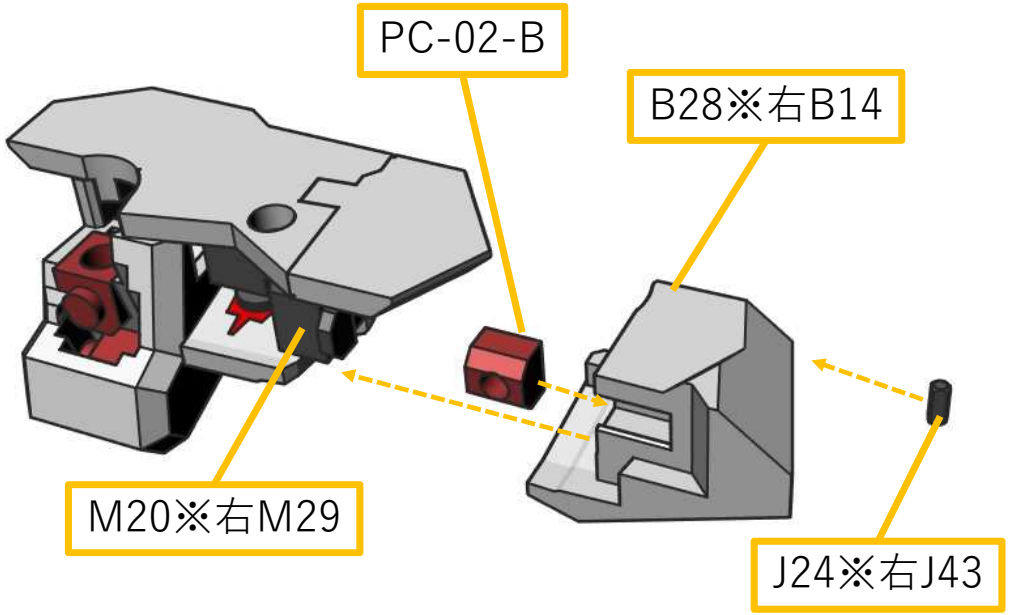


M30の窪みをB22のダボに合わせて接着します。
※M30とM20がB12の内壁にちょうど沿うように気をつけてください。

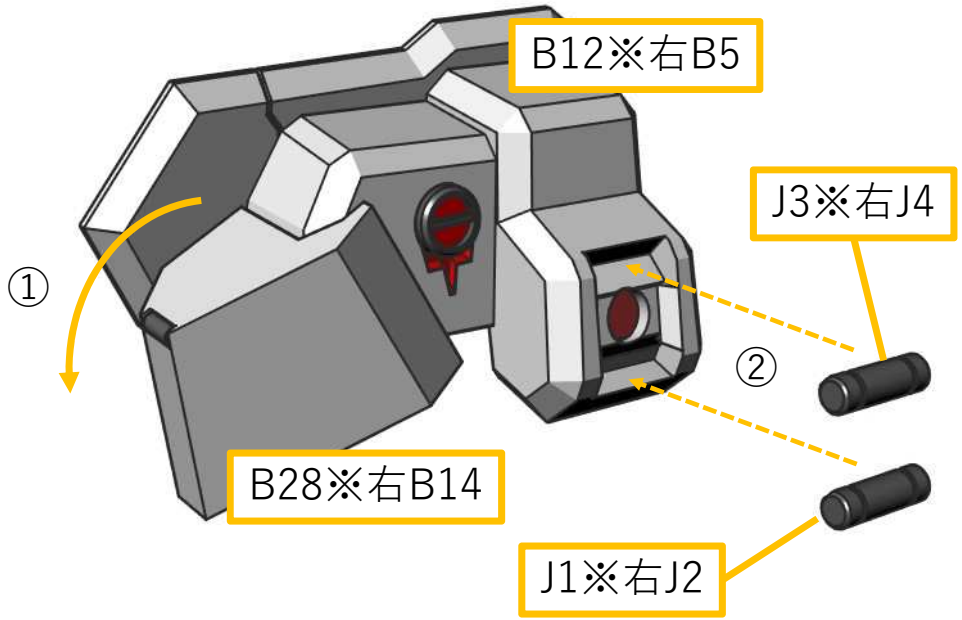


※B22を透過して内側から見た図

フロントスカート左3 ※右側も対称で作ります。

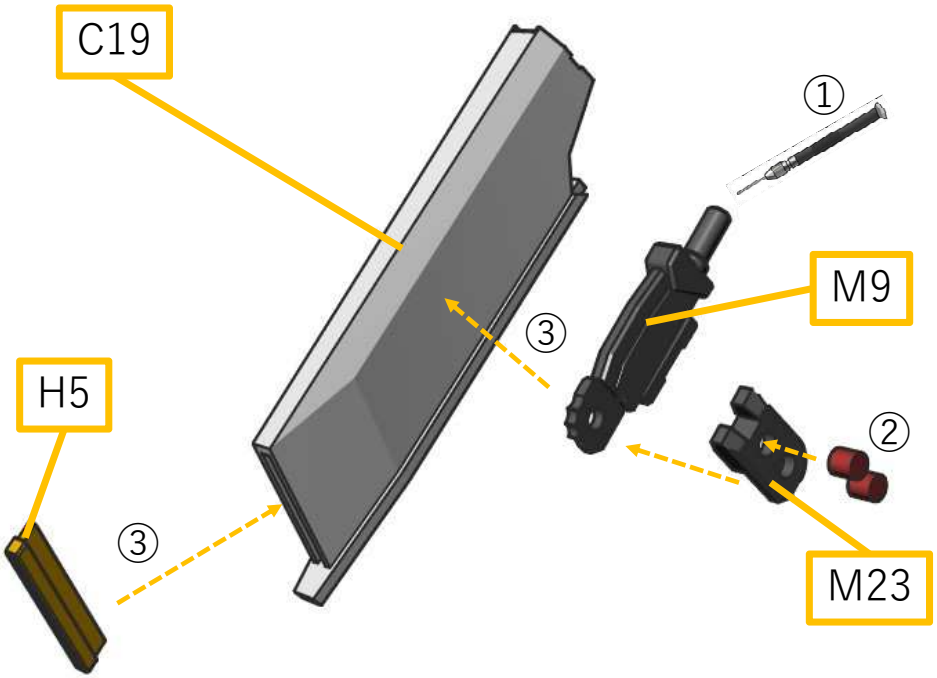


PC-02-Bの軸をカットし、B28に挿入し、そのままM20のダボに合わせて接着します。また、J24をB28に接着します。

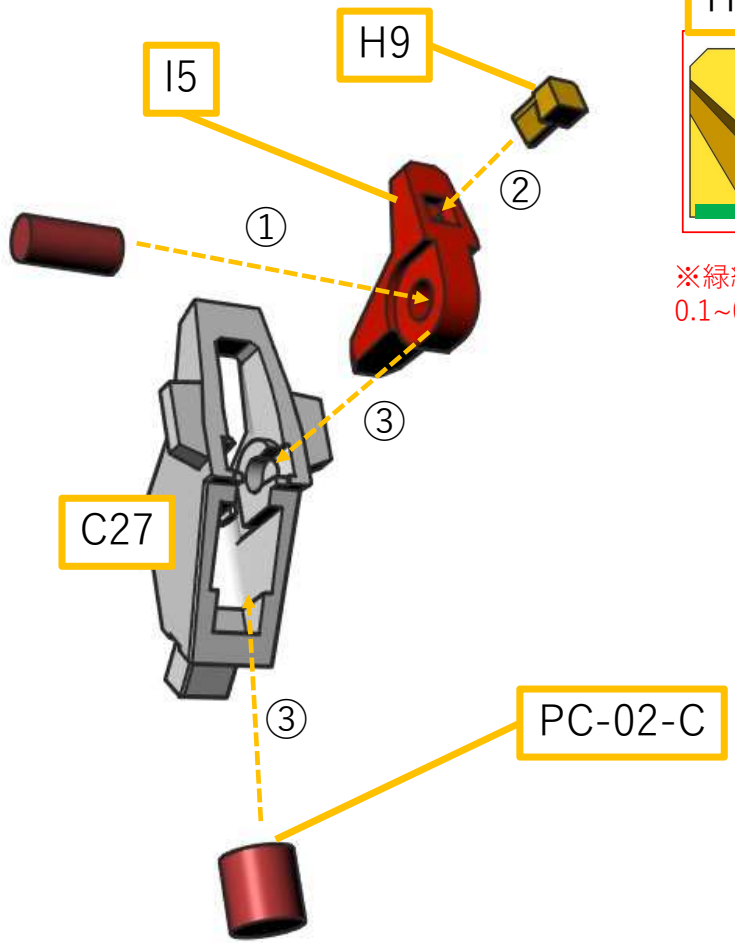


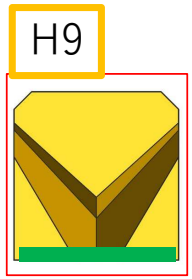
①クリック関節を可動させてB28を下げます。
②J1、J3をB12に接着します。

股関ブロック1



①M9のシャフト部の穴を1.1mmドリルでトレースし、1mm真鍮線をインサート接着します。
②M23とM9を組み合わせて2mmポリ棒を挿入します(現物合わせ)。
③H5とM23をC19に接着します。**※C19は成形時にゆがんでいる場合があります。その際は熱矯正で修正してください。**

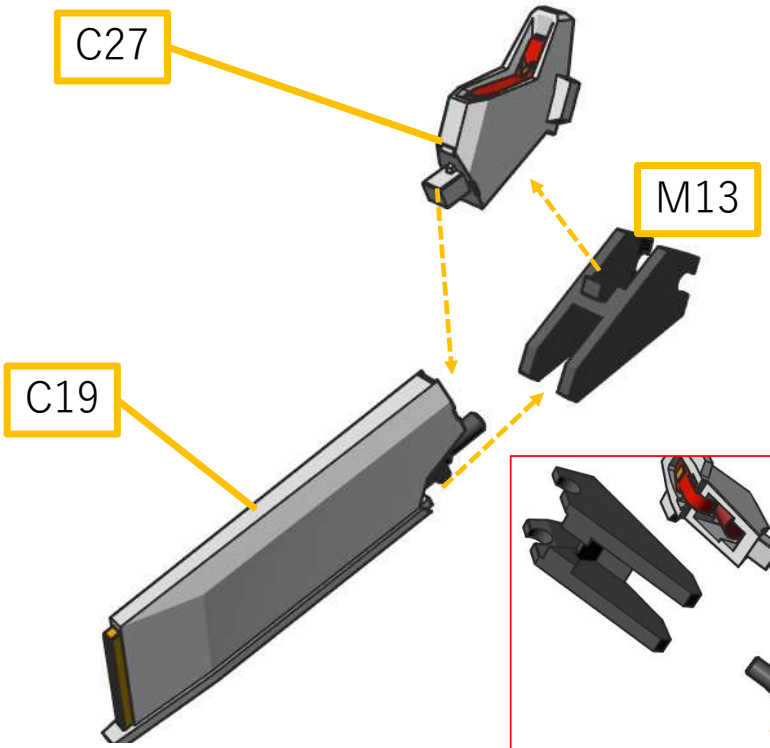




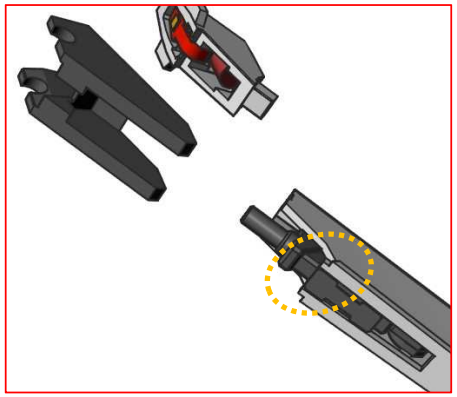
※緑線の部分を
0.1~0.2mm削ります。

①2mmポリ棒をI5に挿入します。
②H9をI5に接着します。**※クリアランスがシビアなので、H9の下部を少し削ってください。また、未塗装を推奨します。**
③I5とPC-02-Cの軸をカットしたものと、I5をC27に挿入します。

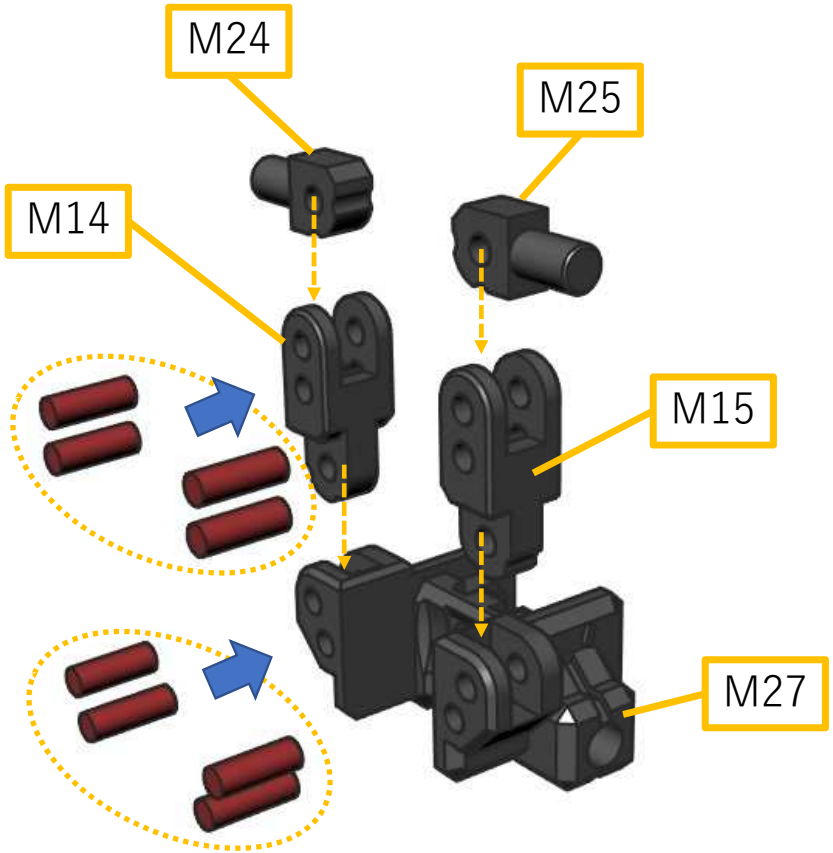
股関ブロック2



各パーツを上図のように組み合わせて接着します。

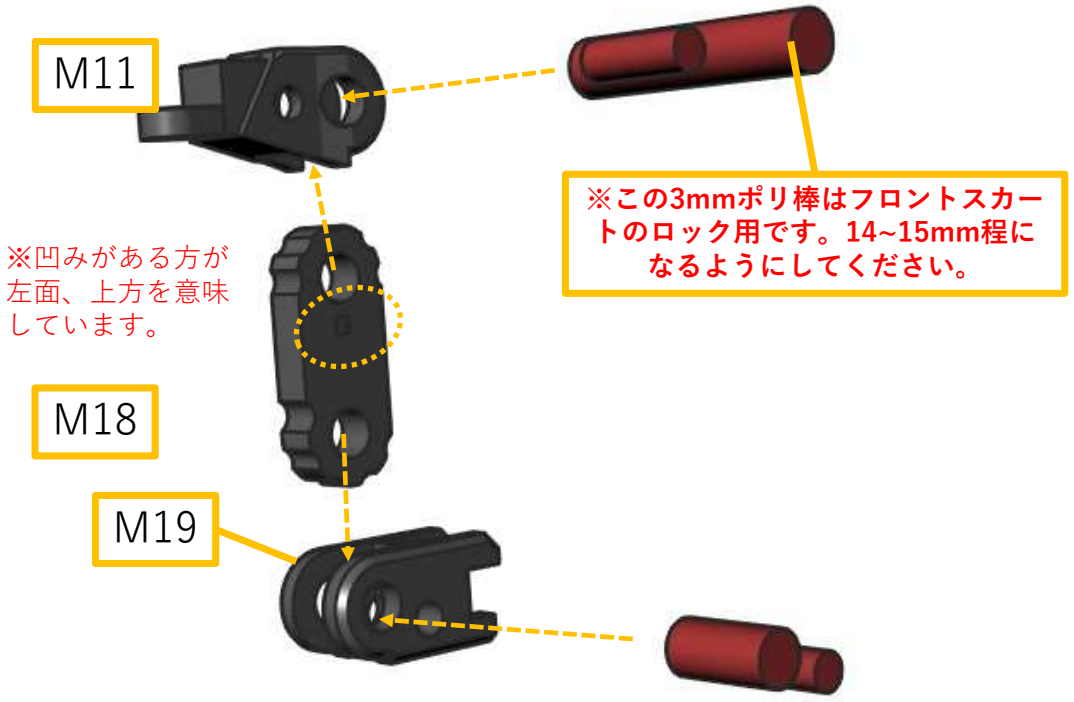


※C19の突起をM13で挟み込みつつ接着します。

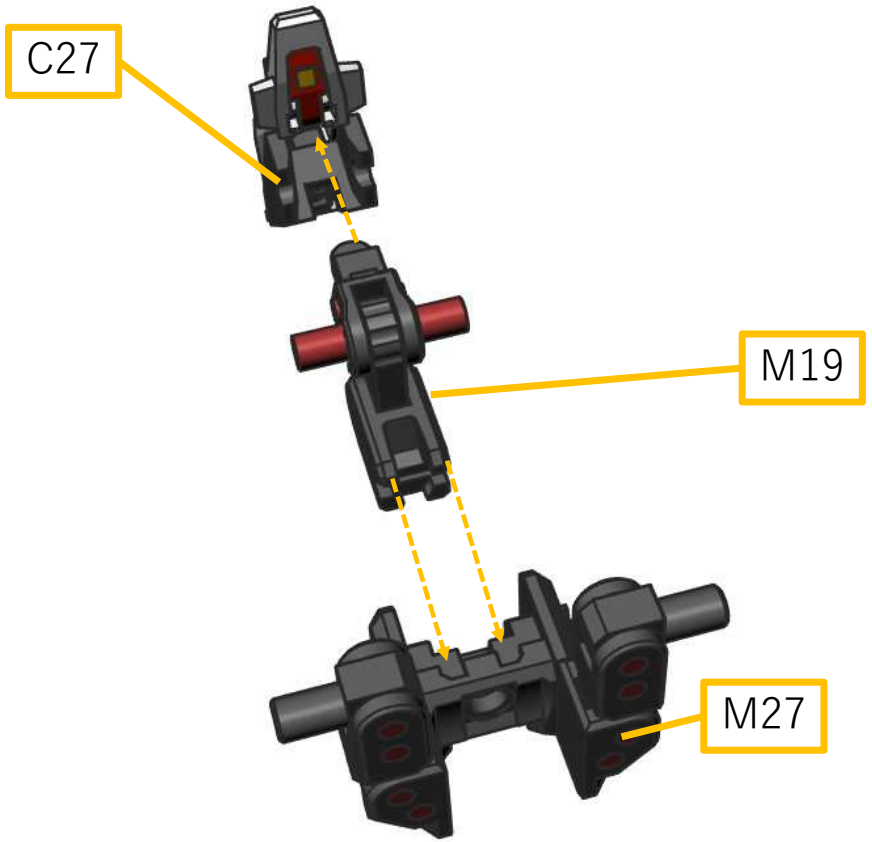


各パーツを上図のように組み合わせて2mmポリ棒を挿入します(現物合わせ)。

股関ブロック3

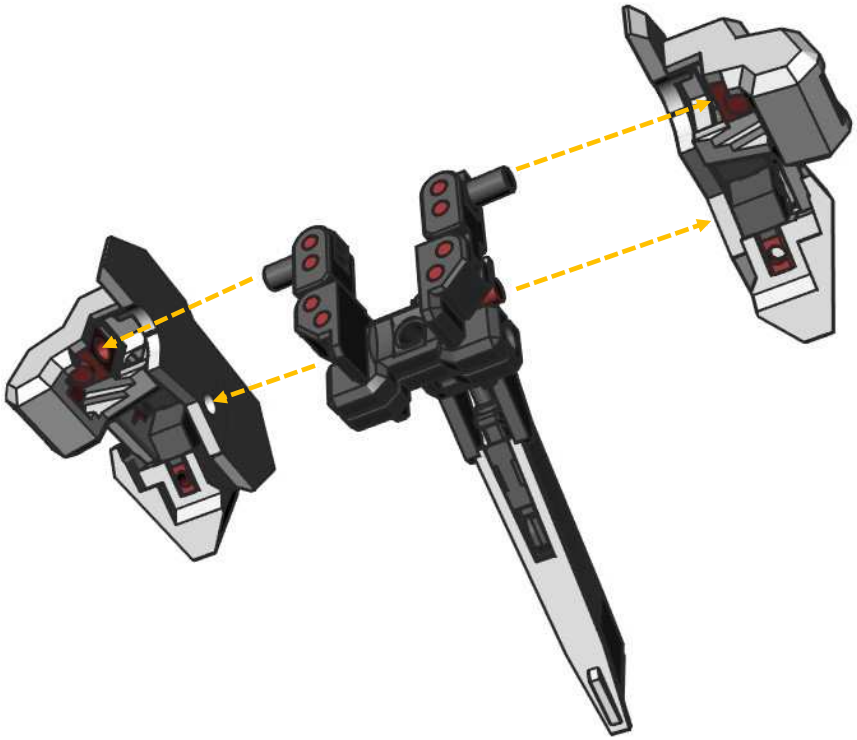


各パーツを上図のように組み合わせて2mm、3mmポリ棒を挿入します(現物合わせ)。**※2mm棒から挿入してください。**

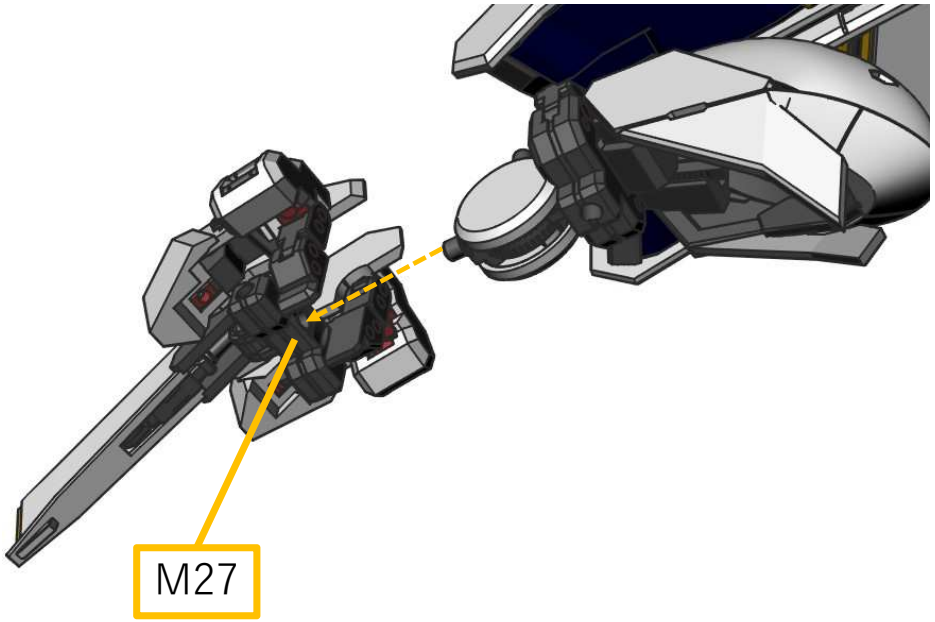


各パーツを上図のように組み合わせて接着します。**※M19はC27の内部にあるPC-02-Cの下に潜り込ませて接着してください。**

股関ブロック4

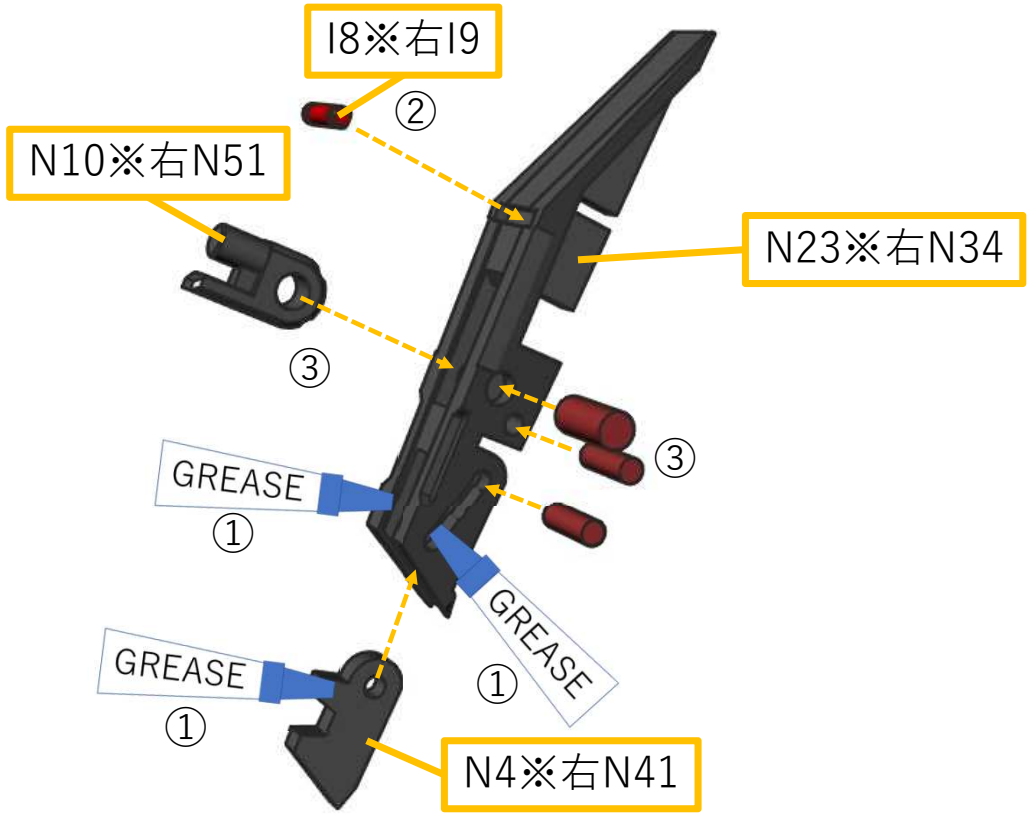


股関節のフレーム軸とロック用ポリ棒を上図のようにフロントスカートに挿入します。

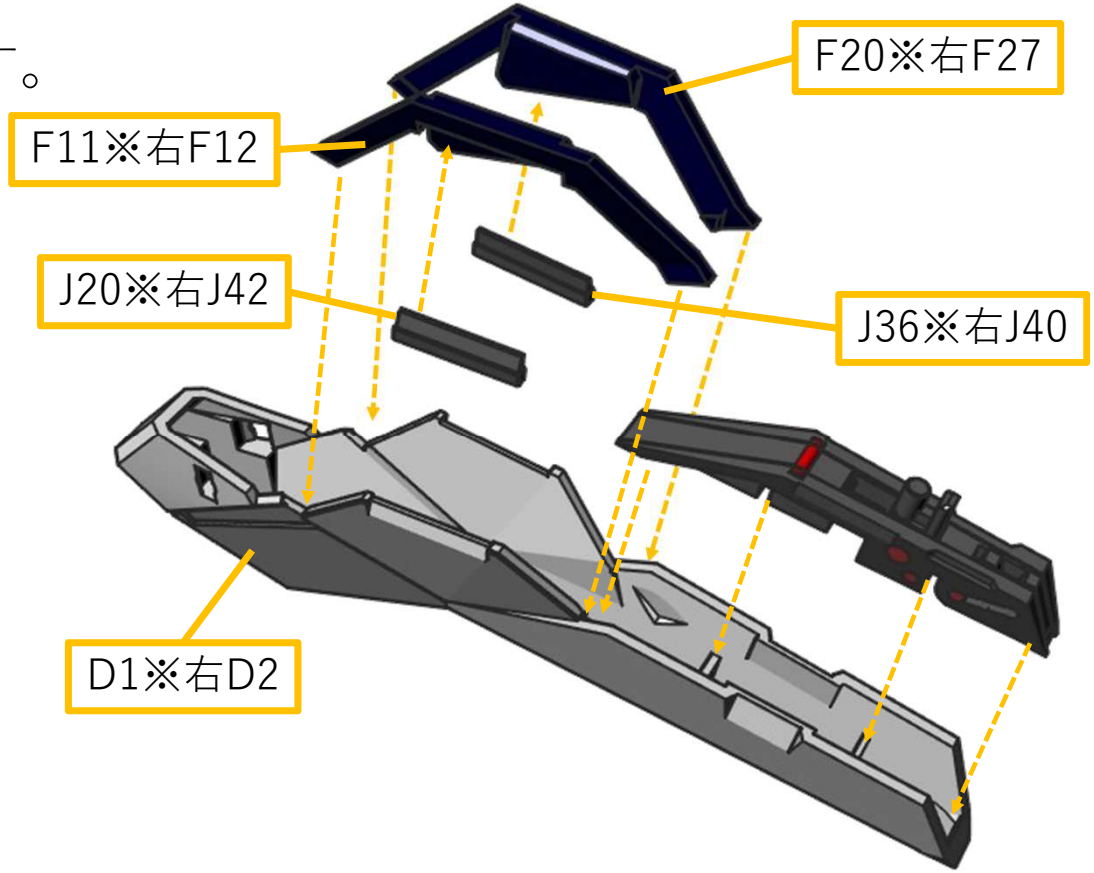


ボトムドラムフレームの軸をM27の穴に合わせて接着します。
※事前に奥までしっかり差し込めることを確認してください。

左脚１ ※右脚も対称で作ります。

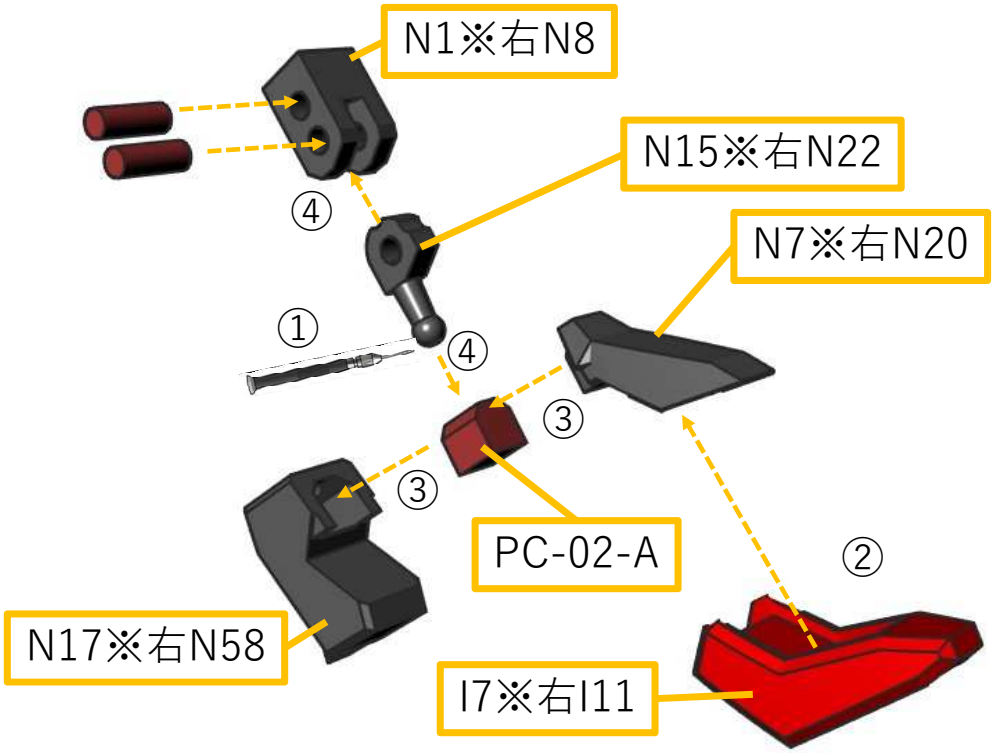


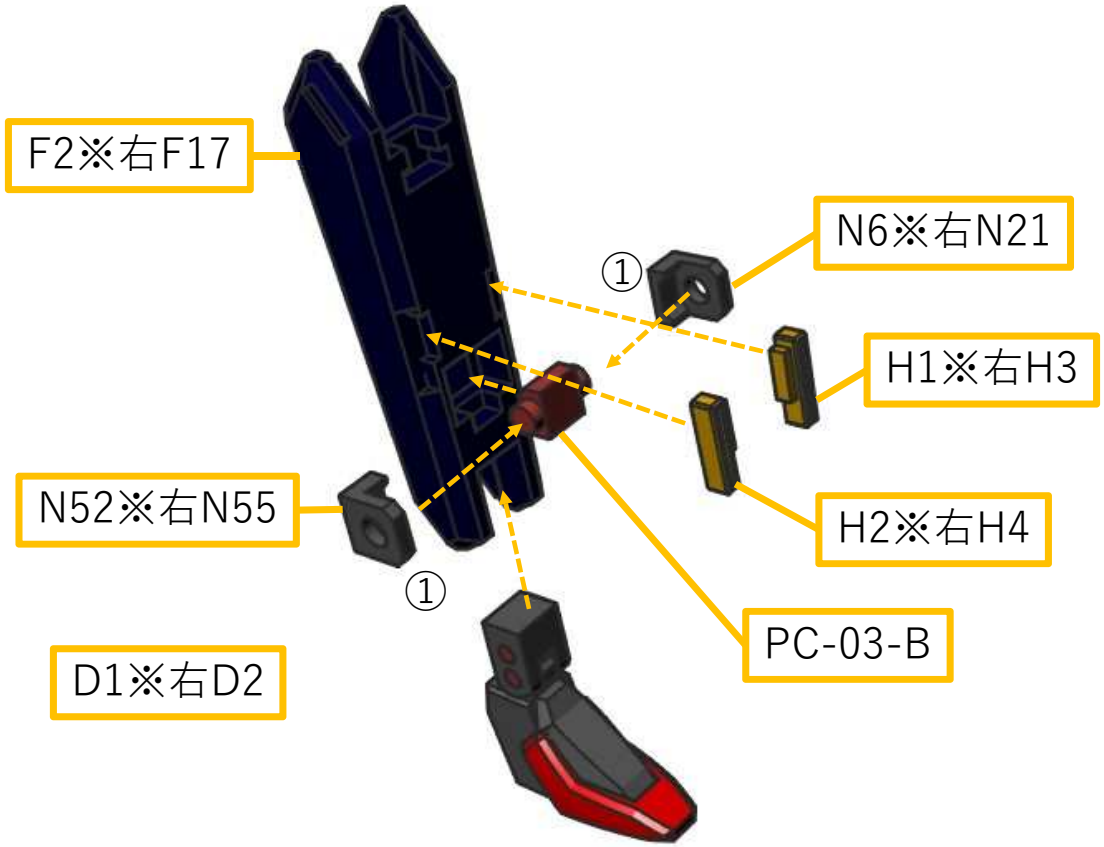
①N4とN23のレール部分にグリスをこれでもかと塗布します。
②I8をN23に接着します。
③N4、N10の位置を上図のように合わせ、3mm、2mmポリ棒を挿入します(現物合わせ)。



各パーツを上図のように接着します。
※F20、F11の接着面は狭いので、事前に塗膜をきっちり削ってはみ出さないように接着してください。

左脚2 ※右脚も対称で作ります。

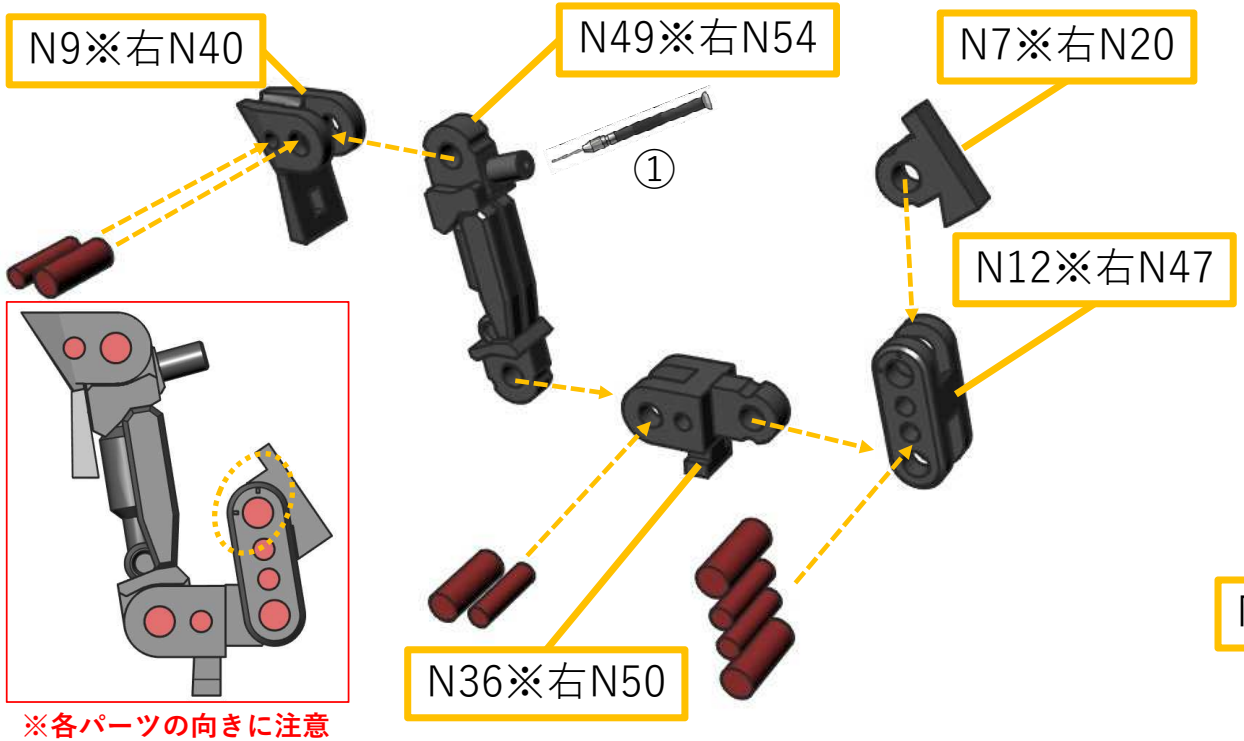




①N15の軸穴を1.1mmドリルでトレースし、1mm真鍮線をインサート接着します。**※一旦ドリルは貫通させ、ダミーの2mmポリ棒を横穴に挿入した上で真鍮線を奥まで挿入すると、ベストな深さで接着できます。**
②先にI7をN7に接着します。
③PC-02-Aの軸をカットし、上図のように各パーツを接着します。
④N15をN1に合わせ、2mmポリ棒を挿入した後(現物合わせ)、PC-02-Aに挿入します。

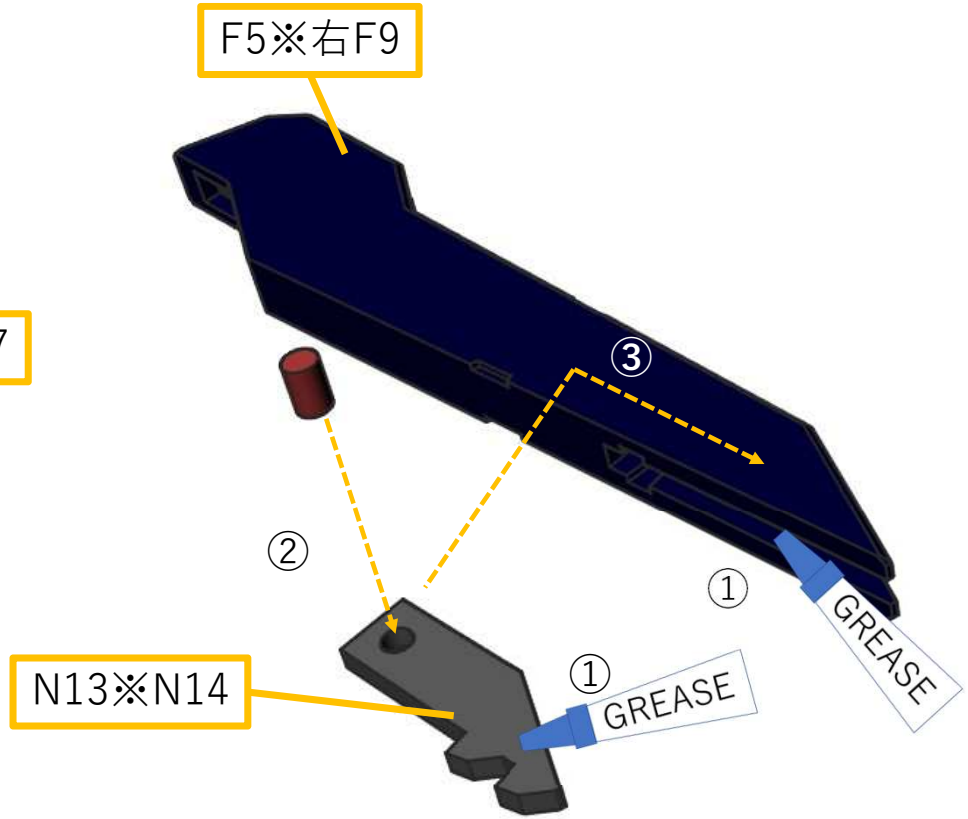
①PC-03-BをN6とN52で挟み込みます。
各パーツを上図のように接着します。

左脚3 ※右脚も対称で作ります。



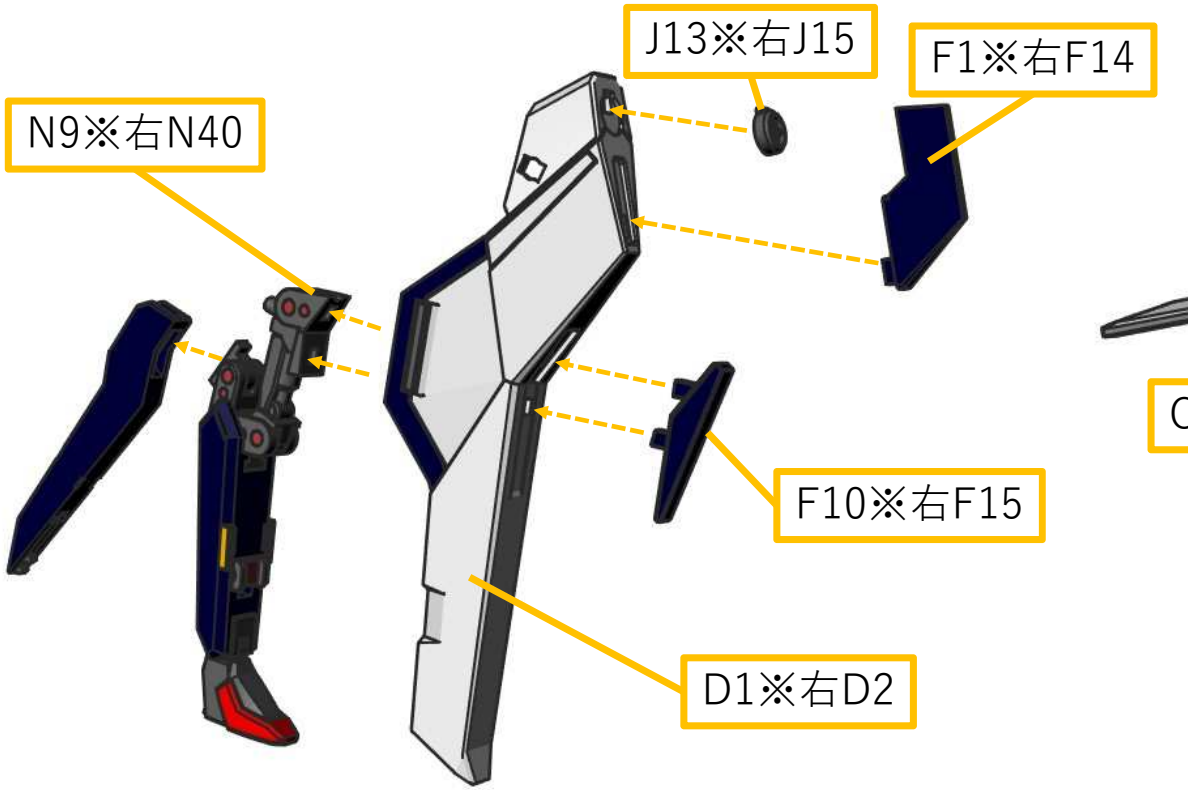
※各パーツの向きに注意してください。

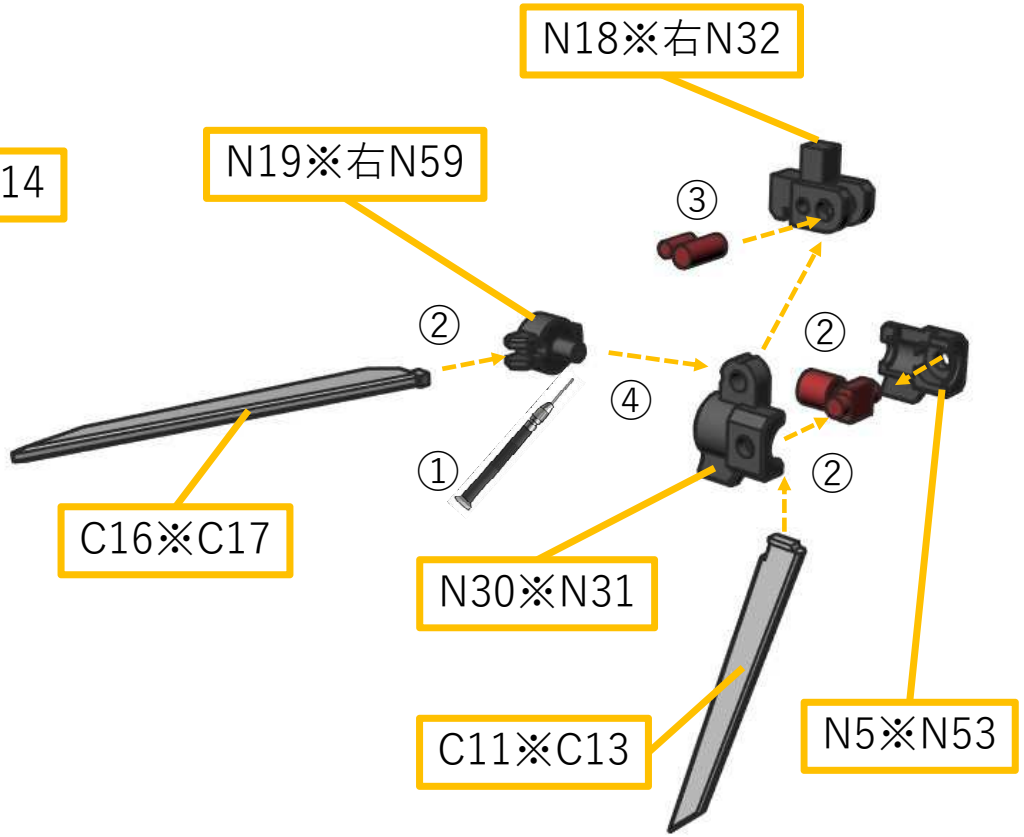
①N49の軸穴を1.1mmドリルでトレースし、1mm真鍮線をインサート接着します。
その後、各パーツを上図のように組み合わせて、2mm、3mmポリ棒を挿入します(現物合わせ)。



①N13とF5のレール部分にグリスをこれでもかと塗布します。
②2mmポリ棒をN13に挿入します(F5のレールに現物合わせ)。
③F5にN13を挿入します。

左脚4 ※右脚も対称で作ります。

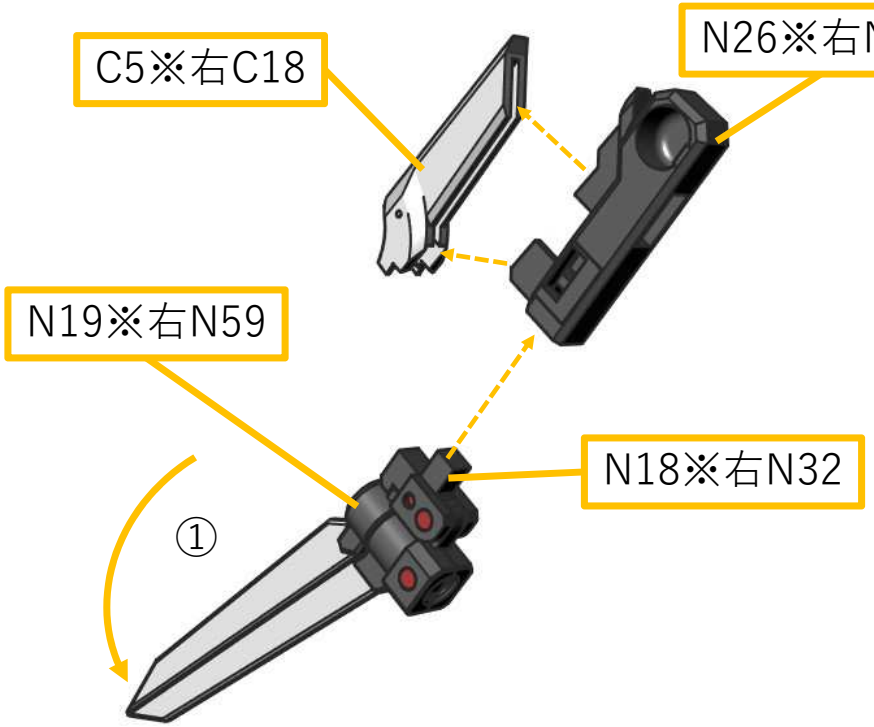


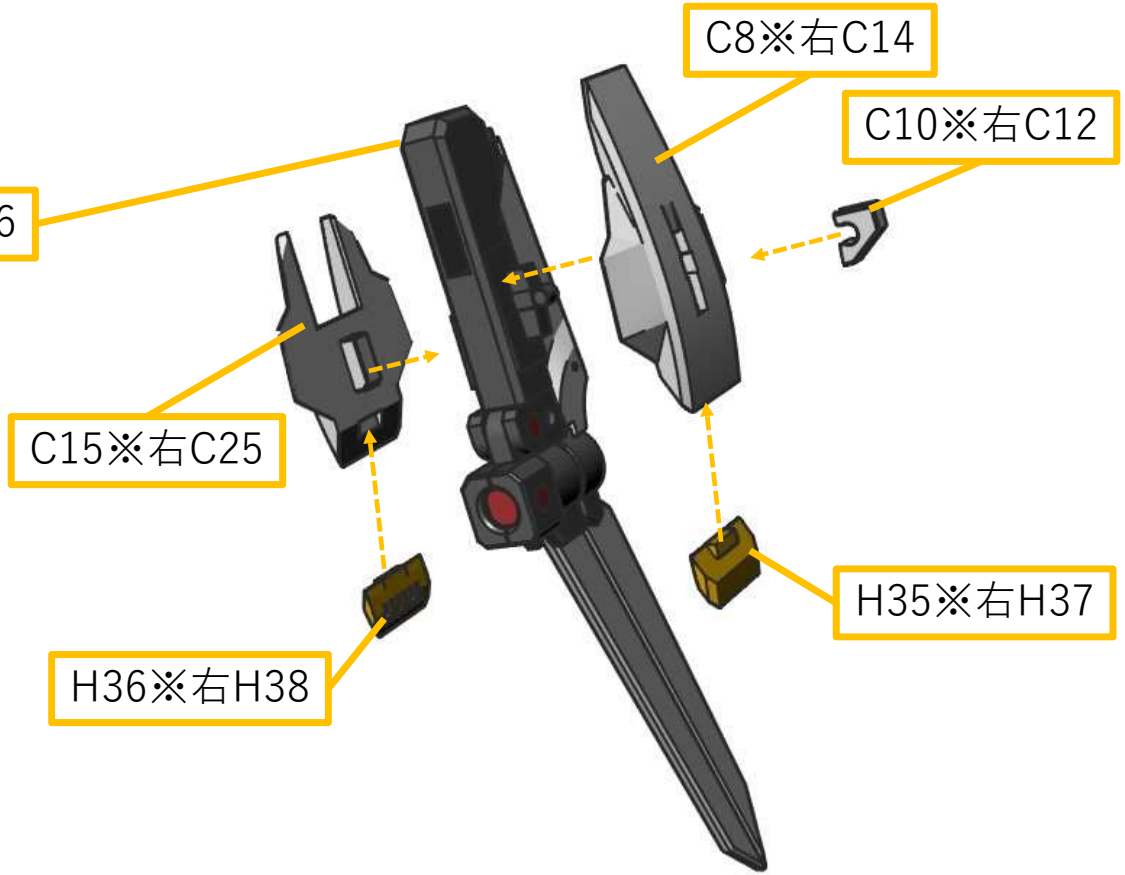


各パーツを上図のように組み合わせて、接着します。**※ F10でD1を貫通させつつN9のダボに接着します。N9とD1の接着はしっかり瞬着を塗布してください。**

①N18の軸穴を1.1mmドリルでトレースし、1mm真鍮線をインサート接着します。
②C16をN18に接着し、N30、N5でPC-03-B、PC-03-C(※Cは片方の軸を0.5mmだけ残す)を挟み込んで接着、C11を接着します。
③2mm、3mmポリ棒を挿入してN30とN18を接続します。
④N18をN30で挟み込んだポリに挿入します。

左脚5 ※右脚も対称で作ります。

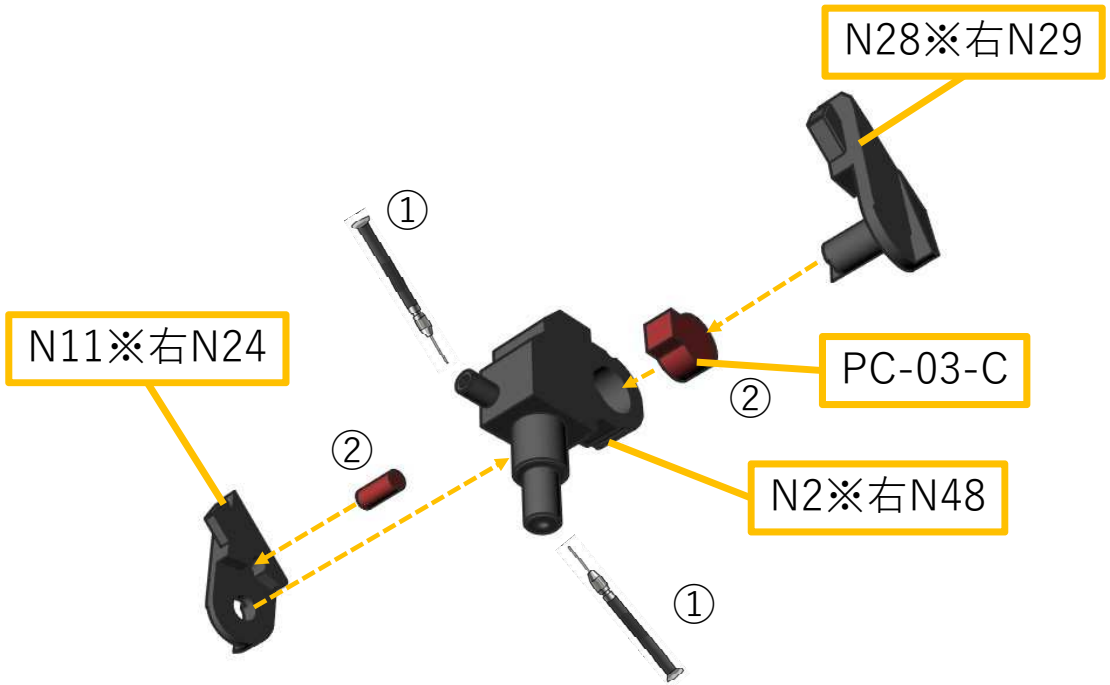




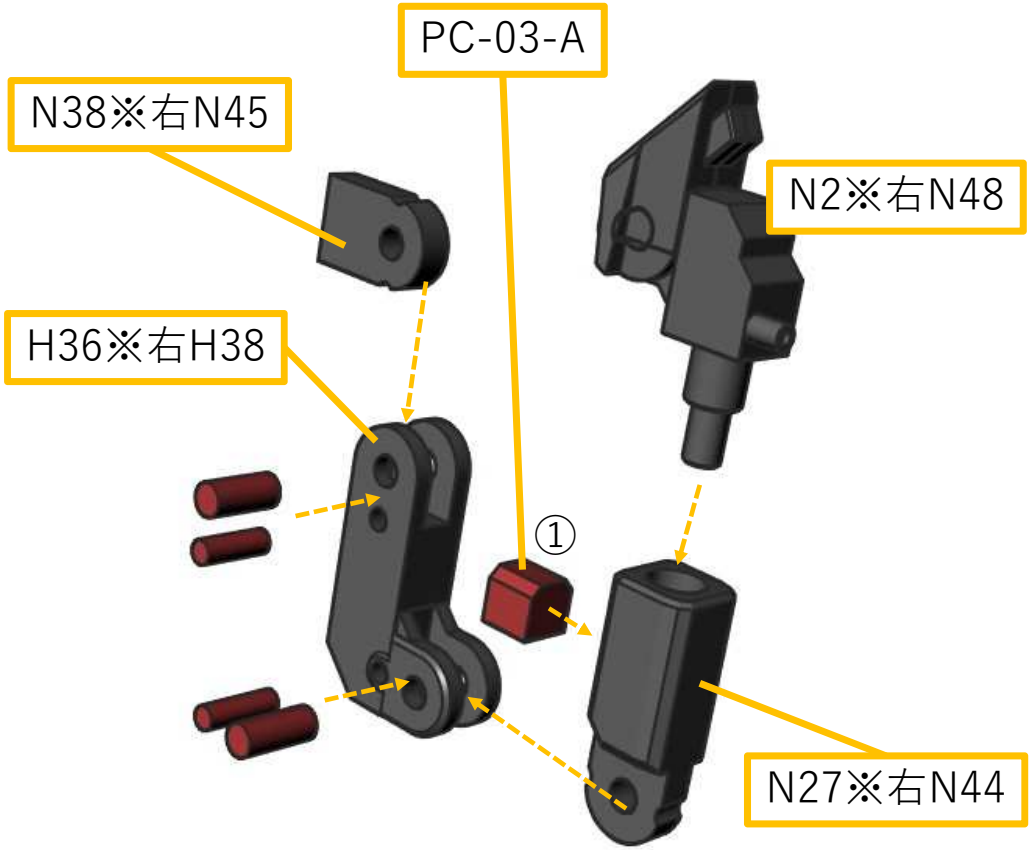
①N18を90°回転させます。
各パーツを上図のように組み合わせて接着します。

各パーツを上図のように接着します。

左脚6 ※右脚も対称で作ります。

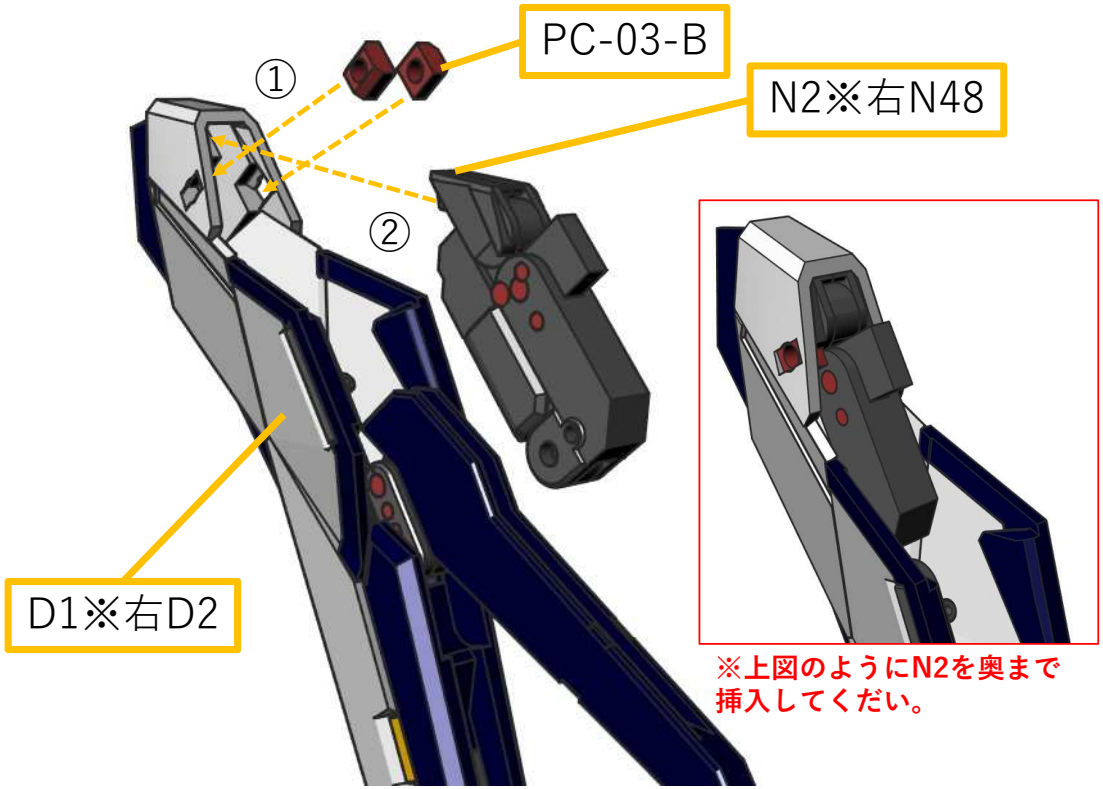


①N２の軸穴を1.1mmドリルでトレースして1mm真鍮線をインサート接着します。
②PC-03-Cの片側の軸を0.3mm程のこしてカットし、N2に挿入します。
③2mmポリ棒をN11とN28で挟み込みます(現物合わせ)。
各パーツを上図のように組み合わせて挿入します(**※ここでは接着しません**)。



①PC-03-Aの軸をカットしてN27に挿入します。
各パーツを上図のように組み合わせて2mm、3mmポリ棒を挿入します。

左脚7 ※右脚も対称で作ります。

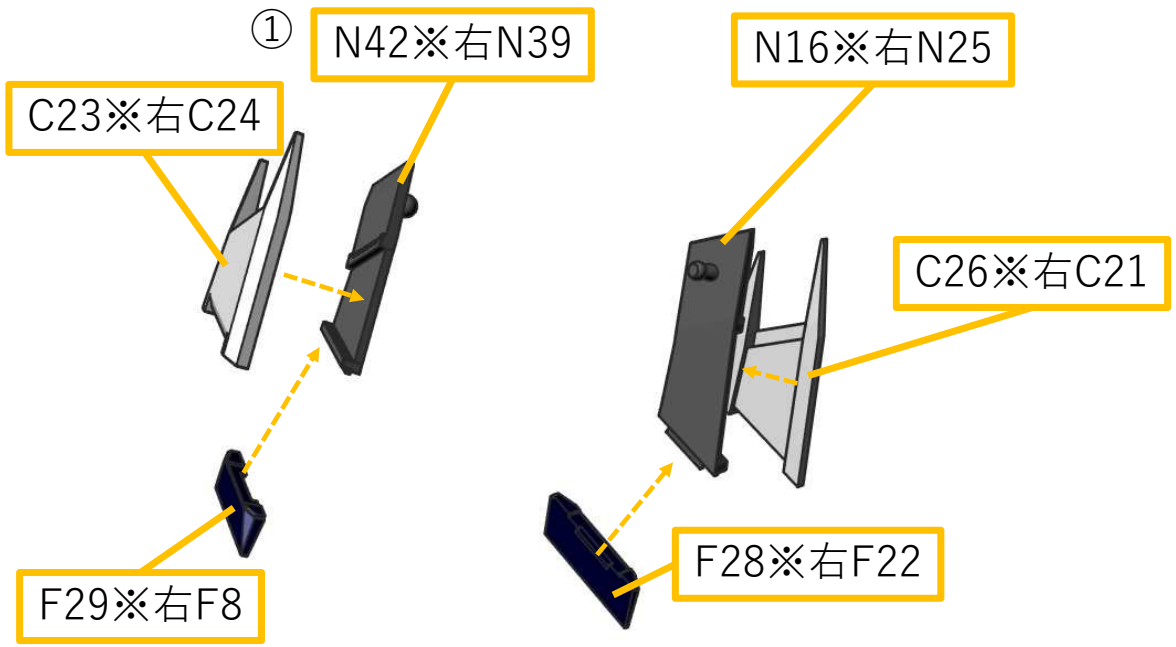


※上図のようにN2を奥まで
挿入してください。

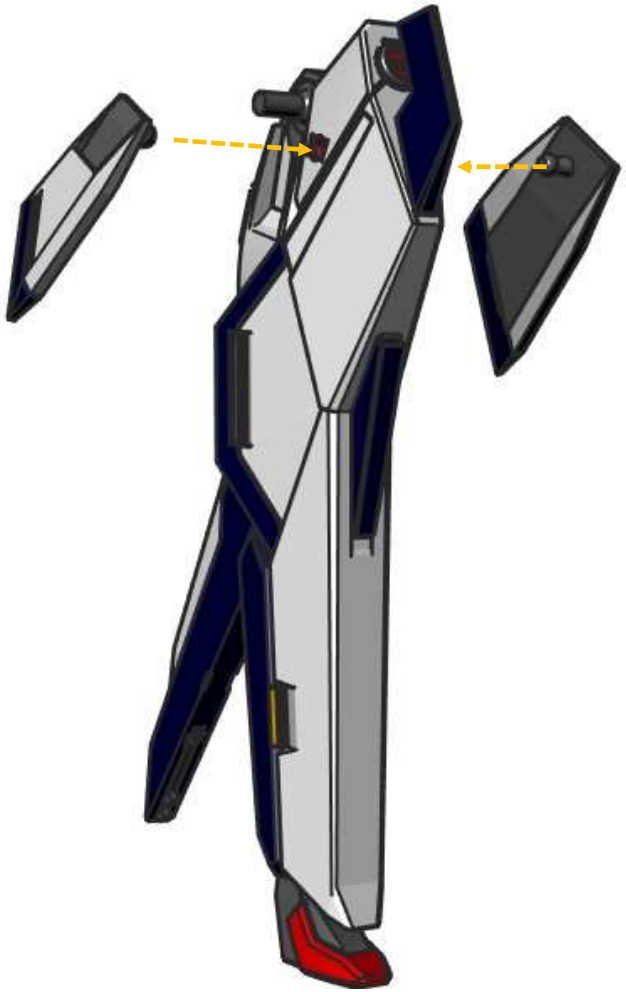
①PC-03-Bの軸をカットしたものをD1に挿入します。
②N2をD1の内部の凹みにしっかり奥まで挿入して接着します。**※クリアランス
しっかり確認してください。**

①関節技BJ中の溝をN26側の凸に合わせて接着します。
②N38をN26に接着します。
③真鍮線で補強した軸をポリに挿入します。

左脚8 ※右脚も対称で作ります。



各パーツを上図のように接着します。

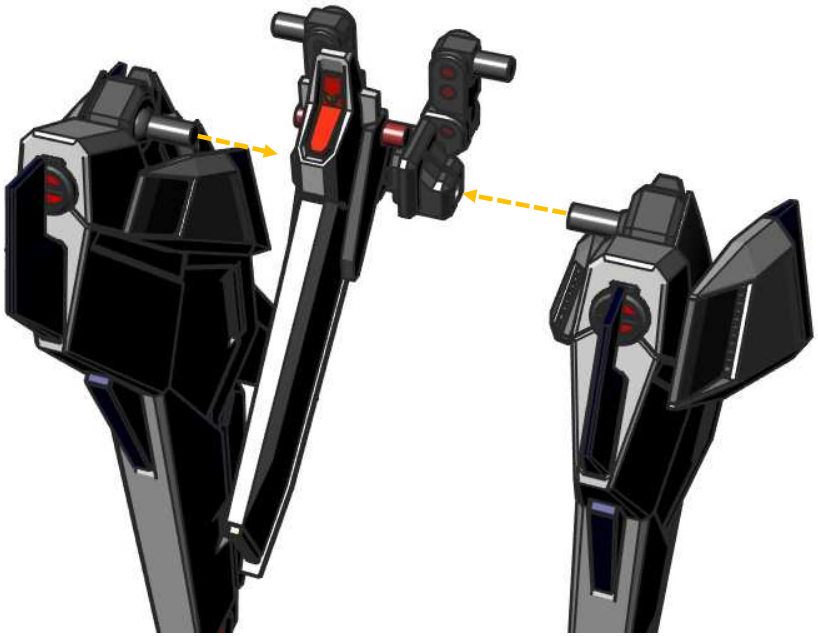


上図のように左右のバインダーを脚の両側のポリに挿入します。

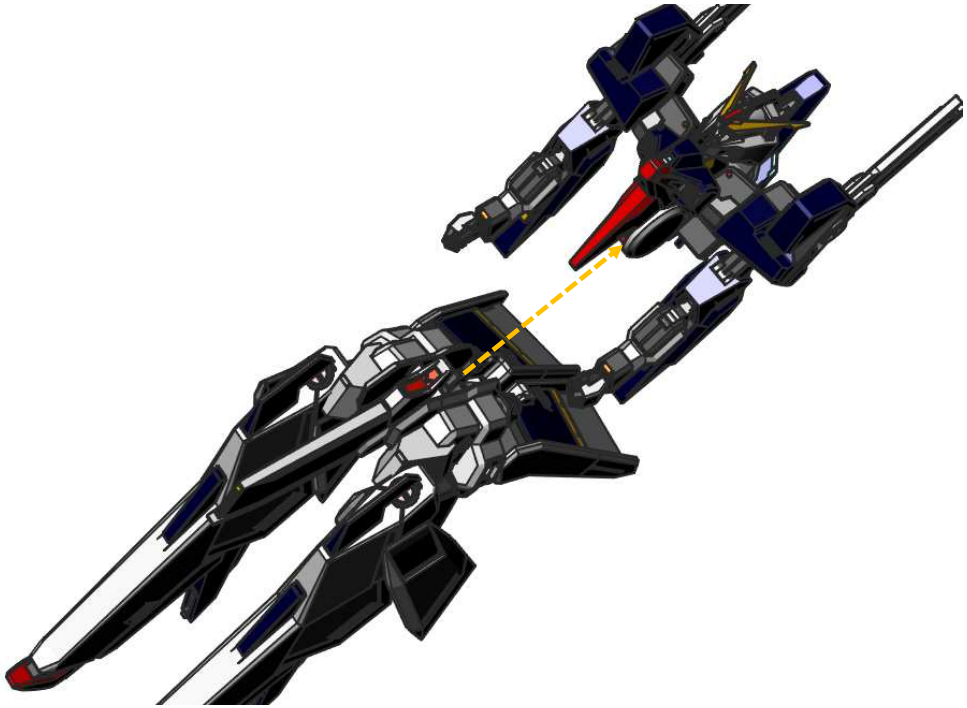
最終組立

最終組立

※便宜上、フロントスカートを透過して表示しています。



両足のBJの軸を股関節に接着します。**※接着する前に軸穴の奥までしっかり挿入できるようにクリアランスを調整してください。**



ボトムのドラムフレームの軸をトップのドラムフレームのポリに挿入します。